

第3次紀の川市長期総合計画策定のための
基礎調査報告書
(速報版)

令和7年10月

目次

Agenda

I.基礎調査の概要.....	3
II.紀の川市の基礎データ.....	5
III.基礎調査の結果.....	12
(1)人口.....	14
(2)産業・経済.....	27
(3)子育て・教育.....	39
(4)医療・福祉.....	51
(5)生活環境.....	57
(6)行政.....	66
IV.参考資料.....	73

I .基礎調査の実施概要

I.基礎調査の概要

実施概要

目的

- ✓ 本調査は、他団体との比較により、紀の川市の特徴を把握することを目的としている。

内容

- ✓ 国や県等が調査・公表している統計データを使用し、人口、産業・経済、子育て・教育、医療・福祉、生活環境、行政の6つの分野で整理している。
- ✓ 紀の川市と比較する団体は、人口規模や産業構造などを踏まえて以下の10団体を選定した。
 - 近隣団体:岩出市、橋本市、田辺市、海南市
 - 類似団体※:滋賀県湖南市、大阪府高石市、泉南市、大阪狭山市、兵庫県丹波市、奈良県大和高田市

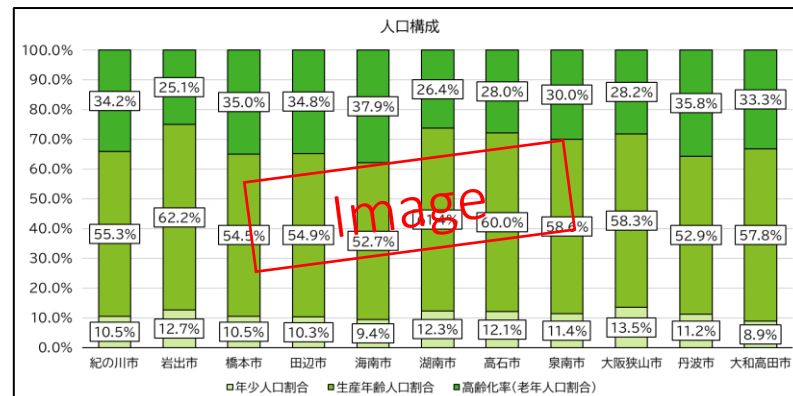
※類似団体:全市区町村を指定都市、中核市、施行時特例市、特別区、その他の一般市、町村に区分し、その他の一般市と町村は、人口と産業構造に応じ、一般市を16類型に、町村を15類型に区分したもの
- ✓ 他団体と比較する際は、人口あたりの割合などのように比較可能な数値に置き換えて比較を実施した。

資料の見方

- ✓ 国や県等が調査・公表しているデータを緑色の表で、他団体比較用の指標は青色の表で整理している。
 - 緑色の表での整理項目:基礎データの名称、単位、比較団体のデータ、データの出典
 - 青色の表での整理項目:指標の名称、指標の算出に用いた計算式、指標値
- ✓ グラフは、紀の川市と近隣及び類似団体のデータをグラフ(棒グラフや折れ線グラフなど)で整理している。

No	基礎データ	単位	紀の川市
1	昼間人口	人	54,709
2	一般世帯数	世帯	23,316
3	核家族世帯数	世帯	14,639

No	指標	計算式	単位
17	可住地面積1kmあたり人口密度	(人口総数) / (可住地面積)	人/km ²
18	年少人口割合	(15歳未満人口) / (人口総数) * 100	%



Ⅱ.紀の川市の基礎データ

Ⅱ.紀の川市の基礎データ

人口

No	基礎データ	単位	紀の川市
1	昼間人口	人	54,709
2	一般世帯数	世帯	23,316
3	核家族世帯数	世帯	14,639
4	単独世帯数	世帯	5,987
5	高齢単身世帯数	世帯	3,287
6	人口総数(外国人を含む)	人	58,920
7	世帯総数(外国人を含む)	世帯	23,351
8	15歳未満人口(年少人口)(外国人を含む)	人	6,176
9	15～64歳人口(生産年齢人口)(外国人を含む)	人	32,604
10	65歳以上人口(老年人口)(外国人を含む)	人	20,140
11	0-4歳人口(外国人を含む)	人	1,626
12	出生数	人	292
13	死亡数	人	918
14	転入数	人	1,511
15	転出数	人	1,365
16	可住地面積	km ²	122.3

No	指標	単位	紀の川市
17	可住地面積1km ² あたり人口密度	人/km ²	481.9
18	年少人口割合	%	10.5%
19	生産年齢人口割合	%	55.3%
20	老年人口割合(高齢化率)	%	34.2%
21	年少人口指数	%	18.9%
22	老年人口指数	%	61.8%
23	従属人口指数	%	80.7%
24	老年化指数	%	326.1%
25	昼間人口比率	%	92.9%
26	出生数・死亡数の比較	人	-626
27	転入数・転出数の比較	人	146
28	一般世帯に占める核家族世帯の割合	%	62.8%
29	一般世帯に占める単独世帯の割合	%	25.7%
30	一般世帯に占める高齢単身者世帯の割合	%	14.1%

Ⅱ.紀の川市の基礎データ

産業・経済

No	基礎データ	単位	紀の川市
31	労働力人口	人	30,301
32	就業者数	人	29,310
33	完全失業者数	人	991
34	労働力人口(男)	人	16,238
35	労働力人口(女)	人	14,063
36	労働力人口(15～64歳)	人	23,633
37	労働力人口(65歳以上)	人	6,668
38	15歳以上就業者数(男)	人	15,562
39	15歳以上就業者数(女)	人	13,748
40	就業者数(15～64歳)	人	22,775
41	就業者数(65歳以上)	人	6,535
42	第二次産業事業所数	箇所	295
43	第二次産業従業者数	人	5,375
44	第三次産業事業所数	箇所	959
45	第三次産業従業者数	人	11,513

No	基礎データ	単位	紀の川市
46	農業産出額	千万円	1,962
47	第一次産業就業者数	人	4,886
48	第二次産業就業者数	人	6,255
49	第三次産業就業者数	人	16,985
50	第一次産業生産額割合	%	5.6%
51	第二次産業生産額割合	%	48.9%
52	第三次産業生産額割合	%	45.6%

Ⅱ.紀の川市の基礎データ

産業・経済

No	指標	単位	紀の川市
53	男性労働力人口割合	%	53.6%
54	女性労働力人口割合	%	46.4%
55	15～64歳労働力人口割合	%	78.0%
56	65歳以上労働力人口割合	%	22.0%
57	男性就業者割合	%	53.1%
58	女性就業者割合	%	46.9%
59	15～64歳就業者割合	%	77.7%
60	65歳以上就業者割合	%	22.3%

No	指標	単位	紀の川市
61	就業者割合	%	96.7%
62	完全失業者割合	%	3.3%
63	第一次産業就業者数割合	%	17.4%
64	第二次産業就業者数割合	%	22.2%
65	第三次産業就業者数割合	%	60.4%

Ⅱ.紀の川市の基礎データ

子育て・教育

No	基礎データ	単位	紀の川市
66	小学校数	校	17
67	小学校教員数	人	278
68	小学校児童数	人	2,627
69	中学校数(中等教育学校は除く)	校	7
70	中学校教員数	人	131
71	中学校生徒数	人	1,337
72	高等学校数	校	2
73	高等学校教員数	人	79
74	高等学校生徒数	人	883
75	図書館数	館	2

No	指標	単位	紀の川市
76	人口1万人当たりの小学校数	校	2.9
77	小学校1校当たりの小学校児童数	人	154.5
78	小学校教員1人当たりの小学校児童数	人	9.4
79	人口1万人当たりの中学校数	校	1.2
80	中学校1校当たりの中学校生徒数	人	191.0
81	中学校教員1人当たりの中学校生徒数	人	10.2
82	人口1万人当たりの高等学校数	校	0.3
83	高等学校1校当たりの高等学校生徒数	人	441.5
84	高等学校教員1人当たりの高等学校生徒数	人	11.2
85	人口1万人当たりの図書館数	館	0.3

Ⅱ.紀の川市の基礎データ

医療・福祉

No	基礎データ	単位	紀の川市
86	病院施設数	箇所	4
87	医師数	人	149
88	要支援・要介護認定者数	人	4,354
89	老人福祉施設数	施設	2

No	指標	単位	紀の川市
90	人口1万人当たりの病院施設数	施設	0.7
91	人口1万人当たりの医師数	人	25.3
92	総人口に占める要支援・要介護認定者数の割合	%	7.4%
93	老年人口1万人当たりの老人福祉施設数	施設	1.0

生活環境

No	基礎データ	単位	紀の川市
94	持ち家総数	戸	19,747
95	借家数	戸	2,280
96	総住宅数	戸	23,040
97	最寄りの駅まで2,000m以上かつバス停まで1,000m以上の住宅数	戸	120
98	最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数	戸	1,380
99	最寄りの緊急避難所まで2,000m以上の住宅数	戸	210
100	可住地面積	km ²	122.3

No	指標	単位	紀の川市
101	総住宅数に占める最寄りの駅まで2,000m以上かつバス停まで1,000m以上の住宅数の割合	%	0.5%
102	総住宅数に占める最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数の割合	%	6.0%
103	総住宅数に占める最寄りの緊急避難所まで2,000m以上の住宅数の割合	%	0.9%

Ⅱ.紀の川市の基礎データ

行政

No	基礎データ	単位	紀の川市
104	財政力指数	—	0.41
105	経常収支比率の推移と比較	%	94.6%
106	実質公債費比率の推移と比較	%	4.0%
107	国民年金被保険者総数	人	9,937
108	被生活保護世帯数 (実世帯・年度平均)	世帯	347
109	被生活保護人員数 (実数・年度平均)	人	424

Ⅲ.基礎調査の結果

結果まとめ

各分野のまとめ

分野	主な結果
(1)人口	<ul style="list-style-type: none">✓ 年齢3区分別人口割合は、年少人口割合が低く、老年人口割合が高い割合という傾向は比較対象団体共通であるが、老年人口割合は、海南市、丹波市、橋本市、田辺市に次いで高い。(p.16)✓ 社会動態(転入数及び転出数)は、転出数より転入数が上回っており、比較対象団体と比べるともっとも多い。(p.23)✓ 可住地面積1㎢あたり人口密度は、比較対象団体と比べてもっとも小さい。(p.26)
(2)産業・経済	<ul style="list-style-type: none">✓ 女性就業者割合は、比較対象団体と比べると同程度だが、もっとも高い。(p.31)✓ 65歳以上就業者割合は、比較対象団体の中でもっとも高い。(p.32)✓ 農業産出額は、比較対象団体の中でもっとも高い。(p.36)
(3)子育て・教育	<ul style="list-style-type: none">✓ 人口1万人当たりの小学校数は、田辺市、丹波市に次いで多い。(p.41)✓ 小学校1校当たりの小学校児童数は、田辺市、丹波市に次いで少ない。(p.42)
(4)医療・福祉	<ul style="list-style-type: none">✓ 人口1万人当たりの病院施設数、人口1万人当たりの医師数は、比較対象団体と概ね同水準である。(p.53、p.54)✓ 総人口に占める要支援・要介護認定者数の割合は、田辺市、海南市、丹波市に次いで高い。(p.55)✓ 老年人口1万人当たりの老人福祉施設数は、大和高田市、田辺市、橋本市に次いで少ない。(p.56)
(5)生活環境	<ul style="list-style-type: none">✓ 持ち家数は田辺市に次いで多く、借家数は比較対象団体と比べて大幅に少ない。(p.59、p.60)✓ 可住地面積は、田辺市に次いで広い。(p.65)
(6)行政	<ul style="list-style-type: none">✓ 支出額のうち、税収等の自主財源で賄えている割合を示す財政力指数は比較対象団体と比べると田辺市に次いで低い。(p.68)✓ 地方税などの経常的な収入から、人件費などの経常的な経費に充てる割合を示す経常収支比率は、比較対象団体と比べると、岩出市、湖南市、丹波市に次いで低い。(p.69)✓ 行政運営に使用できる財源のうち、借金返済に充てられる割合を示す実質公債費比率は、比較対象団体の中では、大阪狭山市、岩出市に次いで低い。(p.70)

Ⅲ.基礎調査の結果

(1)人口

(2)産業・経済

(3)子育て・教育

(4)医療・福祉

(5)生活環境

(6)行政

(1)人口

比較項目一覧

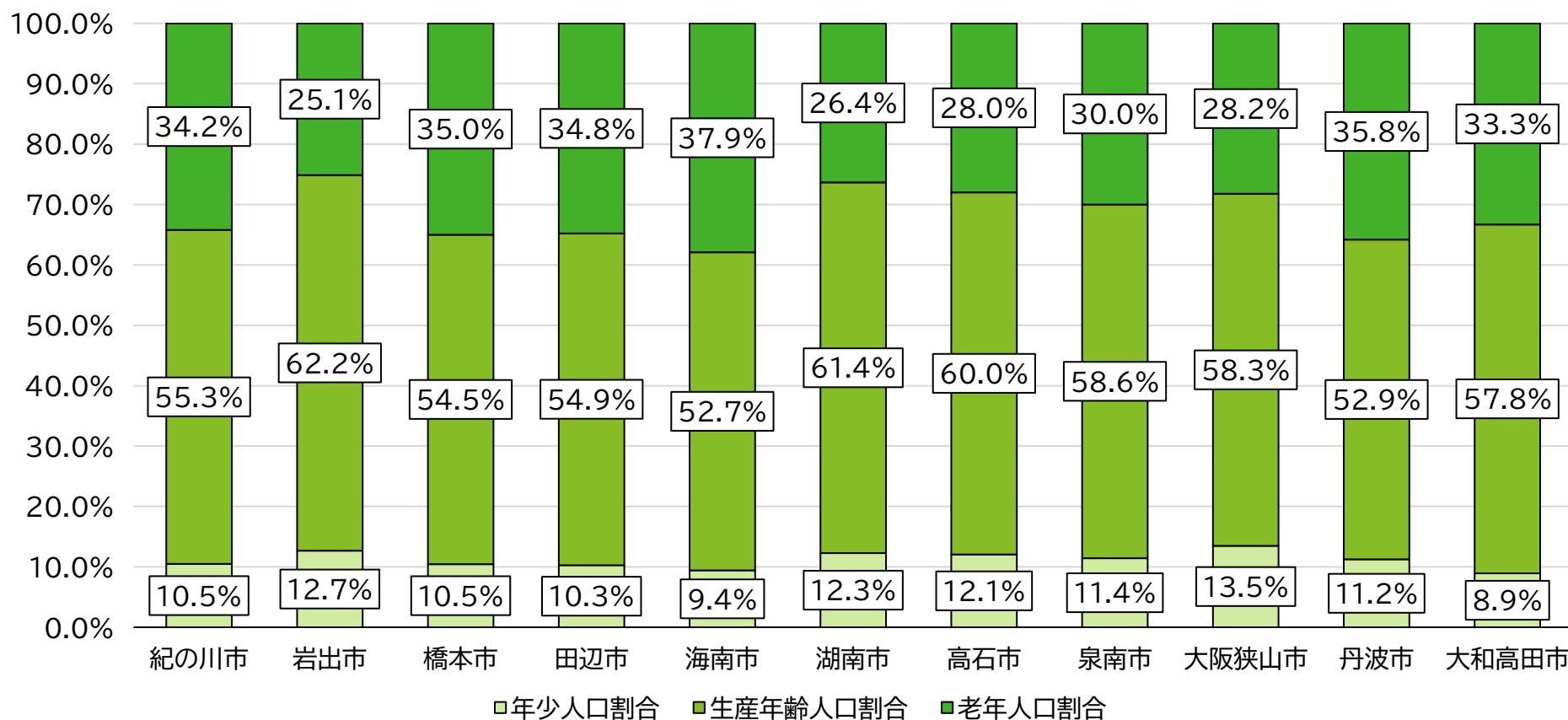
ページ	項目	算式等
16	年齢3区分別人口構成	年少人口割合、生産年齢人口割合、老年人口割合 (15歳未満人口、15～64歳人口、65歳以上人口のそれぞれが人口総数に占める割合)
17	年少人口指数	$(15\text{歳未満人口}) \div (15\sim64\text{歳人口}) \times 100$
18	老年人口指数	$(65\text{歳以上人口}) \div (15\sim64\text{歳人口}) \times 100$
19	従属人口指数	$(15\text{歳未満人口} + 65\text{歳以上人口}) \div (15\sim64\text{歳人口}) \times 100$
20	老年化指数	$(15\text{歳未満人口}) \div (65\text{歳以上人}) \times 100$
21	昼間人口比率	$(\text{昼間人口}) \div (\text{人口総数}) \times 100$
22	出生数・死亡数	出生数、死亡数、(出生数) - (死亡数)
23	転入数・転出数	転入数、転出数、(転入数) - (転出数)
24	一般世帯に占める核家族世帯の割合	$(\text{核家族世帯数}) \div (\text{一般世帯数}) \times 100$
25	一般世帯に占める各世帯タイプの割合	$(\text{単独世帯数}) \div (\text{一般世帯数}) \times 100$ $(\text{高齢単身世帯数}) \div (\text{一般世帯数}) \times 100$
26	可住地面積1km ² あたり人口密度	$(\text{人口総数}) \div (\text{可住地面積})$

(1)人口

年齢3区分別人口割合の比較

✓ 紀の川市の老年人口割合は、海南市、丹波市、橋本市、田辺市に次いで高い。

年齢3区分別人口構成



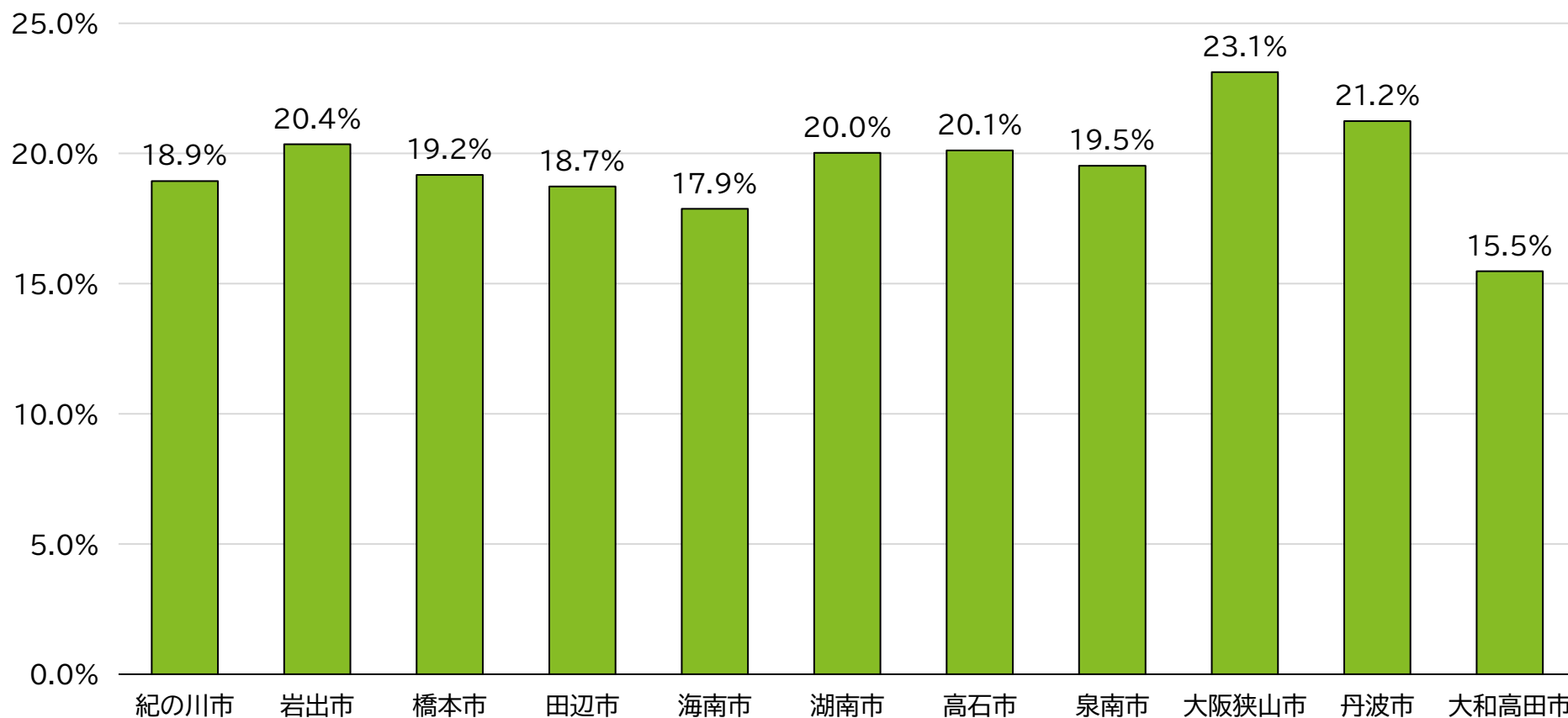
出典:住民基本台帳人口移動報告(2025年)

(1)人口

年少人口指数の比較

✓ 紀の川市の年少人口指数は、大和高田市、海南市、田辺市に次いで低い。
※人口の若年化の程度を示す指標で、指数が高いほど若い世代が生産年齢人口に対して多く、指数が低いほど若い世代が減少し、少子化進んでいることを示す。

年少人口指数



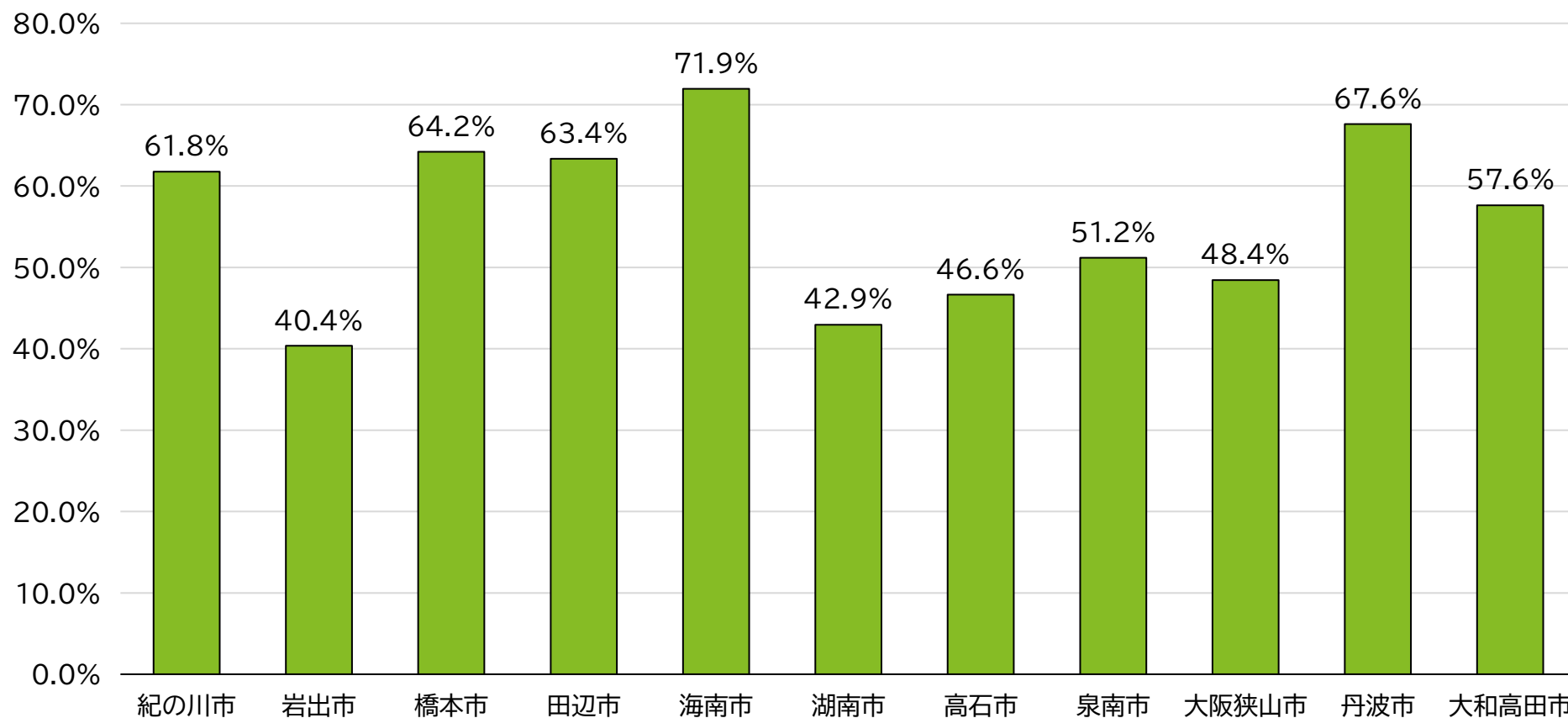
出典：住民基本台帳人口移動報告(2025年)

(1)人口

老年人口指数の比較

✓ 紀の川市の老年人口指数は、海南市、丹波市、橋本市、田辺市に次いで高い。
※人口の高齢化の程度を示す指標で、指数が高いほど高齢世代が多く、指数が低いほど高齢世代が減少していることを示す。

老年人口指数



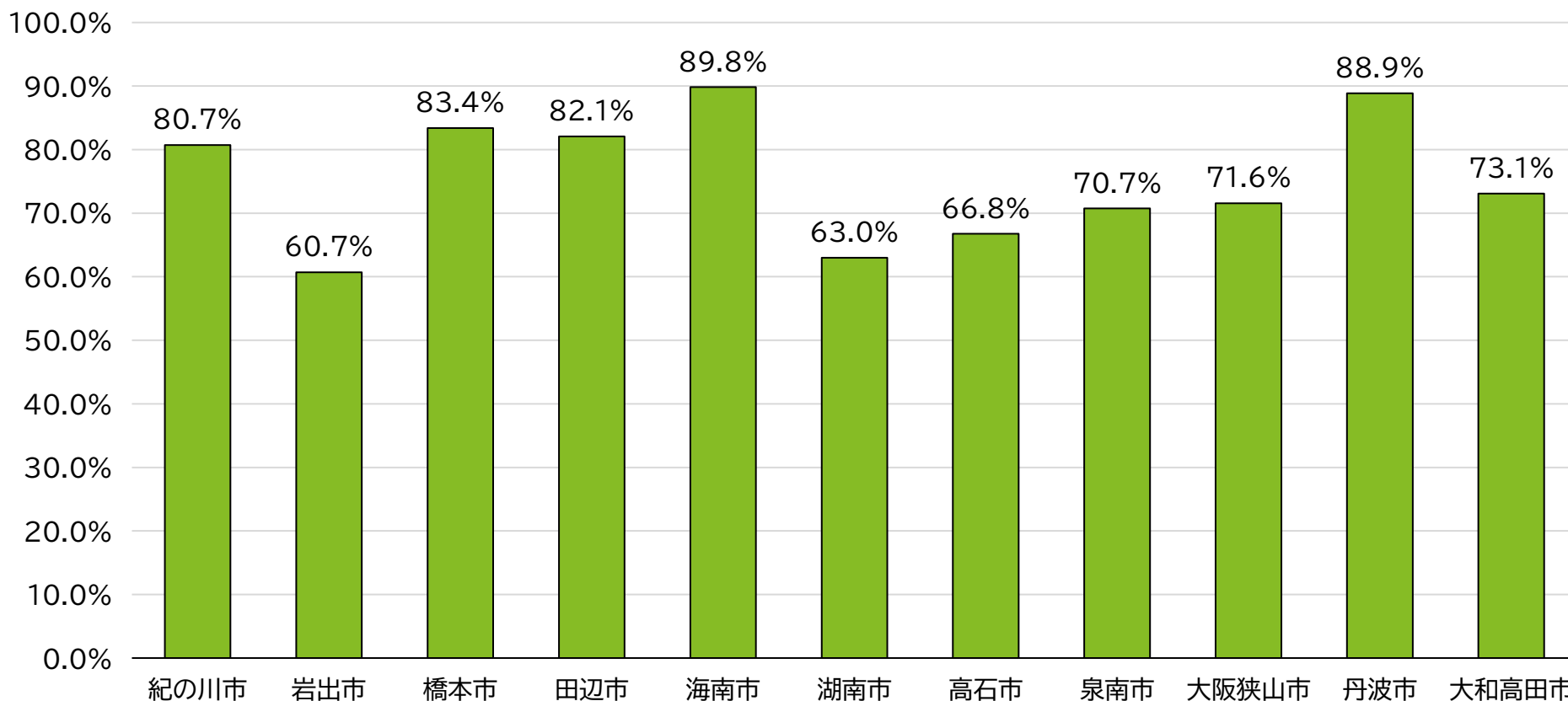
出典:住民基本台帳人口移動報告(2025年)

(1)人口

従属人口※指数の比較

✓ 紀の川市の従属人口指数は、海南市、丹波市、橋本市、田辺市に次いで高い。
※働き手世代が社会的・経済的負担となっている年齢層(子どもや高齢者)をどの程度養うかを示す指数であり、指数が高いほど働き手世代の負担が大きく、指数が低いほど働き手世代の負担が小さいことを示す。

従属人口指数



※従属人口とは、生産活動の担い手ではない、年少人口（14歳以下）と老年人口（65歳以上）を合わせた人口のこと

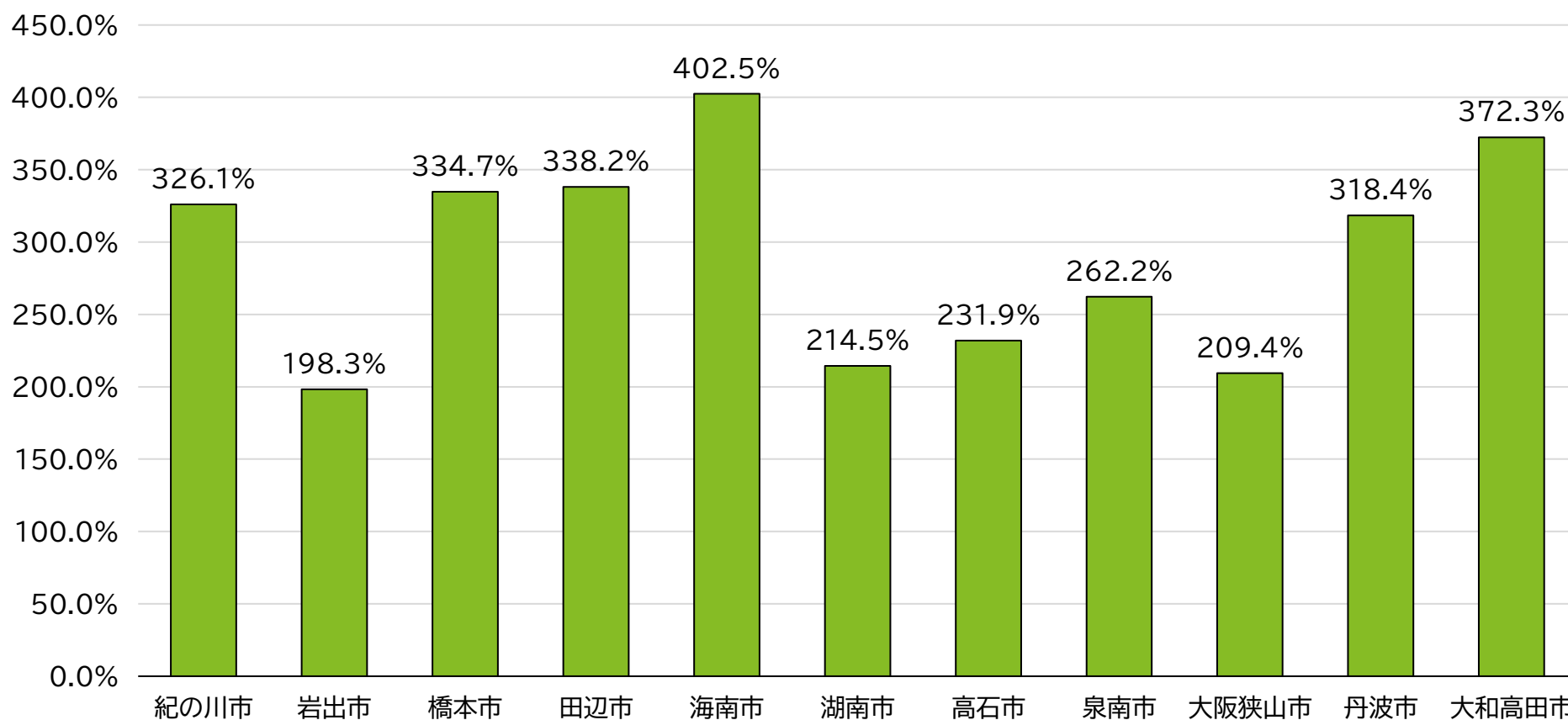
出典：住民基本台帳人口移動報告（2025年）

(1)人口

老年化指数の比較

✓ 紀の川市の老年化指数は、海南市、大和高田市、田辺市、橋本市に次いで高い。
※年少人口に対する老年人口の比率のことで、人口の高齢化の度合いを示す指標であり、指数が高いほど高齢者が子どもより多く、指数が低いほど高齢者が子どもより少ないことを示す。

老年化指数



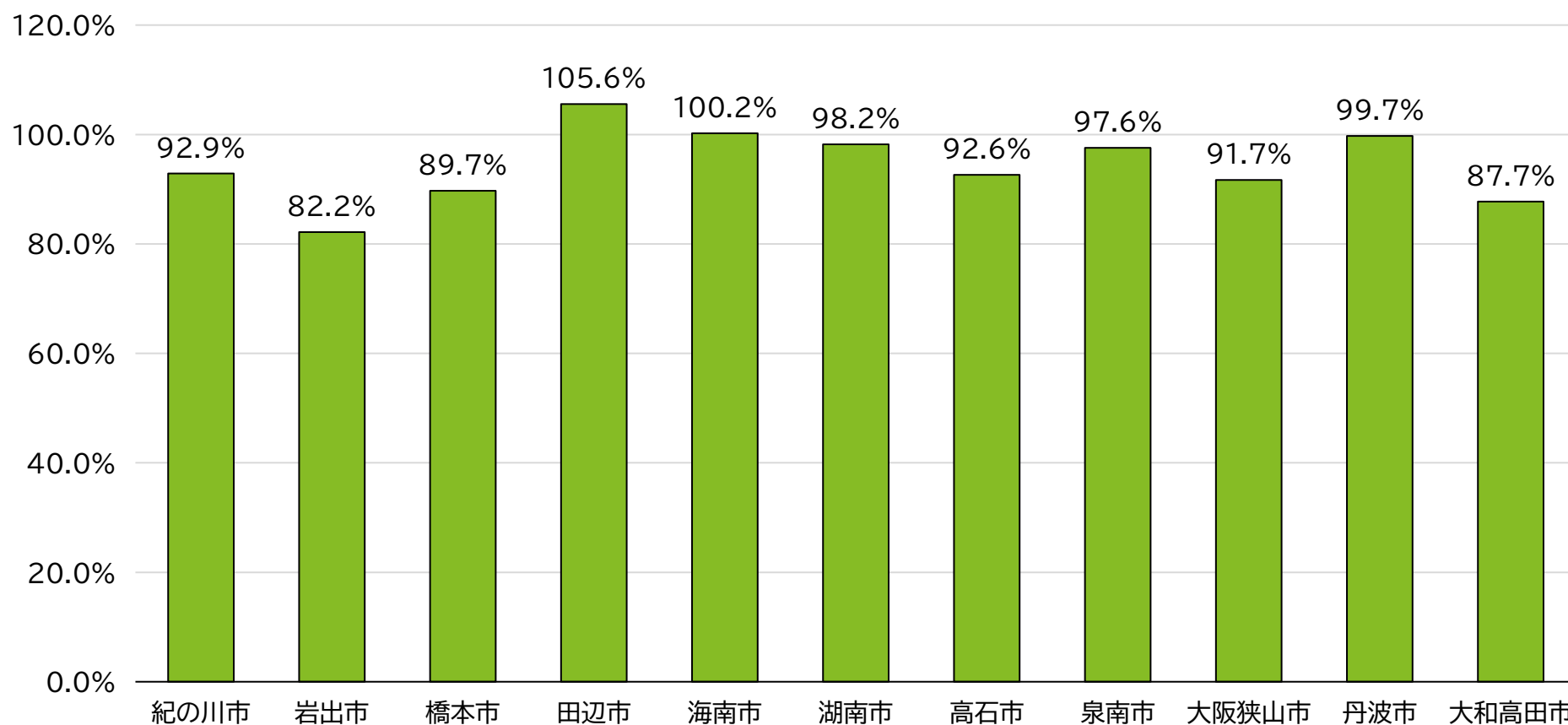
出典:住民基本台帳人口移動報告(2025年)

(1)人口

昼間人口比率の比較

✓ 紀の川市の昼間人口比率は、岩出市や橋本市と比べると高い。
※夜間人口を100とした場合に昼間の人口が何人かを示す比率で、比率が高いほど通勤・通学などで人の流入が多く、100を下回る場合は人の流出が多いことを示す。

昼間人口比率



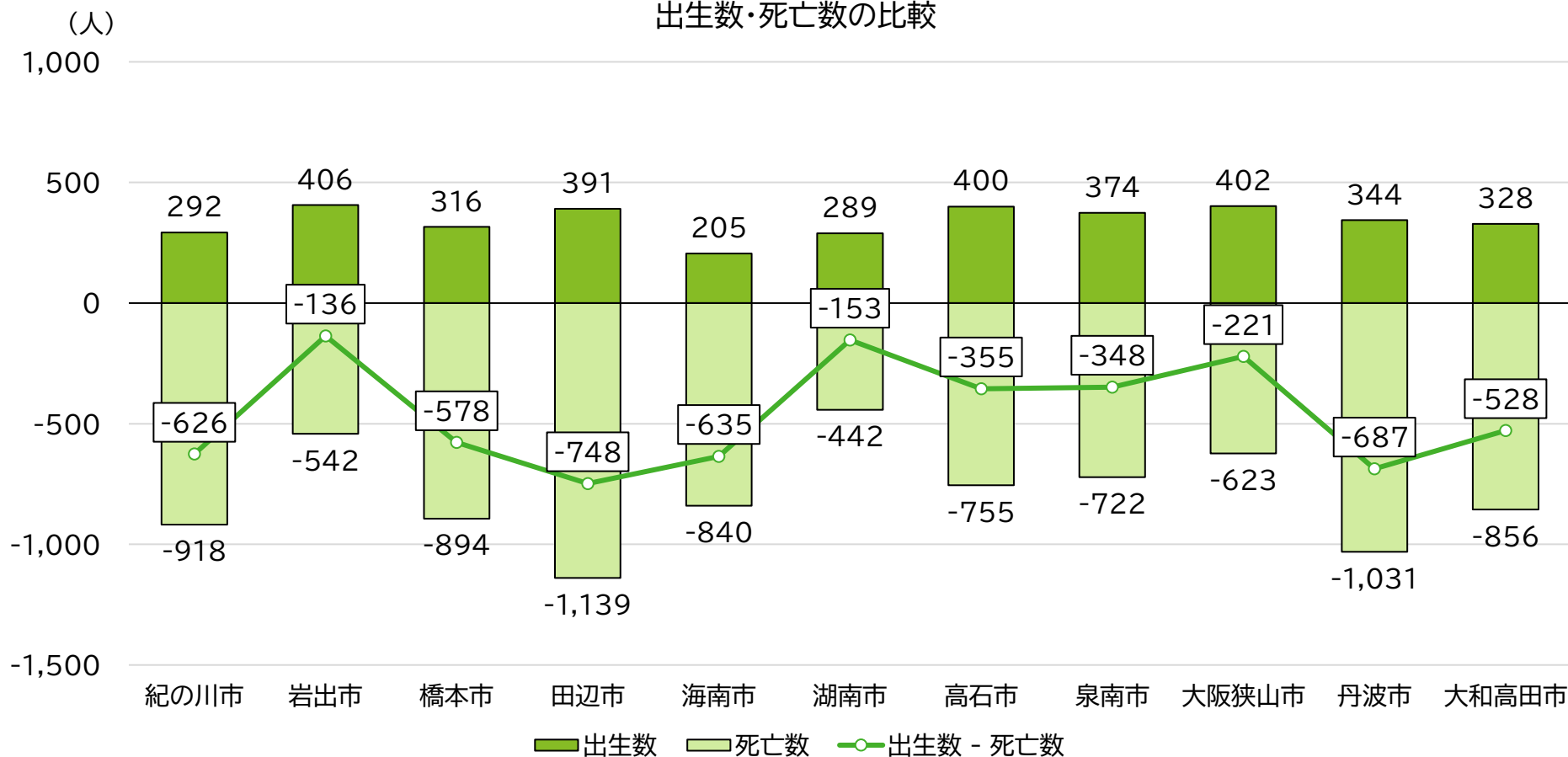
出典:国勢調査(2020年)、住民基本台帳人口移動報告(2025年)

(1)人口

出生数・死亡数の比較

- ✓ 紀の川市の出生数は海南市、湖南市より多いが、その他の市と比べると少ない。また、死亡数は、田辺市、丹波市に次いで多い。
- ✓ 紀の川市の自然動態(出生数-死亡数)は、田辺市、海南市より高い水準だが、自然減となっている。

出生数・死亡数の比較



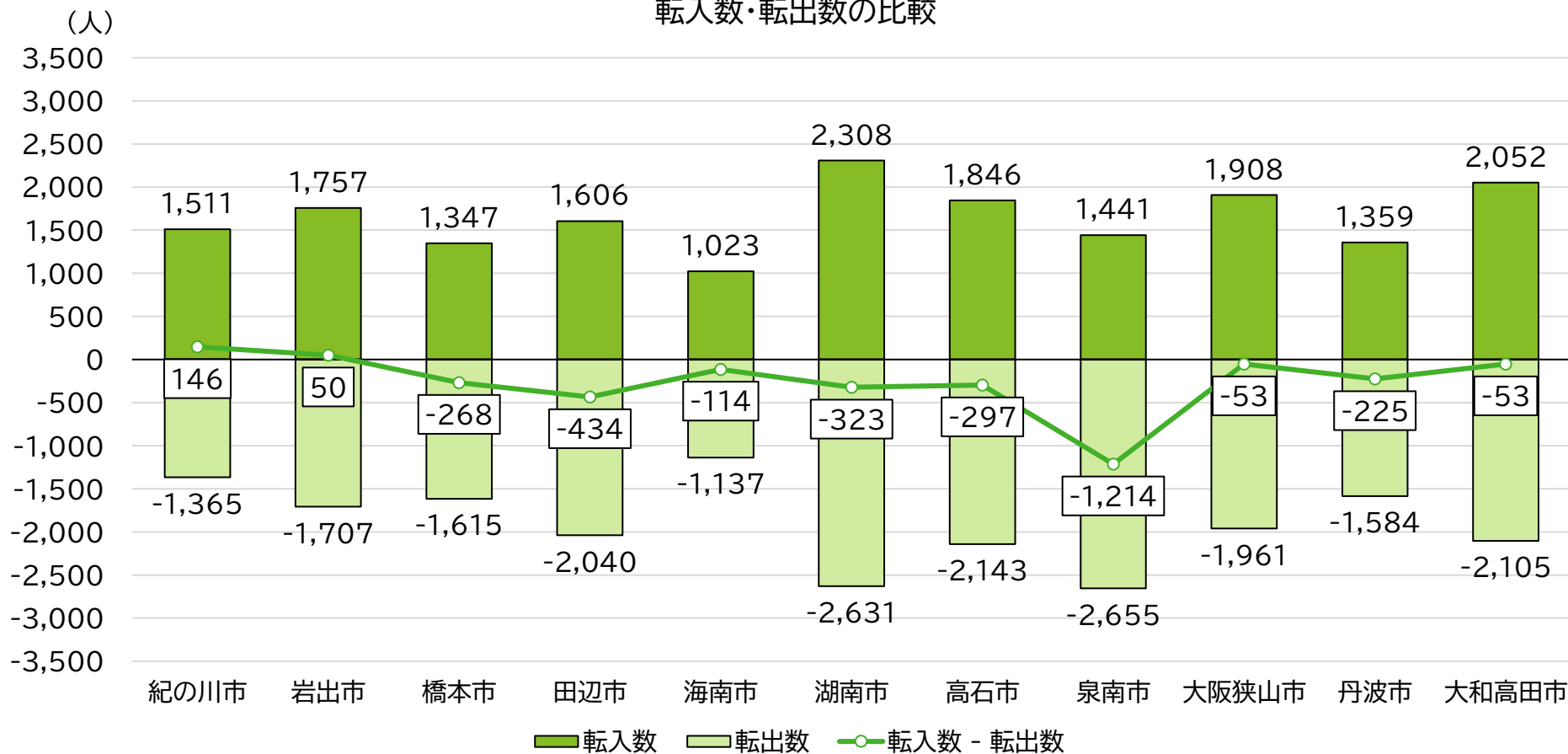
出典:国勢調査(2020年)

(1)人口

転出数・転入数の比較

- ✓ 紀の川市の転出数は、海南市より多いが、その他の市と比べると少ない。また、転入数は、比較対象団体の平均水準である。
- ✓ 紀の川市の社会動態(転入数-転出数)は、比較対象団体と比べるともっとも多い。

転入数・転出数の比較



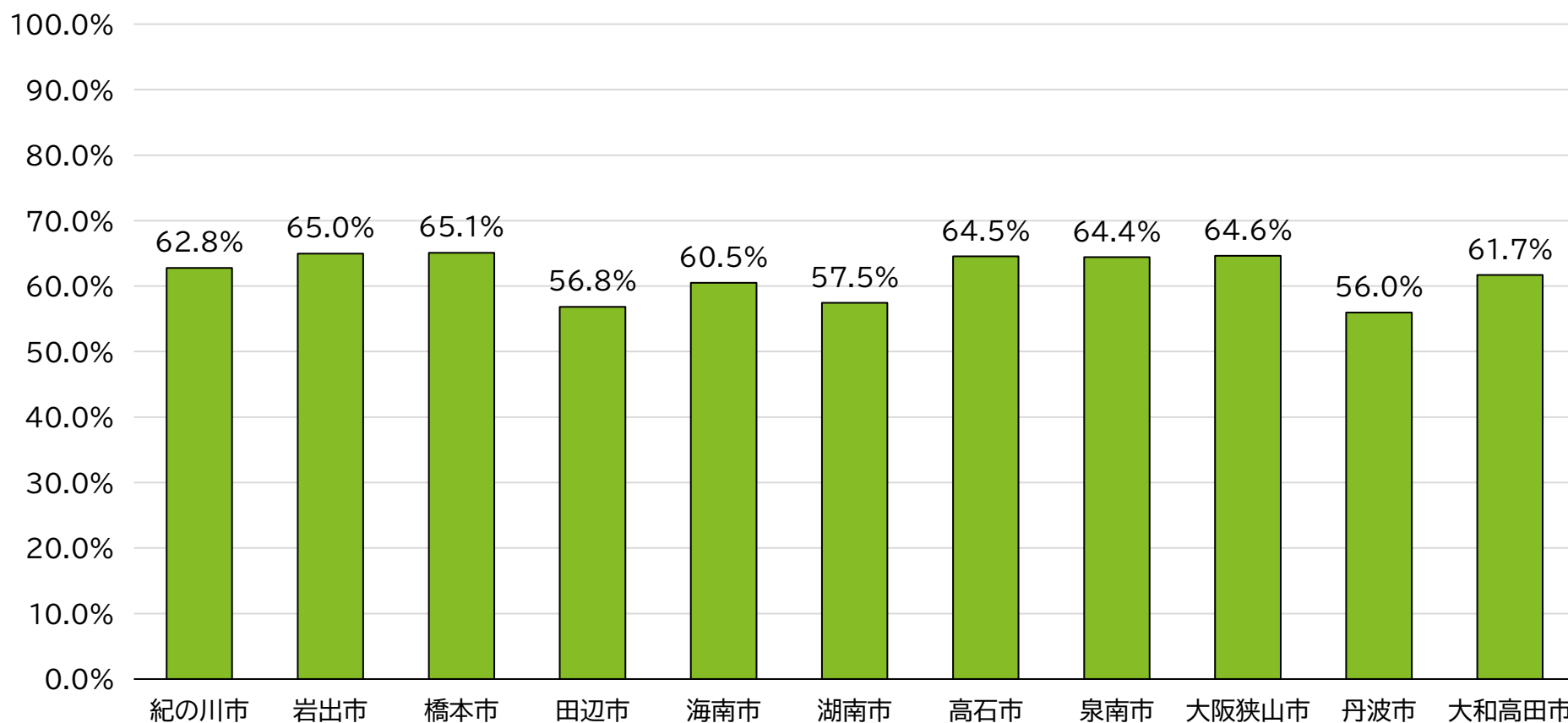
出典:国勢調査(2020年)

(1)人口

一般世帯に占める核家族世帯の割合の比較

✓ 紀の川市の一般世帯に占める核家族世帯の割合は、比較対象団体の平均水準である。

一般世帯に占める核家族世帯の割合



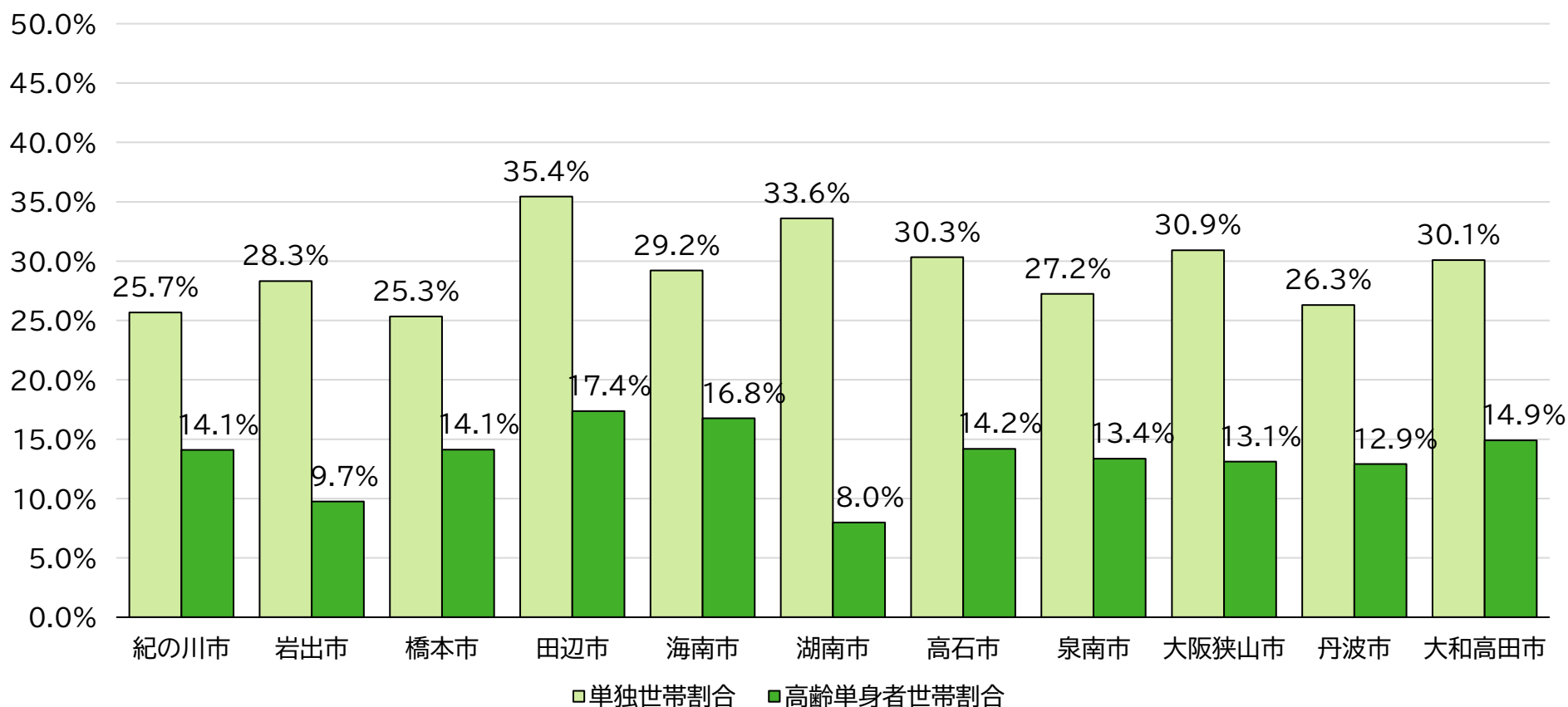
出典：国勢調査(2020年)

(1)人口

一般世帯に占める各世帯類型の割合の比較

- ✓ 紀の川市の一般世帯に占める単独世帯の割合は、橋本市に次いで低い。
- ✓ 高齢単身者世帯の割合は、湖南省、岩出市以外の比較対象団体と概ね同水準である。

一般世帯に占める各世帯類型の割合



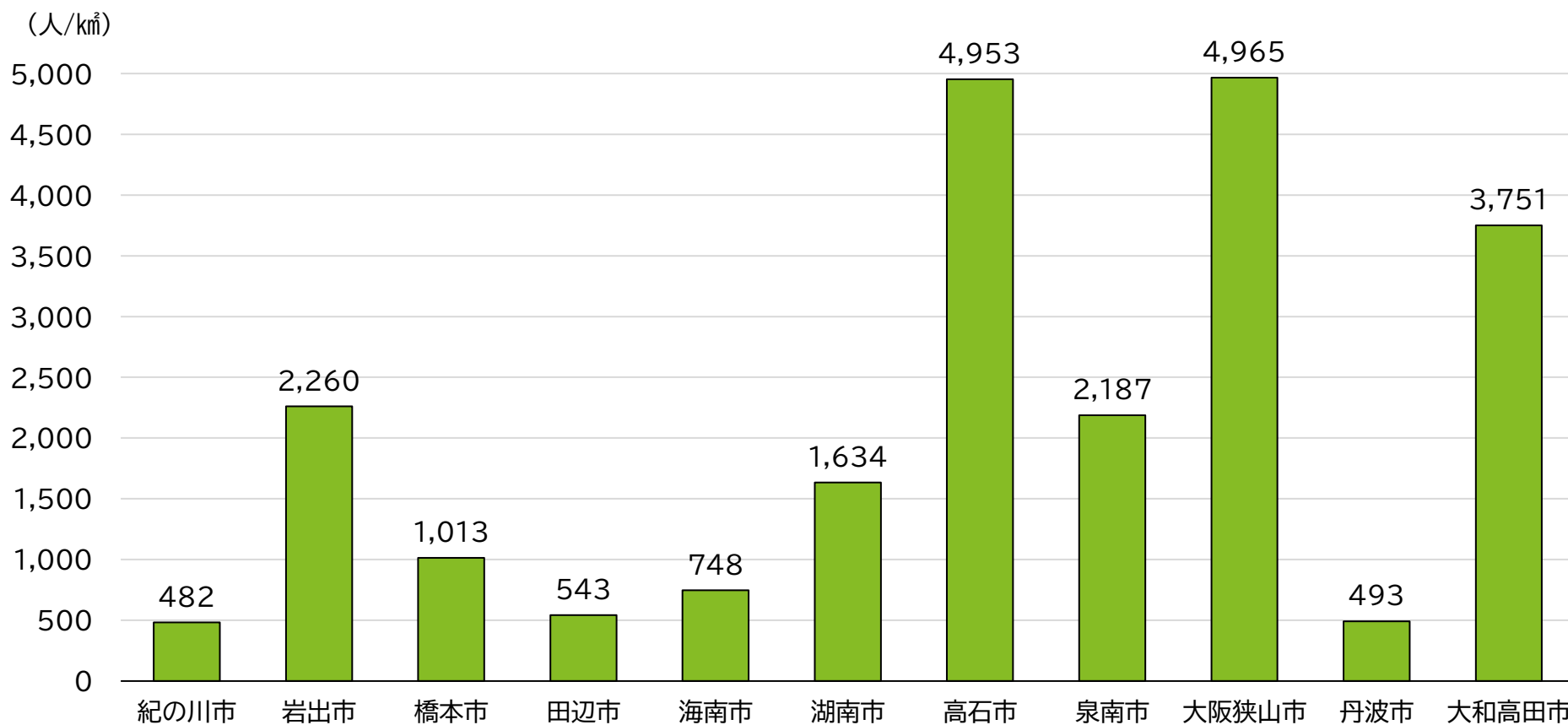
出典：国勢調査(2020年)

(1)人口

可住地面積※1km²あたり人口密度の比較

✓ 紀の川市の可住地面積1km²あたり人口密度は、比較対象団体と比べてもっとも小さい。

可住地面積1km²あたり人口密度



※可住地面積: 総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出した面積

出典: 住民基本台帳人口移動報告(2025年)

Ⅲ.基礎調査の結果

(1)人口

(2)産業・経済

(3)子育て・教育

(4)医療・福祉

(5)生活環境

(6)行政

(2)産業・経済

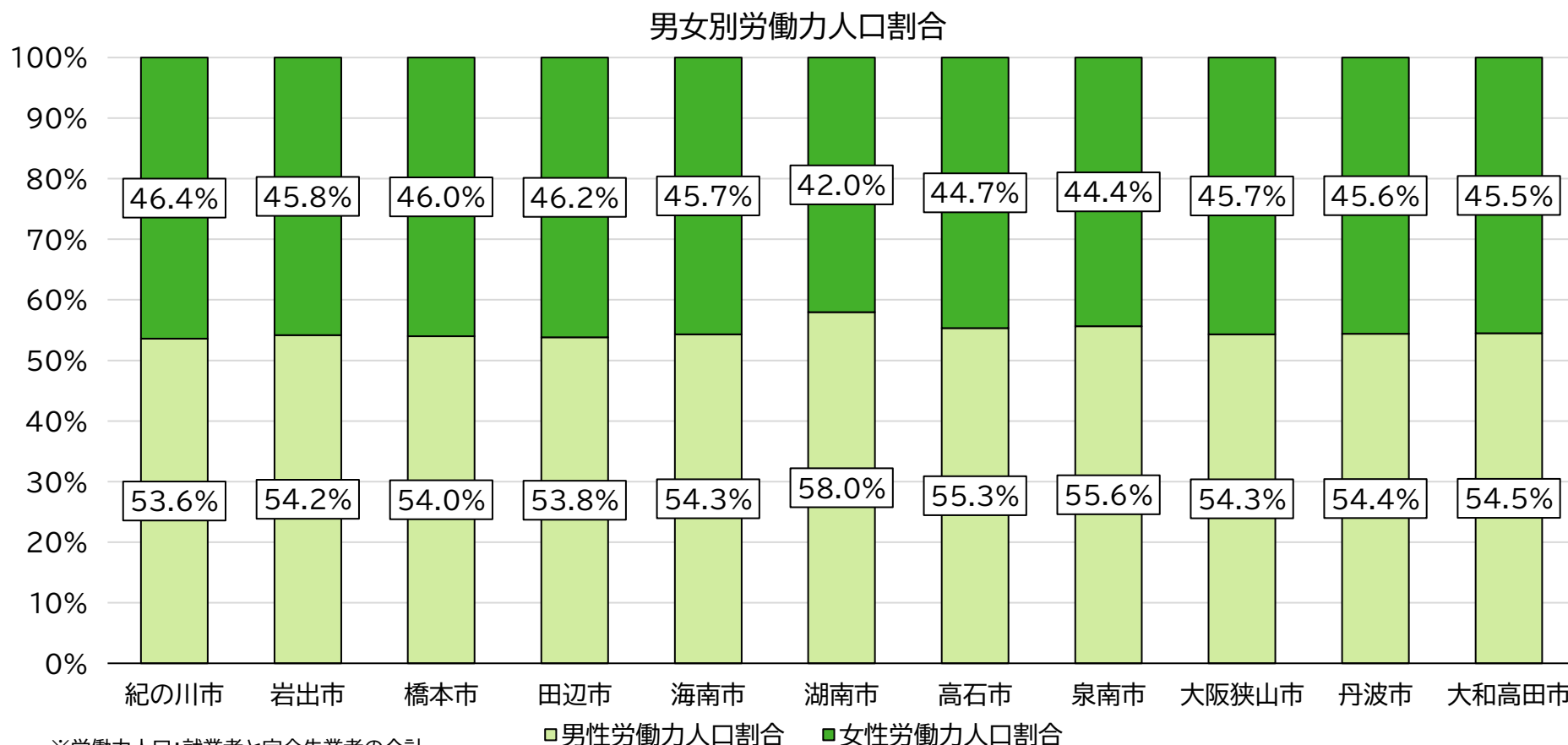
比較項目一覧

ページ	項目	算式等
29	男女別労働力人口割合	男性労働力人口割合、女性労働力人口割合 (男性労働力人口、女性労働力人口が労働力人口に占める割合)
30	年代別労働力人口割合	15～64歳労働力人口割合、65歳以上労働力人口割合 (15～64歳労働力人口、65歳以上労働力人口が労働力人口に占める割合)
31	男女別就業者割合	男性就業者割合、女性就業者割合 (男性就業者数、女性就業者数が就業者数に占める割合)
32	年代別就業者割合	15～64歳就業者割合、65歳以上就業者数 (15～64歳就業者数、65歳以上就業者数が就業者数に占める割合)
33	労働力状態別労働力人口割合	就業者割合、完全失業者割合 (就業者数、完全失業者数が労働力人口に占める割合)
34	第二次産業従業者数・事業所数	第二次産業従業者数、第二次産業事業所数
35	第三次産業従業者数・事業所数	第三次産業従業者数、第三次産業事業所数
36	農業産出額	農業産出額
37	産業別就業者数割合	第一次産業従業者割合、第二次産業従業者割合、第三次産業従業者割合 (第一次産業従業者数、第二次産業従業者数、第三次産業従業者のそれぞれが全体に占める割合)
38	産業別産出額数割合	第一次産業生産額割合、第二次産業生産額割合、第三次産業生産額割合

(2)産業・経済

男女別労働力人口※割合の比較

✓ 紀の川市の男女別労働力人口割合は、男性労働力人口割合が高く、女性労働力人口割合が低い。



※労働力人口：就業者と完全失業者の合計。

就業者数：賃金、給料、諸手当など収入（現物収入を含む。）を伴う仕事を少しでもした人。

完全失業者数：収入を伴う仕事を少しもしなかった人のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ、ハローワーク（公共職業安定所）に申し込むなどして積極的に仕事を探していた人。

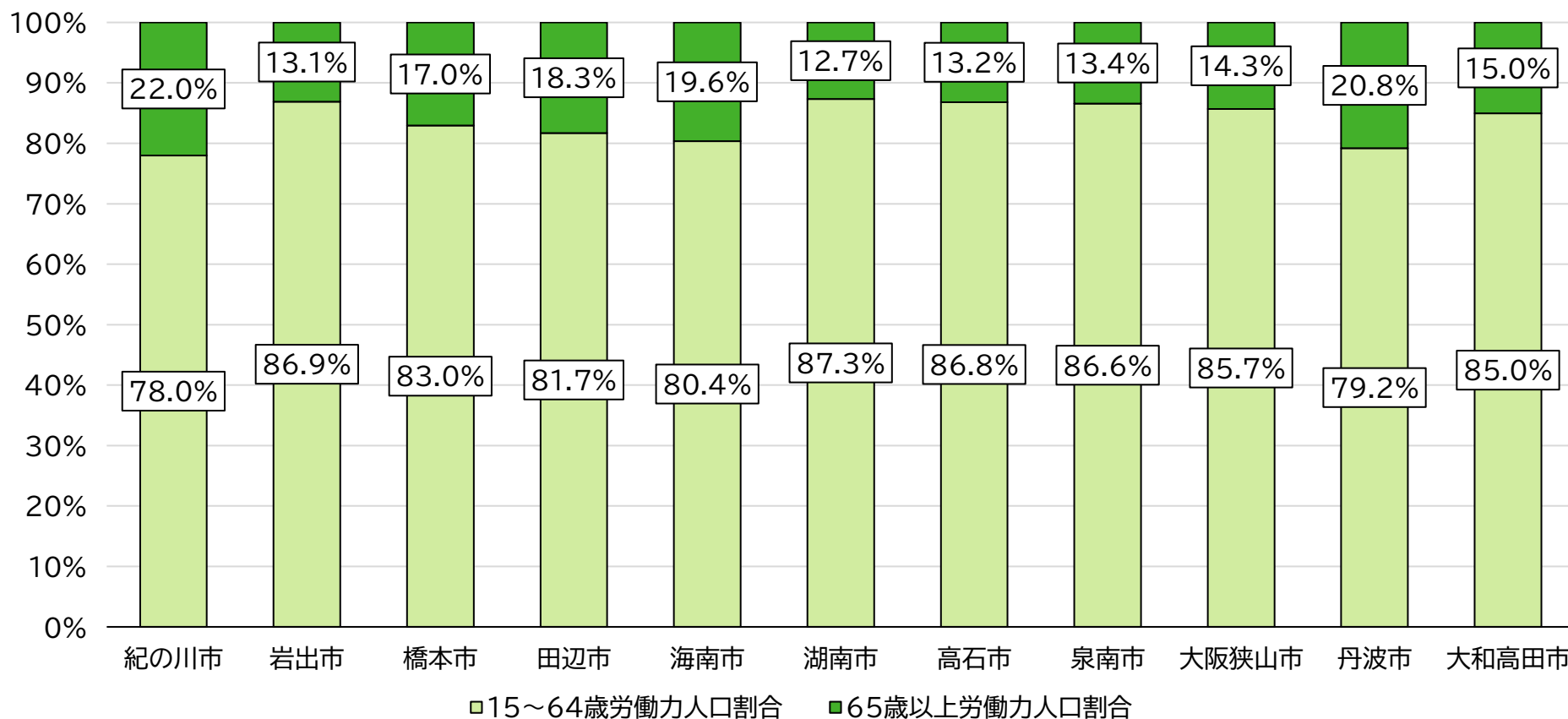
出典：国勢調査（2020年）

(2)産業・経済

年代別労働力人口割合の比較

- ✓ 紀の川市の年代別労働力人口割合は、15～64歳労働力人口割合が高く、65歳以上労働力人口割合が低い。
- ✓ 紀の川市の65歳以上労働力人口割合は、比較対象団体より高い。

年代別労働力人口割合



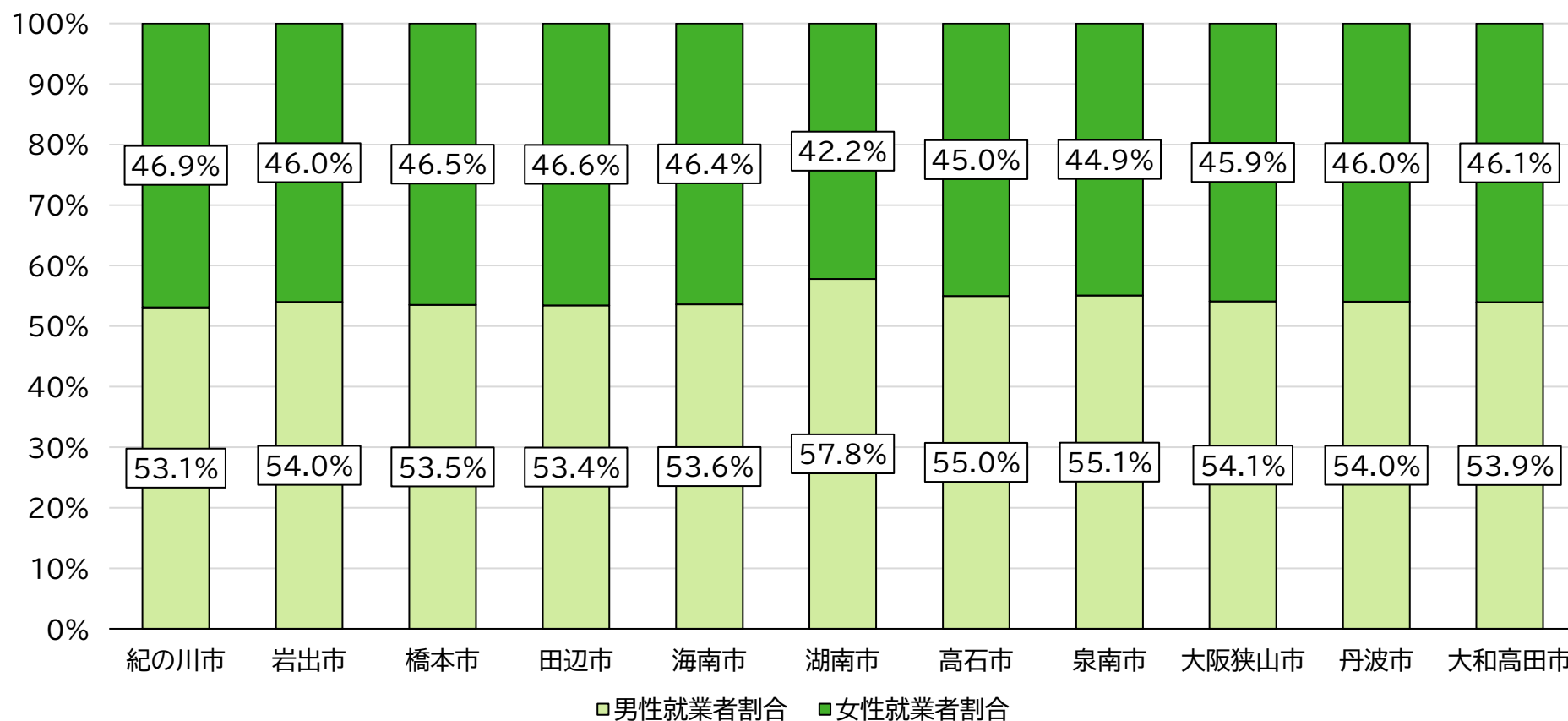
出典：国勢調査(2020年)

(2)産業・経済

男女別就業者割合の比較

✓ 紀の川市の男女別就業者割合は、男性就業者割合が高く、女性就業者割合が低い。

男女別就業者割合



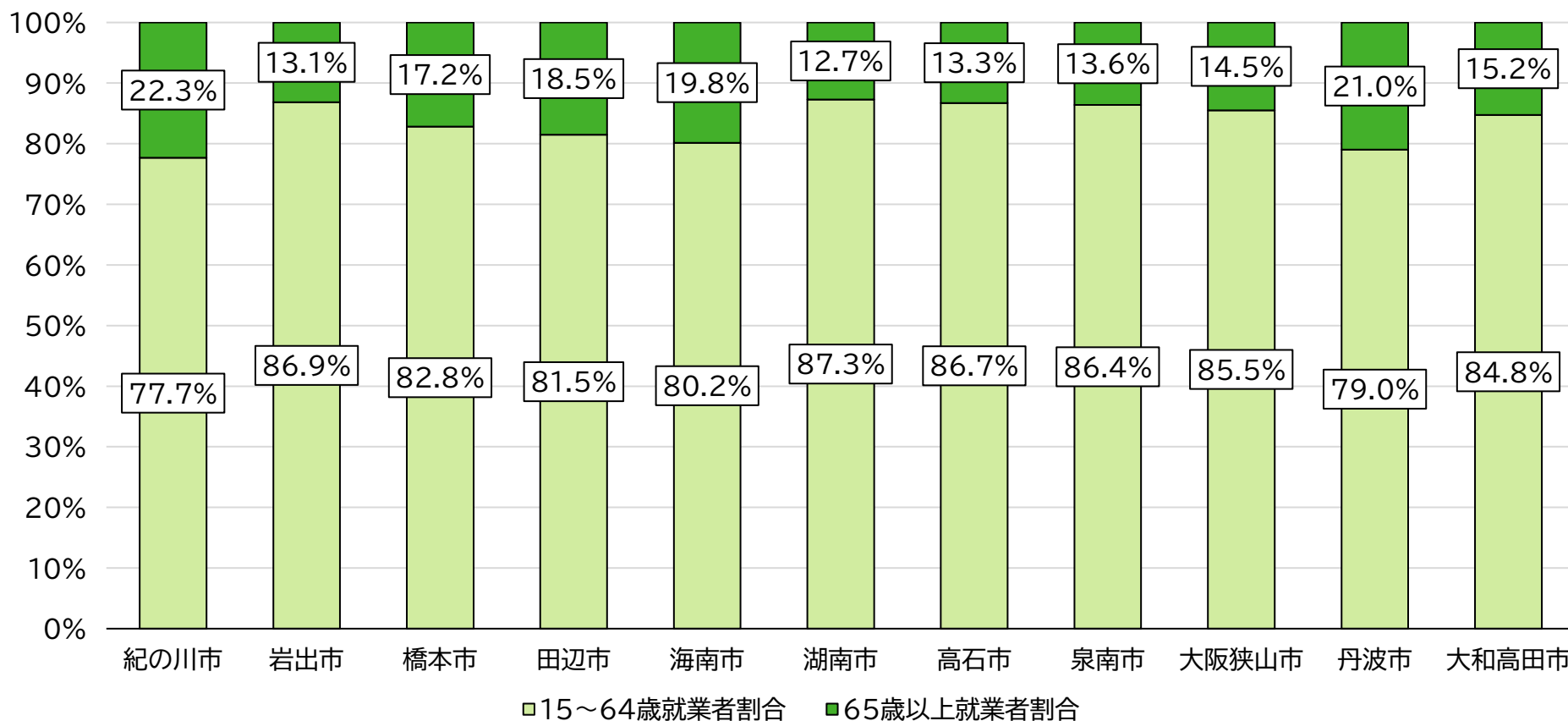
出典：国勢調査(2020年)

(2)産業・経済

年代別就業者割合の比較

- ✓ 紀の川市の年代別就業者割合は、15～64歳就業者割合が高く、65歳以上就業者割合が低い。
- ✓ 紀の川市の65歳以上就業者割合は、比較対象団体より高い。

年代別就業者割合

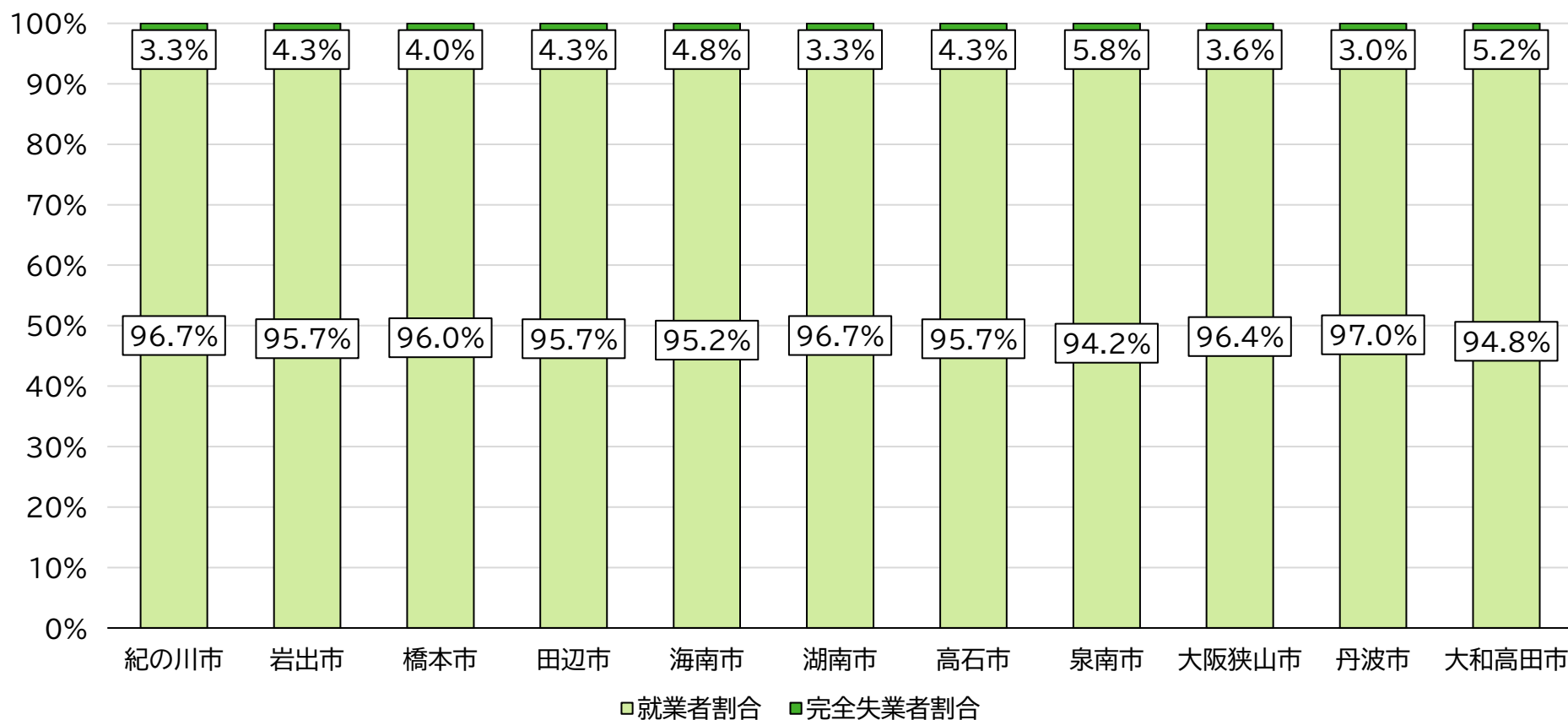


(2)産業・経済

労働力状態別労働力人口割合の比較

✓ 紀の川市の完全失業者割合は、丹波市に次いで低い。

労働力状態別労働力人口割合

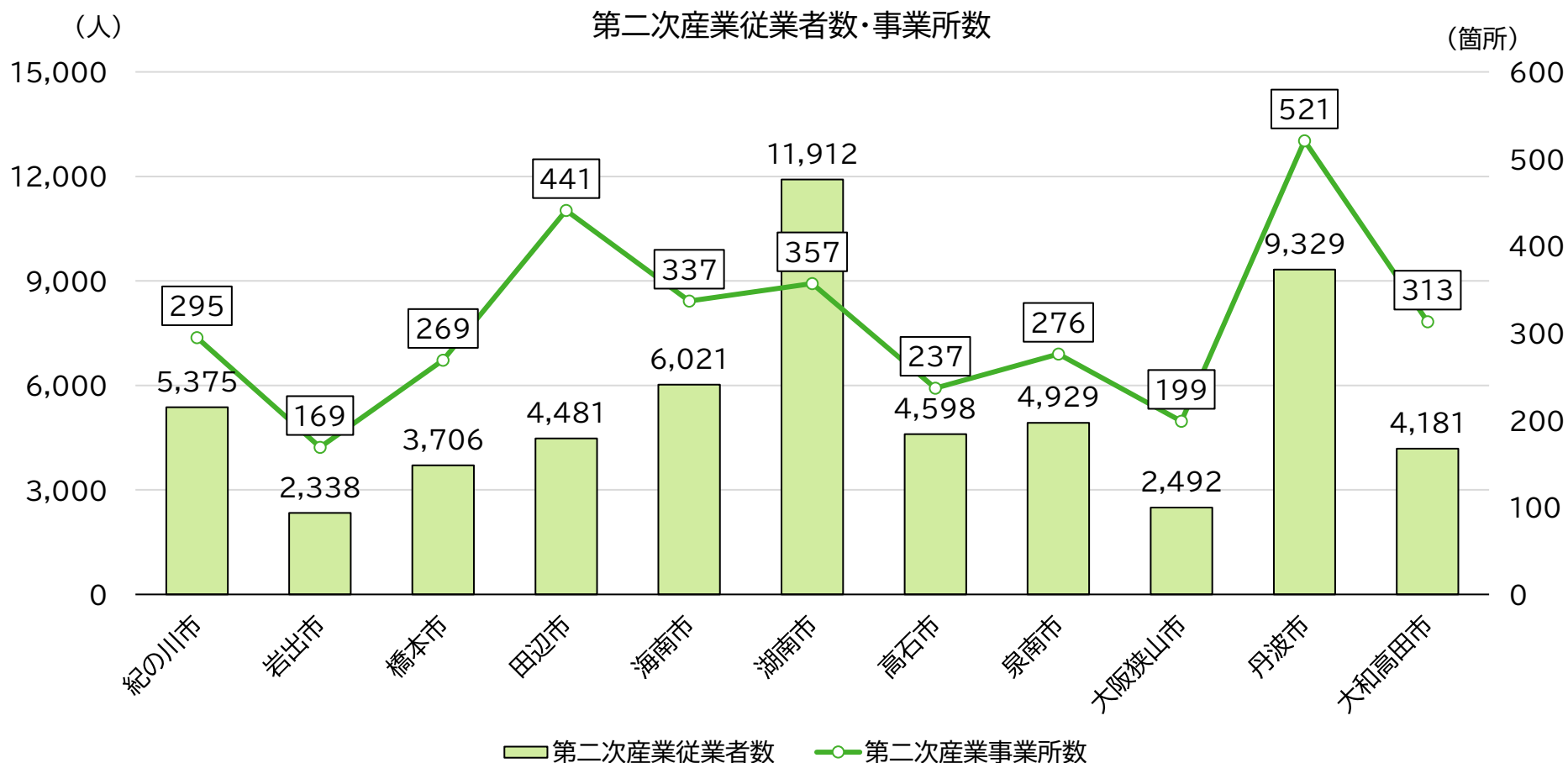


出典:国勢調査(2020年)

(2)産業・経済

第二次産業の従業者数と事業所数の比較

- ✓ 紀の川市の第二次産業の従業者数は、湖南市、丹波市、海南市に次いで多い。
- ✓ 紀の川市の第二次産業の事業所数は、橋本市や泉南市などと同水準である。

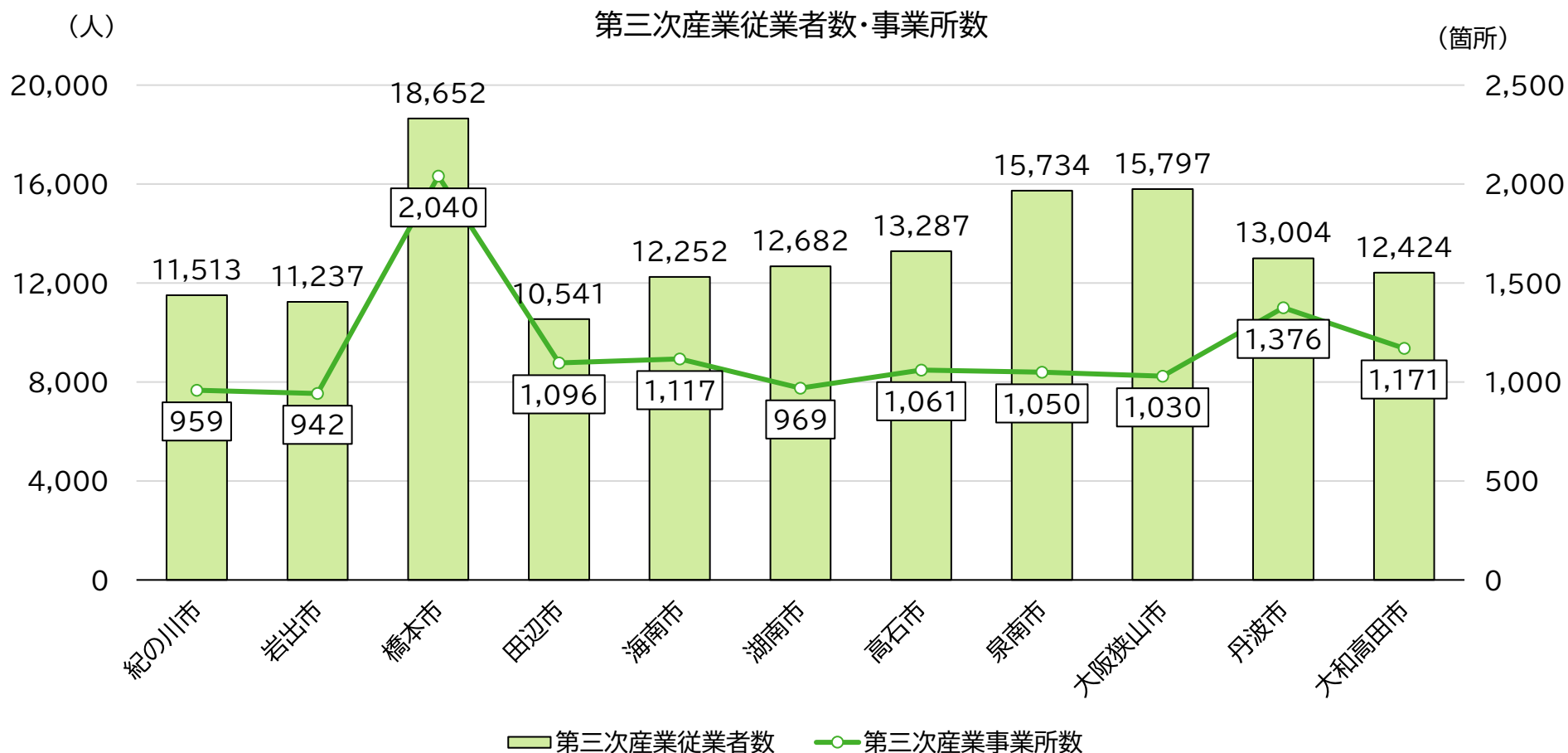


出典:国勢調査(2020年)

(2)産業・経済

第三次産業の従業者数と事業所数の比較

- ✓ 紀の川市の第三次産業の従業者数は、田辺市、岩出市に次いで少ない。
- ✓ 紀の川市の第三次産業の事業所数は、岩出市や湖南市と同水準である。

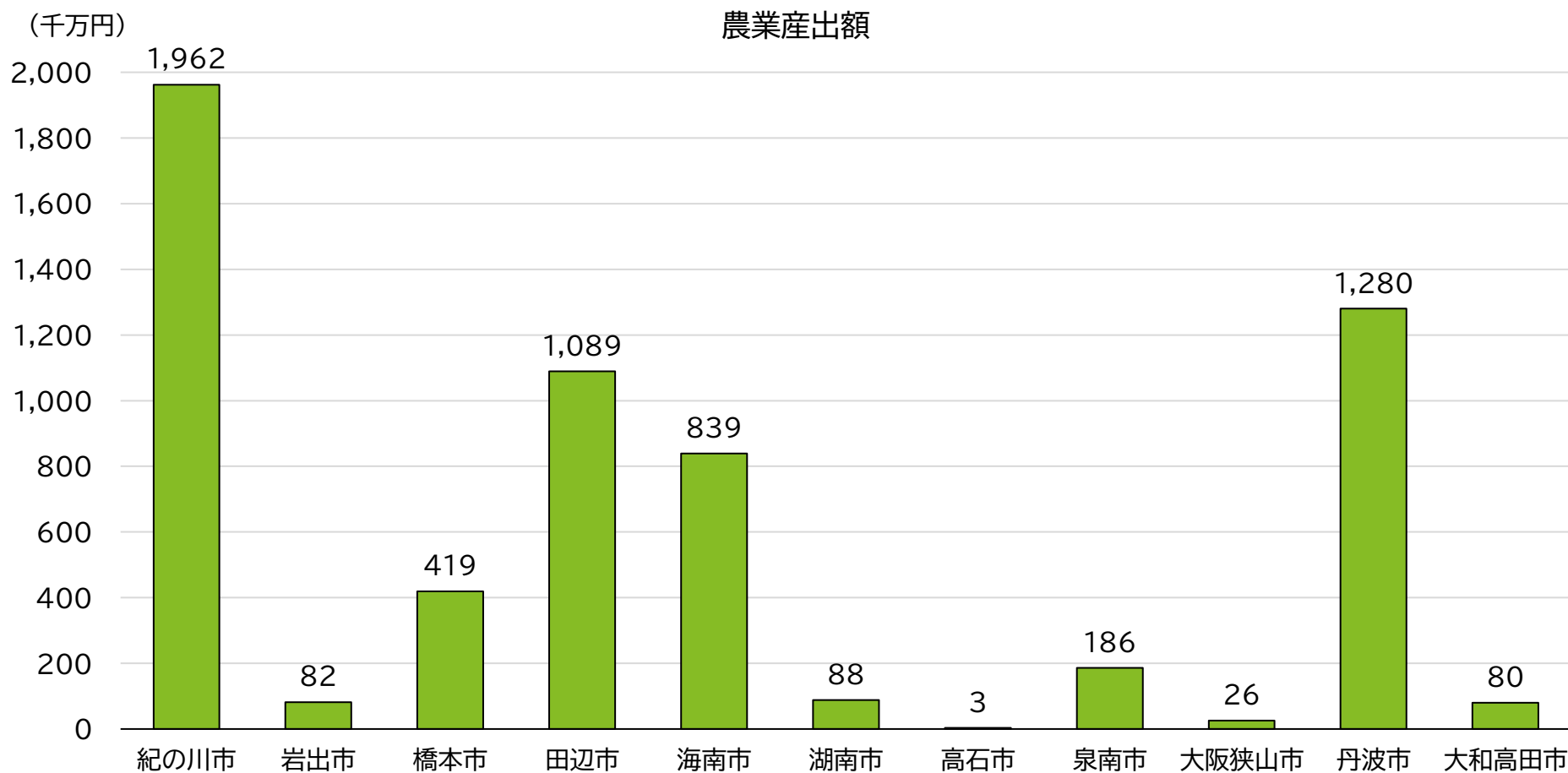


出典:国勢調査(2020年)

(2)産業・経済

農業産出額の比較

✓ 紀の川市の農業産出額は、比較対象団体より大幅に高い。



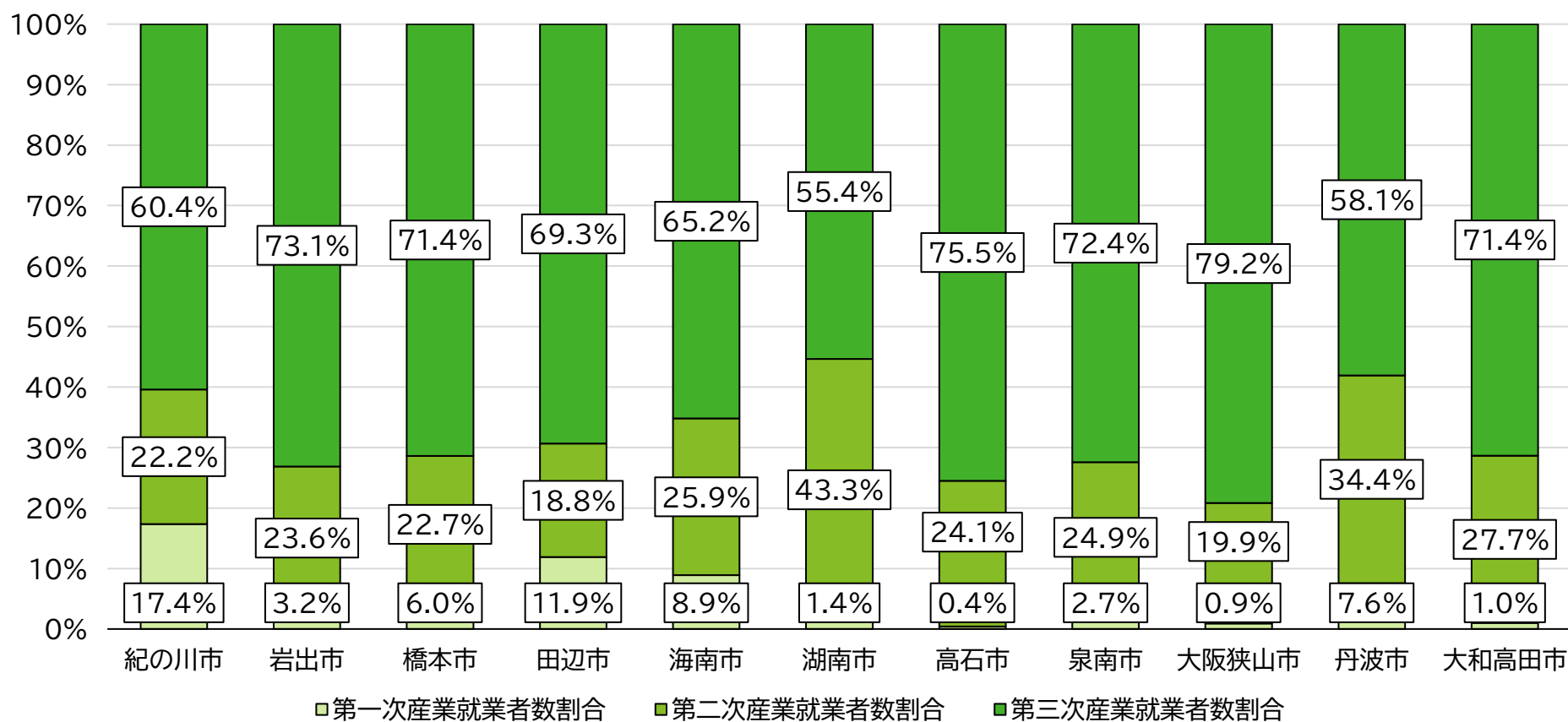
出典:経済センサス基礎調査(2024年)

(2)産業・経済

産業別就業者数割合の比較

✓ 紀の川市は、第一次産業の就業者数割合は比較対象団体と比べて高い。

産業別就業者数割合



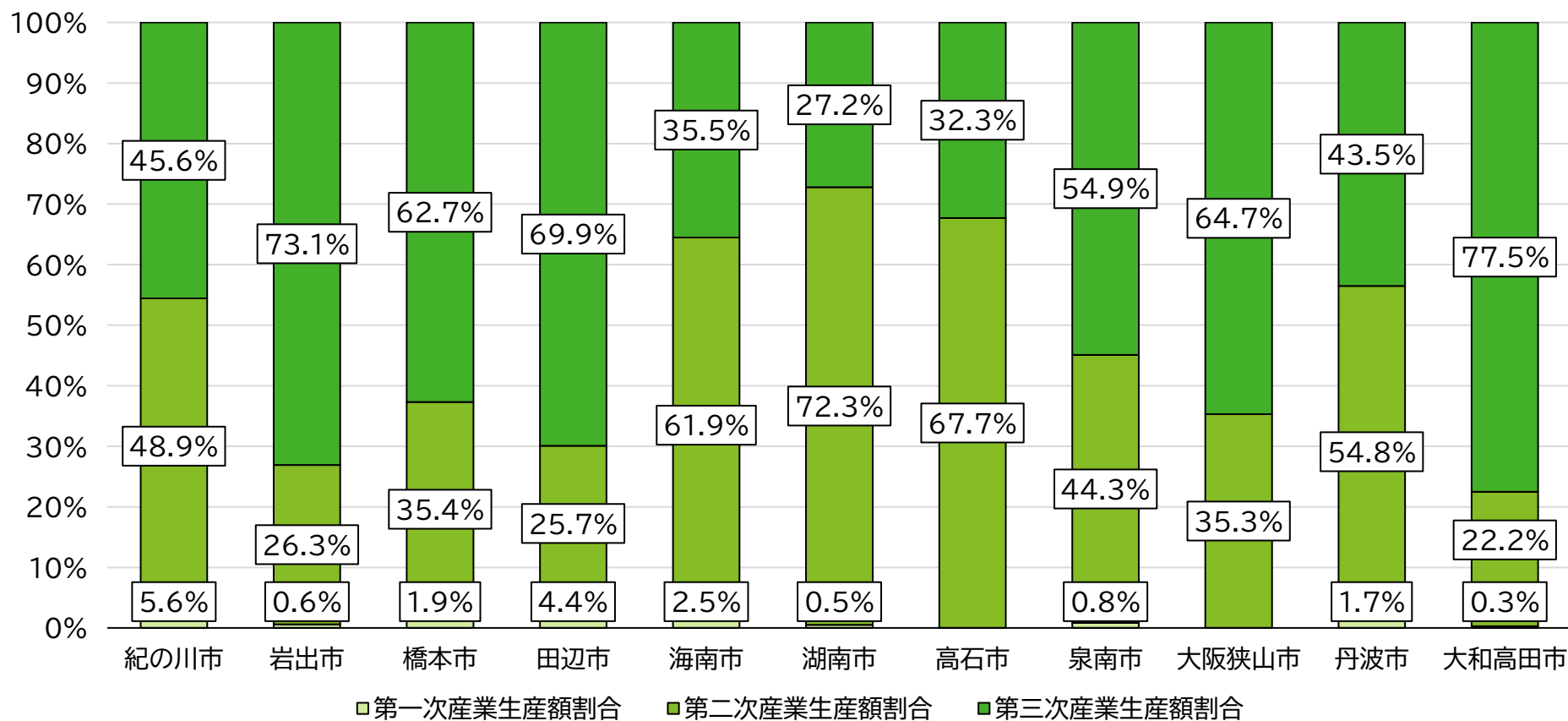
出典:国勢調査(2020年)

(2)産業・経済

産業別生産額構成割合の比較

- ✓ 紀の川市は、第一次産業生産額割合は比較対象団体と比べて高い。
- ✓ 紀の川市は、第二次産業生産額割合と第三次産業生産額割合は同程度である。

産業別生産額構成割合



出典：地域経済分析システム(2018年)

Ⅲ.基礎調査の結果

(1)人口

(2)産業・経済

(3)子育て・教育

(4)医療・福祉

(5)生活環境

(6)行政

(3)子育て・教育

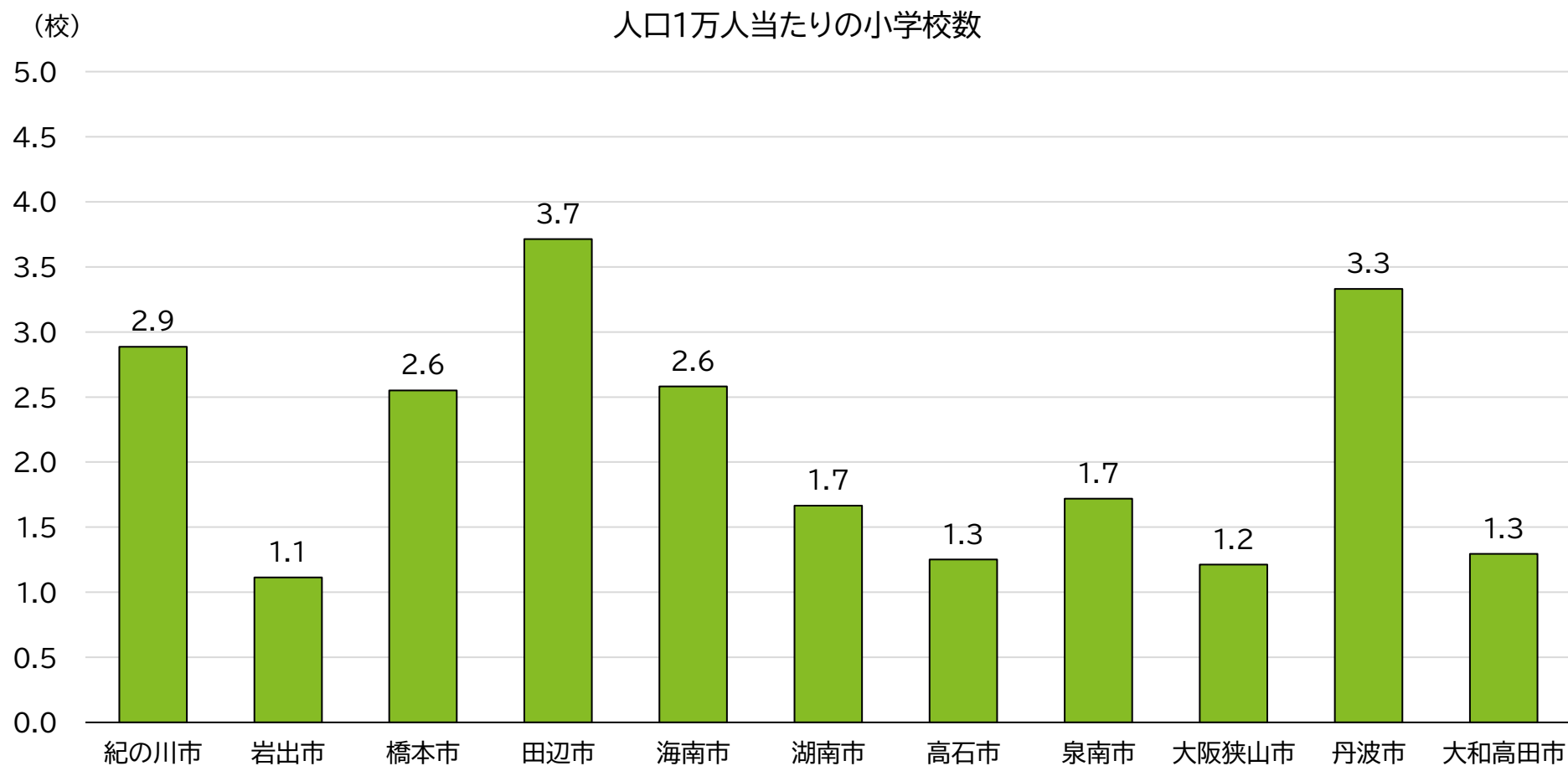
比較項目一覧

ページ	項目	算式等
41	人口1万人当たりの小学校数	$(\text{小学校数}) \div (\text{総人口}) \times 10,000$
42	小学校1校当たりの小学校児童数	$(\text{小学校児童数}) \div (\text{小学校数})$
43	小学校教員1人当たりの小学校児童数	$(\text{小学校児童数}) \div (\text{小学校教員数})$
44	人口1万人当たりの中学校数	$(\text{中学校数}) \div (\text{総人口}) \times 10,000$
45	中学校1校当たりの中学校生徒数	$(\text{中学校生徒数}) \div (\text{中学校数})$
46	中学校教員1人当たりの中学校生徒数	$(\text{中学校生徒数}) \div (\text{中学校教員数})$
47	人口1万人当たりの高等学校数	$(\text{高等学校数}) \div (\text{総人口}) \times 10,000$
48	高等学校1校当たりの高等学校生徒数	$(\text{高等学校生徒数}) \div (\text{高等学校数})$
49	高等学校教員1人当たりの高等学校生徒数	$(\text{高等学校生徒数}) \div (\text{高等学校教員数})$
50	人口1万人当たりの図書館数	$(\text{図書館数}) \div (\text{総人口}) \times 10,000$

(3)子育て・教育

人口1万人当たりの小学校数の比較

✓ 紀の川市の人口1万人当たりの小学校数は、田辺市、丹波市に次いで多い。

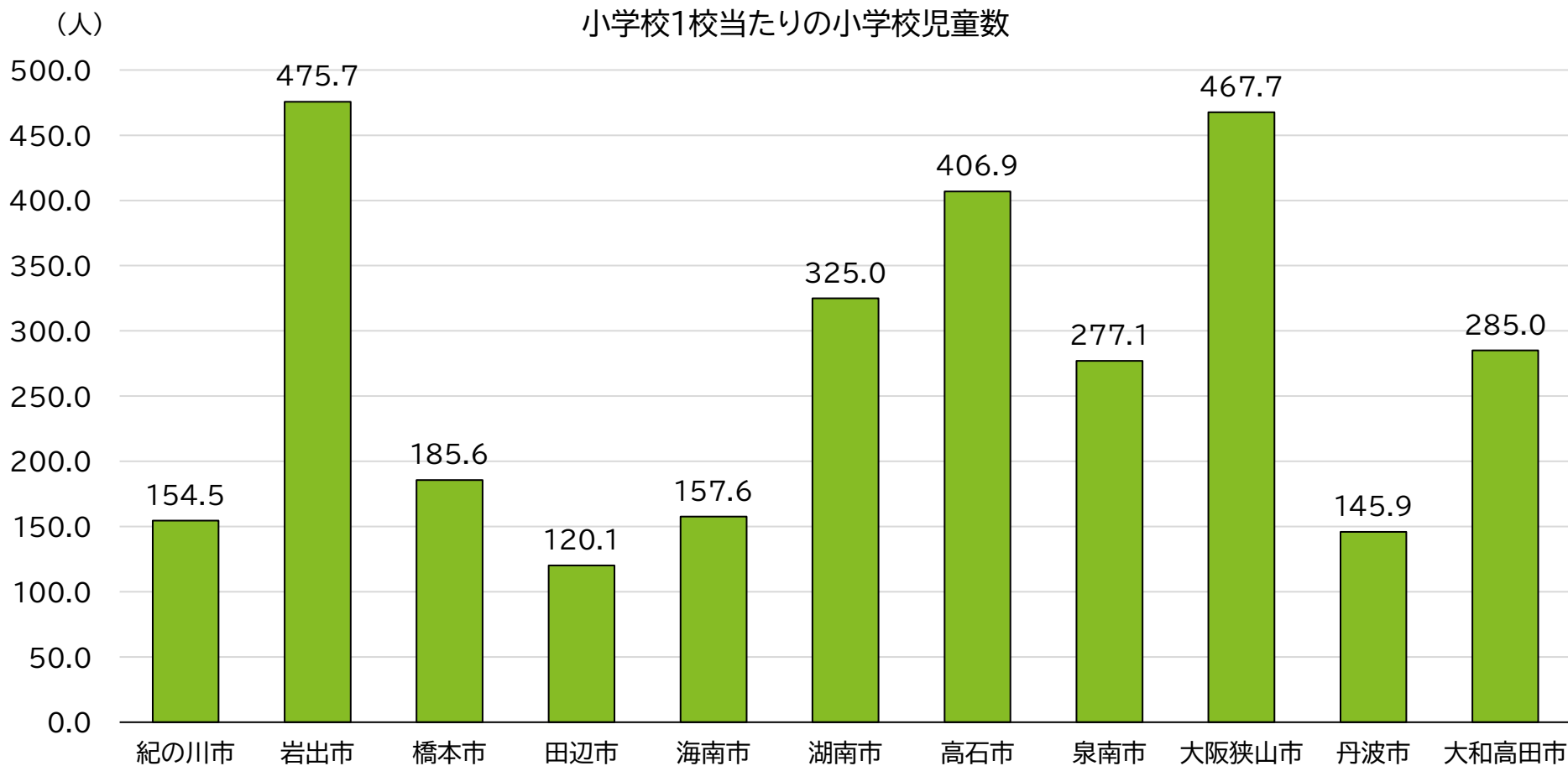


出典:学校基本調査(2024年)

(3)子育て・教育

小学校1校当たりの小学校児童数の比較

✓ 紀の川市の小学校1校当たりの小学校児童数は、田辺市、丹波市に次いで少ない。

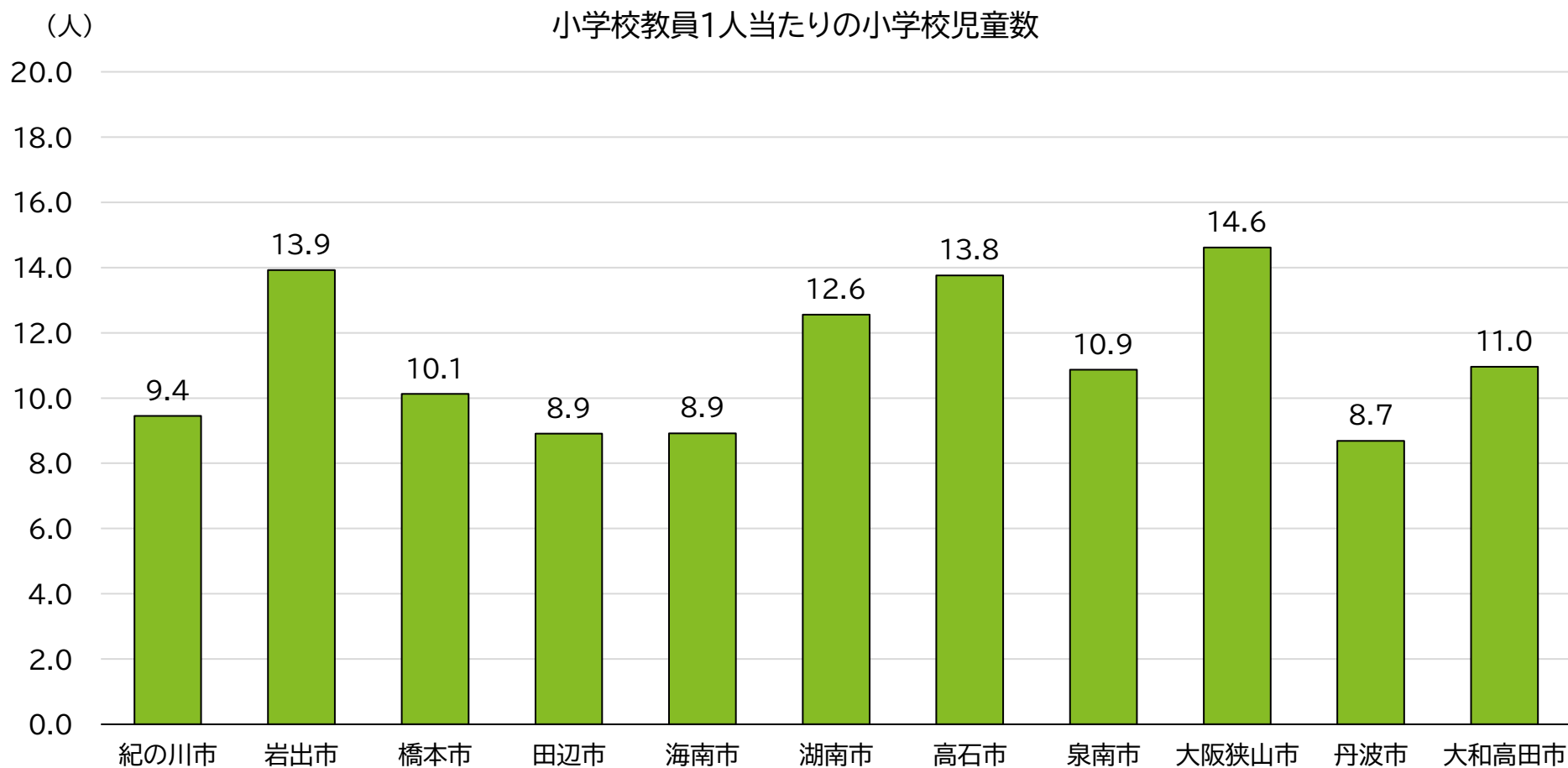


出典:学校基本調査(2024年)

(3)子育て・教育

小学校教員1人当たりの小学校児童数の比較

✓ 紀の川市の小学校教員1人当たりの小学校児童数は、田辺市、海南市、丹波市に次いで少ない。

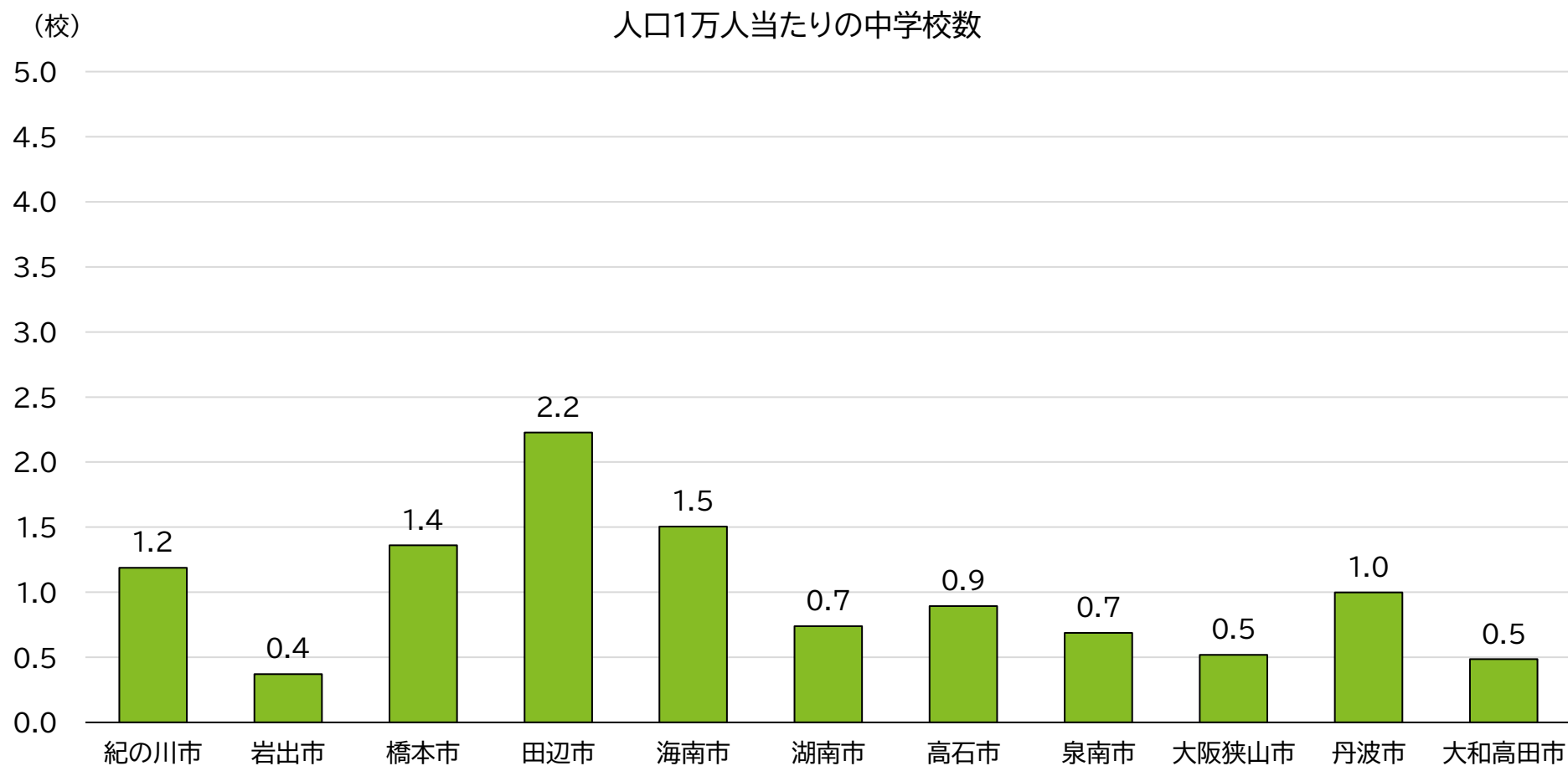


出典:学校基本調査(2024年)

(3)子育て・教育

人口1万人当たりの中学校数の比較

✓ 紀の川市の人口1万人当たりの中学校数は、田辺市、海南市、橋本市に次いで多い。

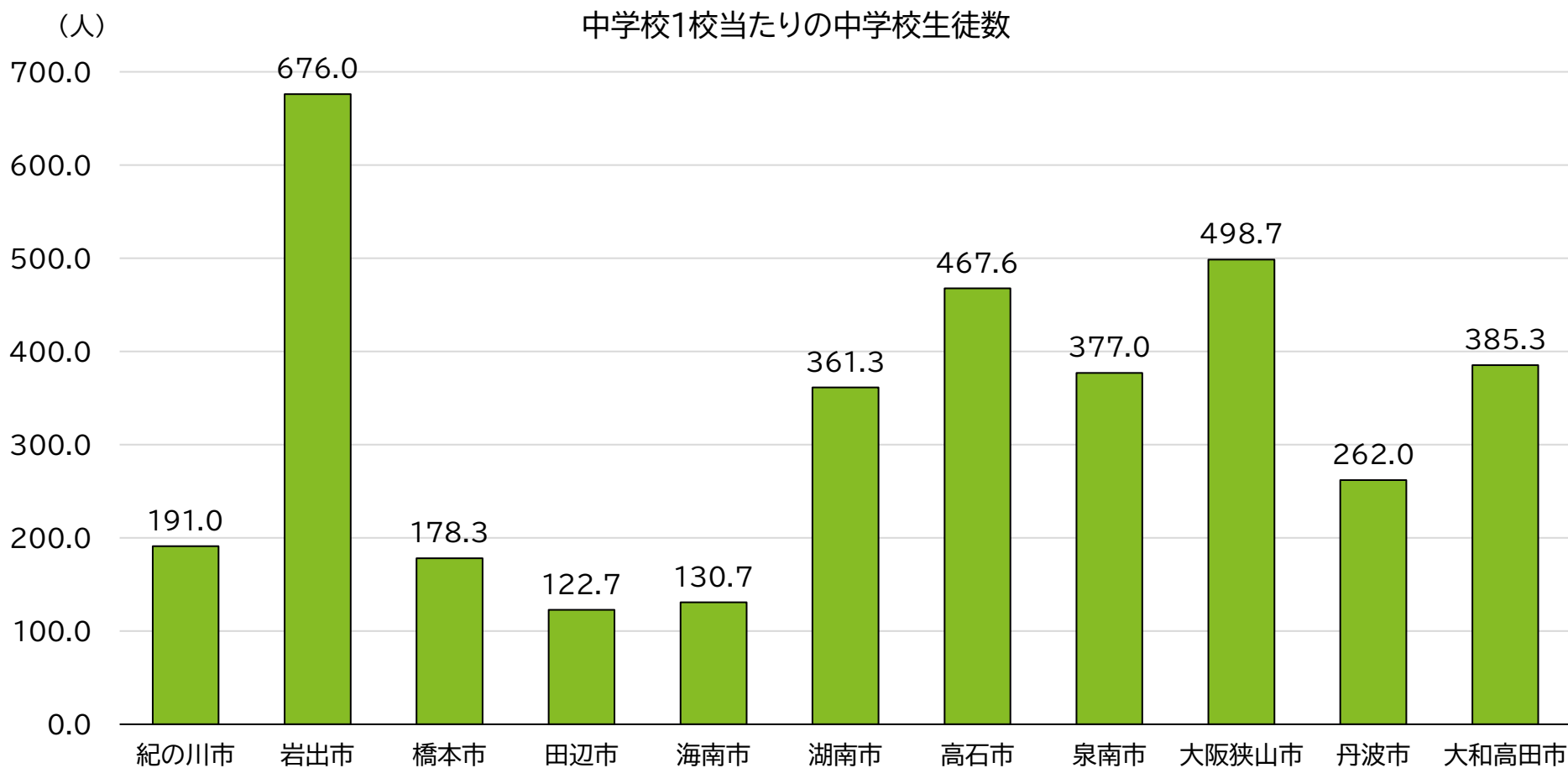


出典:学校基本調査(2024年)

(3)子育て・教育

中学校1校当たりの中学校生徒数の比較

✓ 紀の川市の中学校1校当たりの中学校生徒数は田辺市、海南市、橋本市に次いで少ない。

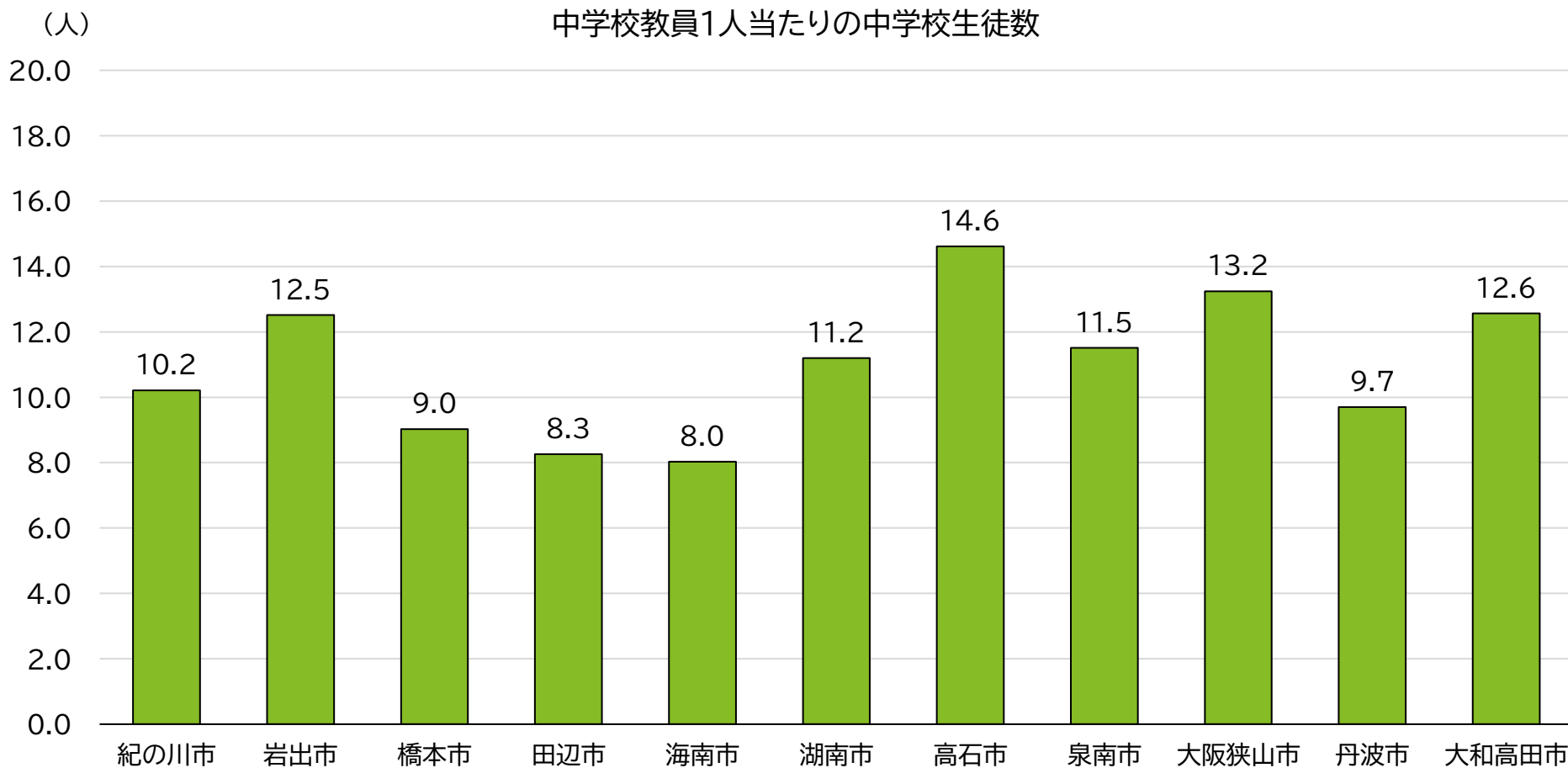


出典:学校基本調査(2024年)

(3)子育て・教育

中学校教員1人当たりの中学校生徒数の比較

✓ 紀の川市の中学校教員1人当たり生徒数は、海南市、田辺市、橋本市、丹波市に次いで少ない。

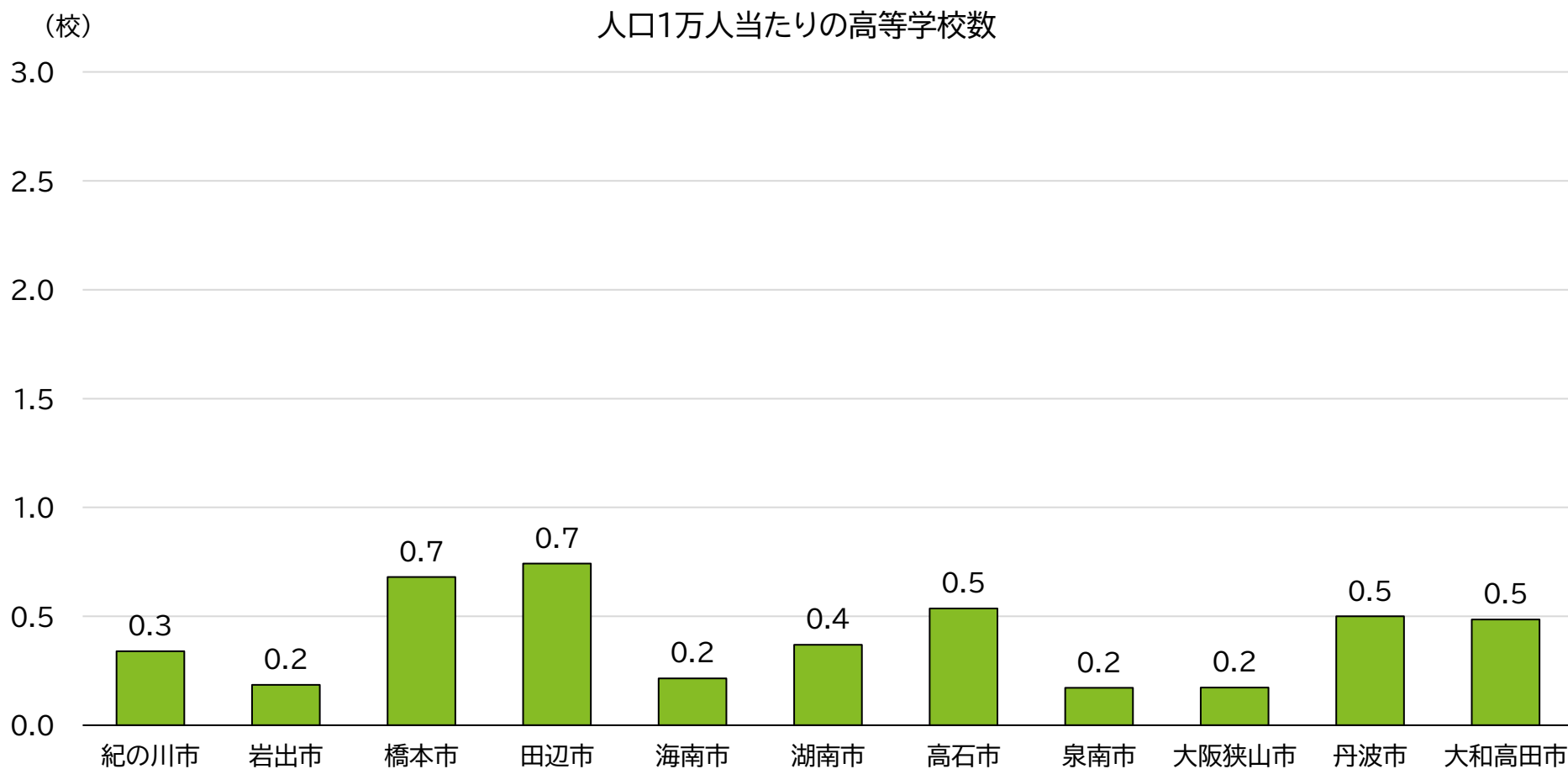


出典:学校基本調査(2024年)

(3)子育て・教育

人口1万人当たりの高等学校数の比較

✓ 紀の川市の人口1万人当たりの高等学校数は、比較対象団体と比べると概ね平均の水準である。

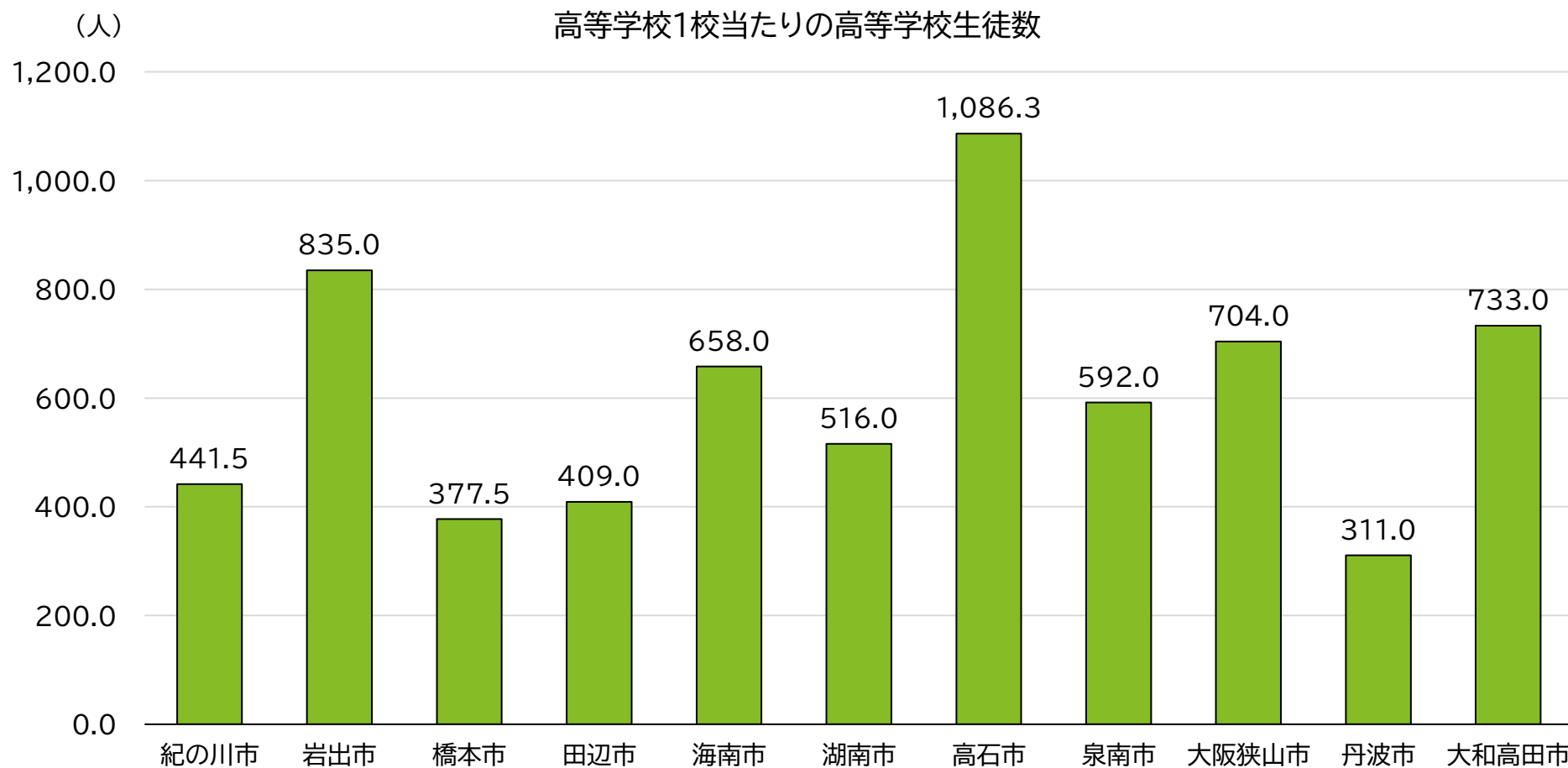


出典:学校基本調査(2024年)

(3)子育て・教育

高等学校1校当たりの高等学校生徒数の比較

✓ 紀の川市の高等学校1校当たりの生徒数は、丹波市、橋本市、田辺市に次いで少ない。

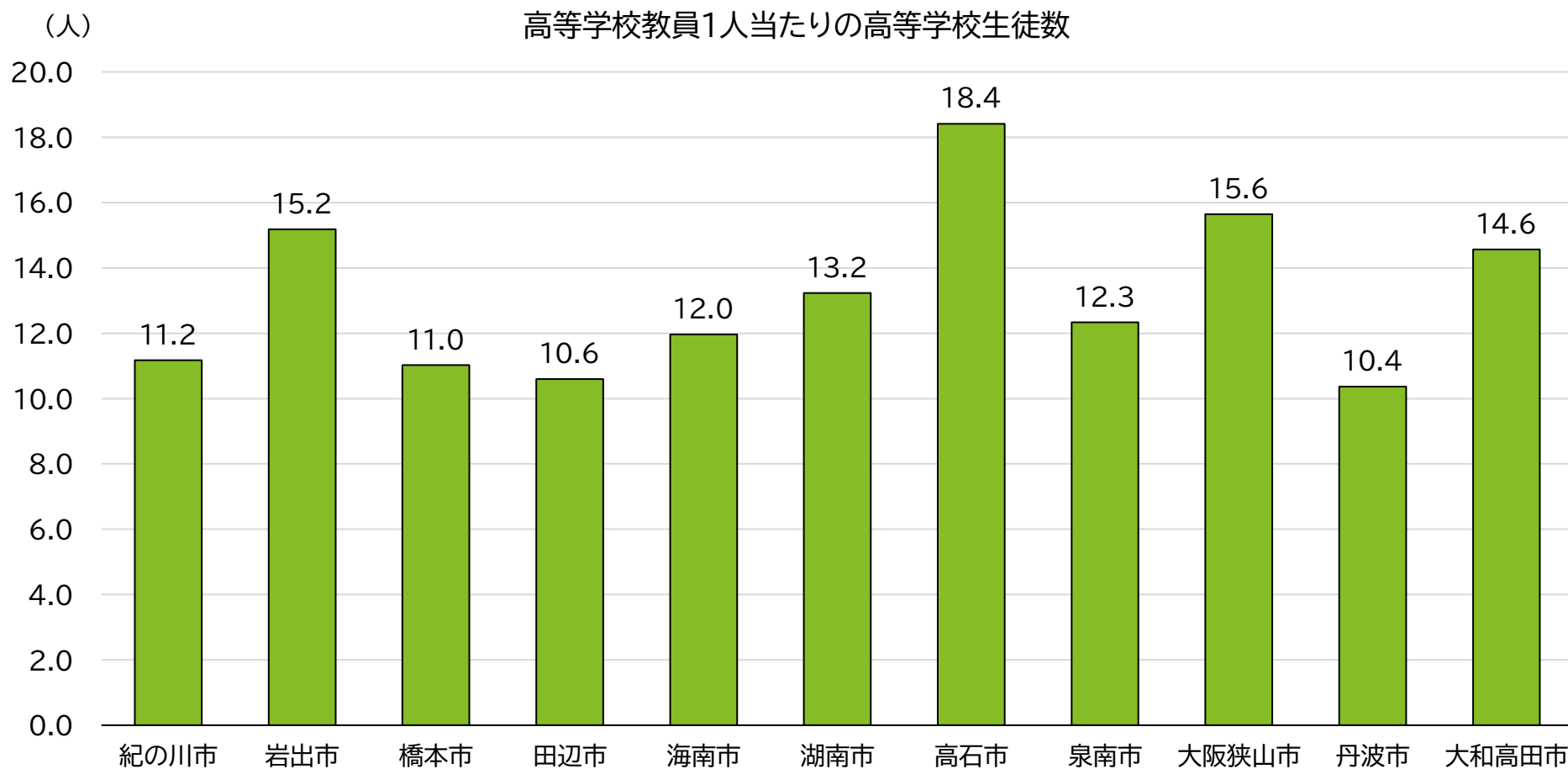


出典:学校基本調査(2024年)

(3)子育て・教育

高等学校教員1人当たりの高等学校生徒数の比較

✓ 紀の川市の高等学校教員1人当たりの生徒数は、丹波市、田辺市、橋本市に次いで少ない。

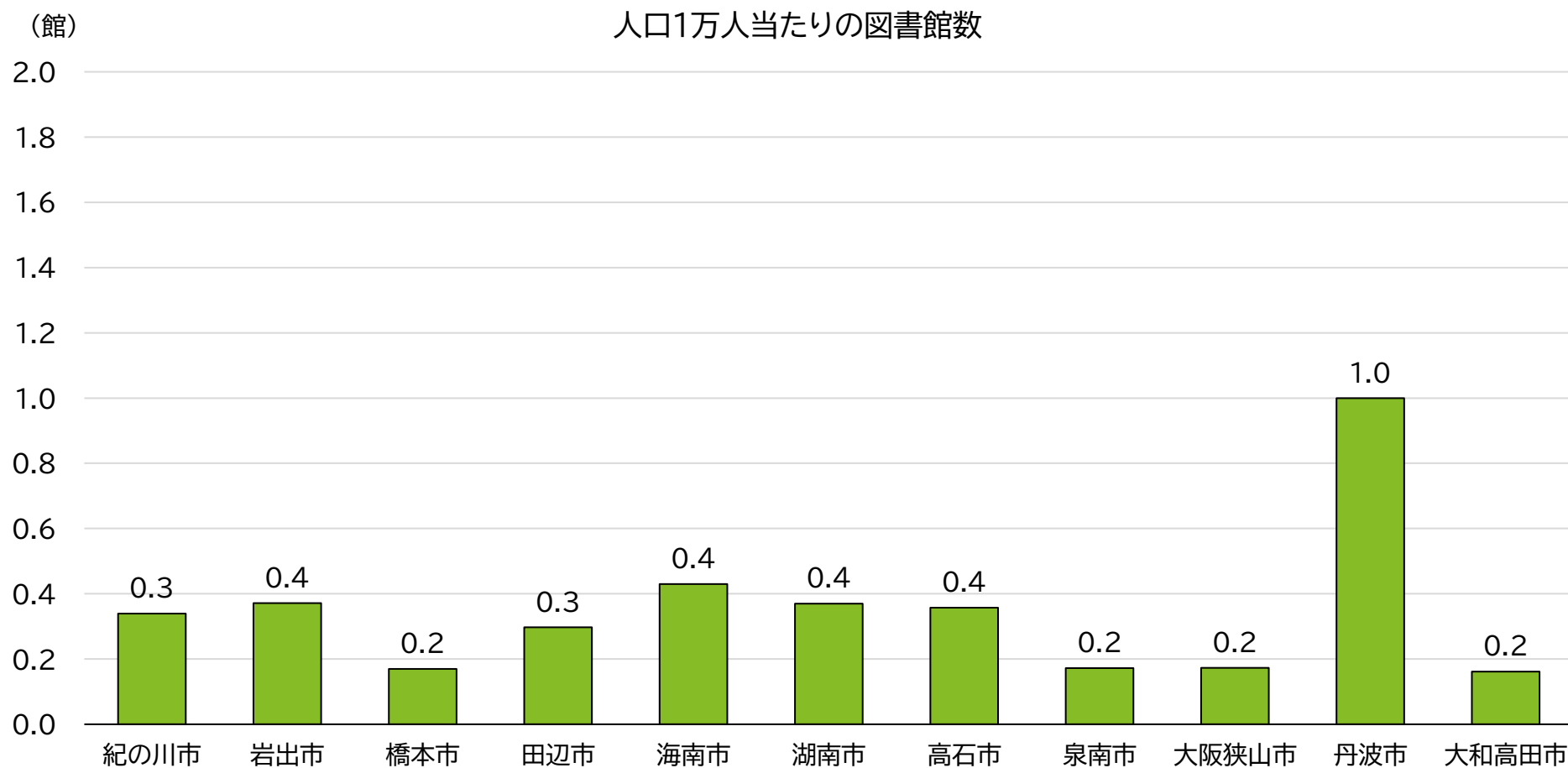


出典:学校基本調査(2024年)

(3)子育て・教育

人口1万人当たりの図書館数の比較

✓ 紀の川市の人口1万人あたりの図書館数は、丹波市を除く比較対象団体と概ね同水準である。



出典:社会教育調査(2021年)

Ⅲ.基礎調査の結果

(1)人口

(2)産業・経済

(3)子育て・教育

(4)医療・福祉

(5)生活環境

(6)行政

(4)医療・福祉

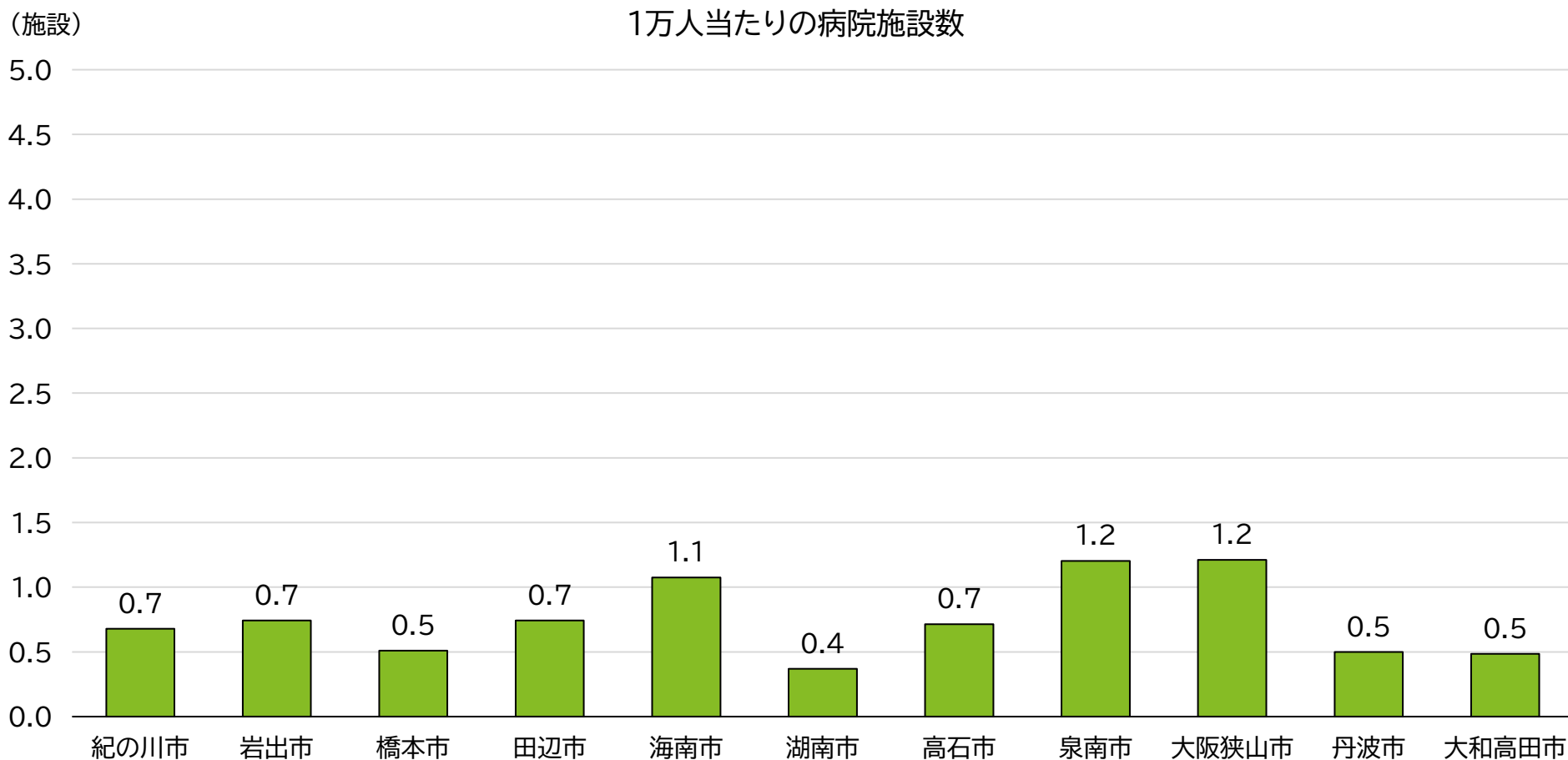
比較した項目一覧

ページ	項目	算式等
53	人口1万人当たりの病院施設数	$(\text{病院施設数}) \div (\text{総人口}) \times 10000$
54	人口1万人当たりの医師数	$(\text{医師数}) \div (\text{総人口}) \times 10000$
55	総人口に占める要支援・要介護認定者数の割合	$(\text{要支援・要介護認定者数}) \div (\text{総人口})$
56	老年人口1万人当たりの老人福祉施設数	$(\text{老人福祉施設数}) \div (\text{老年人口}) \times 10000$

(4)医療・福祉

人口1万人当たりの病院施設数の比較

✓ 紀の川市の人口1万人当たりの病院施設数は、比較対象団体と概ね同水準である。

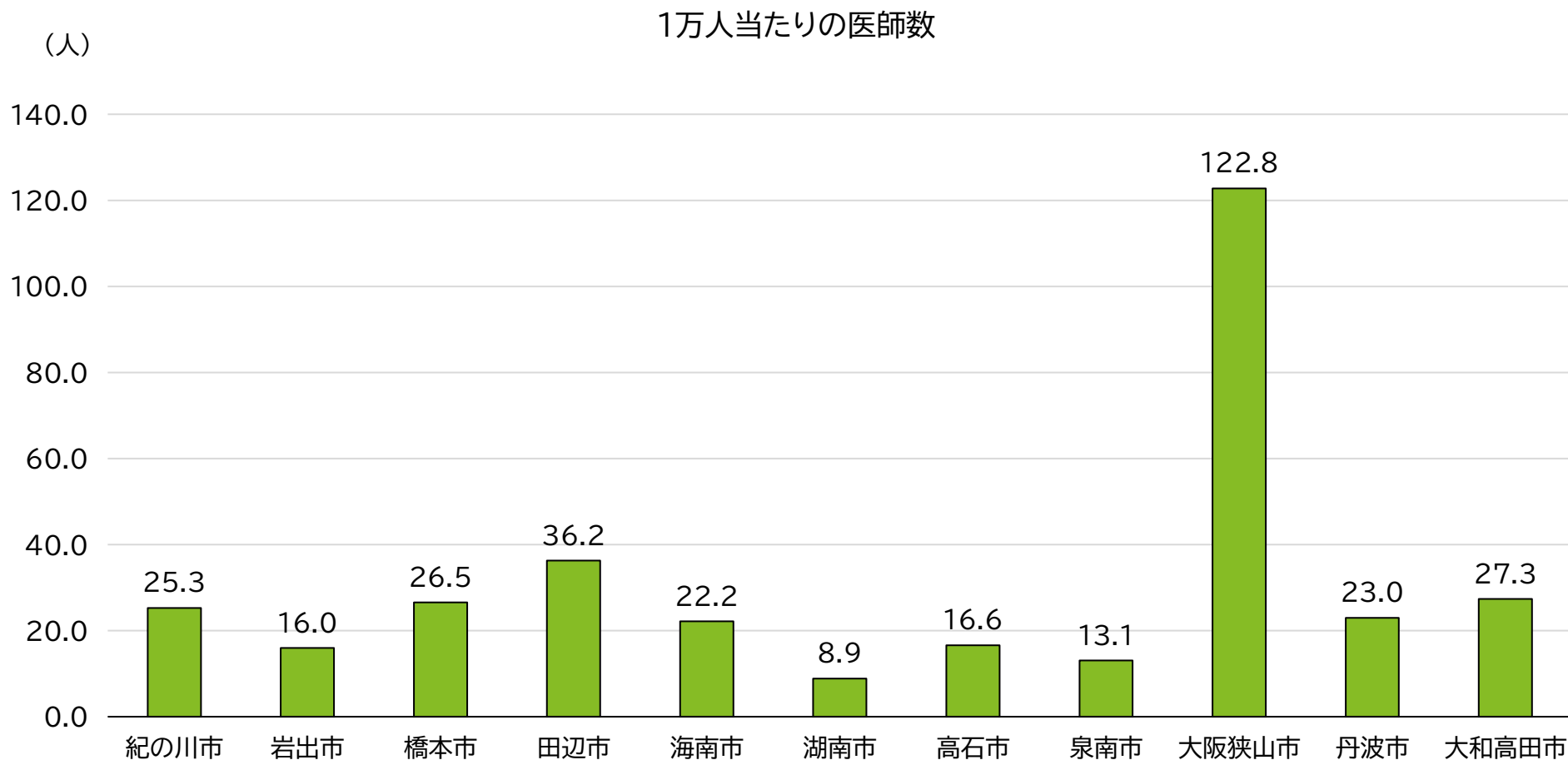


出典：医療施設調査(2023年)

(4)医療・福祉

人口1万人当たりの医師数の比較

✓ 紀の川市の人口1万人当たりの医師数は、大阪狭山市を除く比較対象団体と概ね同水準である。



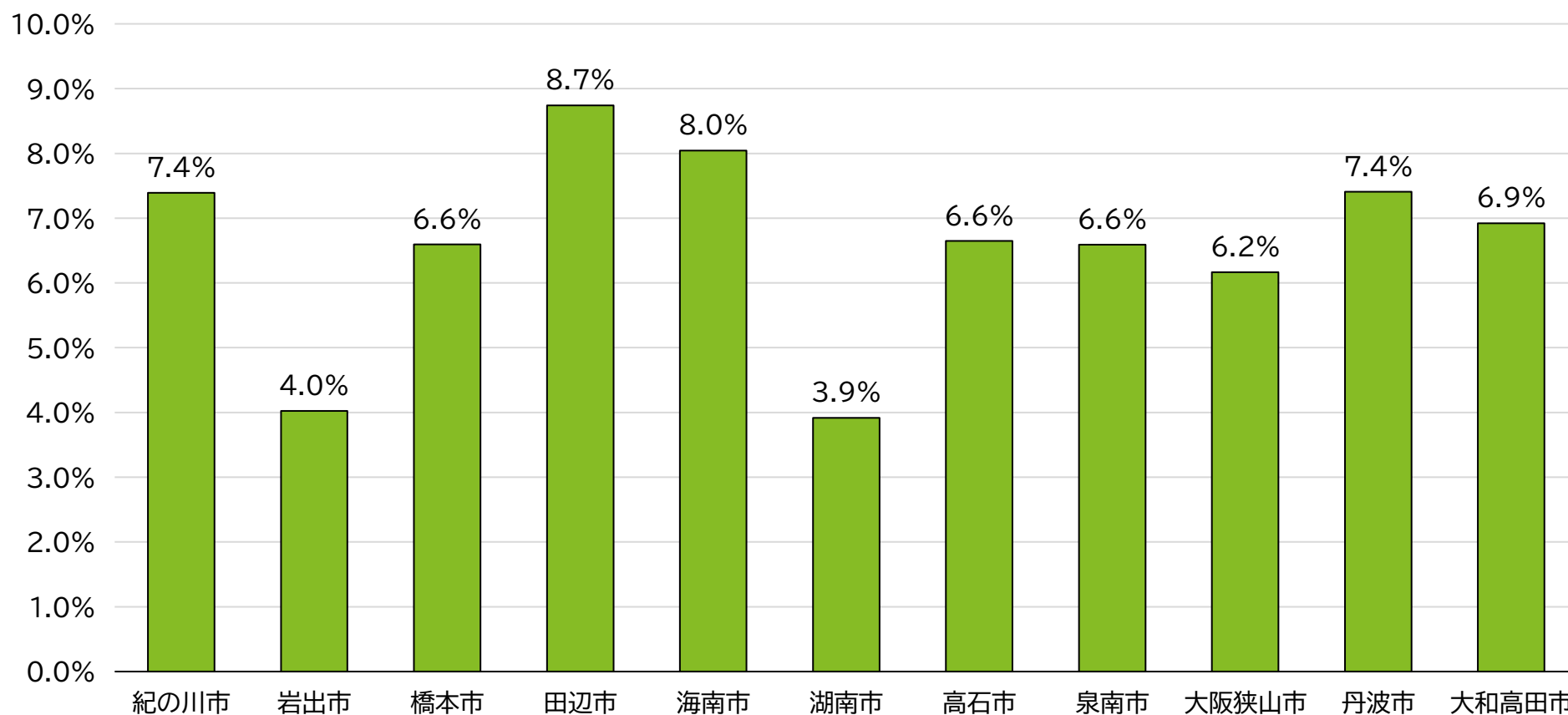
出典：医師・歯科医師・薬剤師統計(2022年)

(4)医療・福祉

総人口に占める要支援・要介護認定者数の割合の比較

✓ 総人口に占める要支援・要介護認定者数の割合は、田辺市、海南市、丹波市に次いで高い。

総人口に占める要支援・要介護認定者数の割合

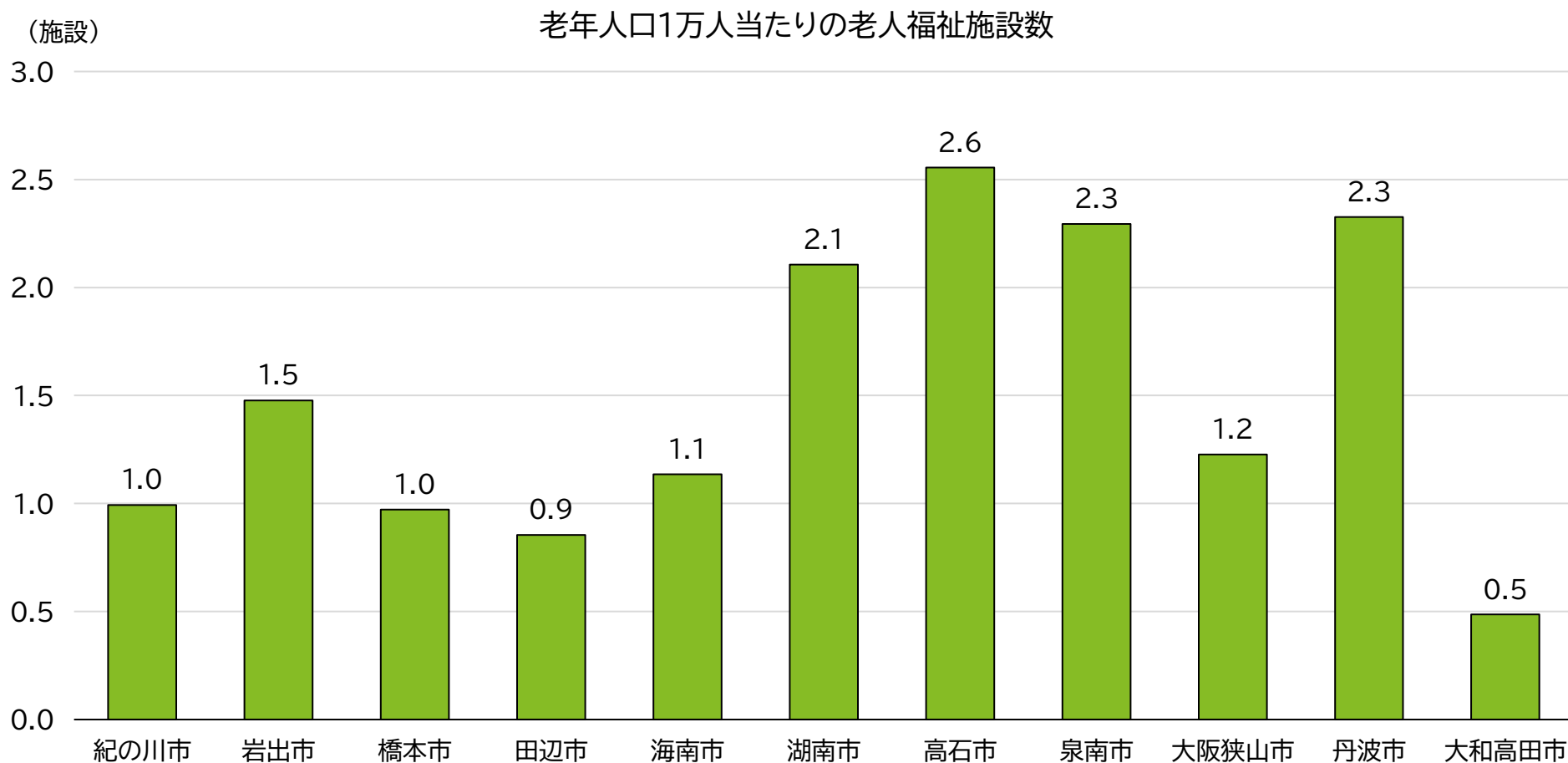


出典：介護保険事業状況報告（2023年）

(4)医療・福祉

老年人口1万人当たりの老人福祉施設数の比較

✓ 紀の川市の老年人口1万人当たりの老人福祉施設数は、大和高田市、田辺市、橋本市に次いで少ない。



出典:社会福祉施設等調査(2022年)

Ⅲ.基礎調査の結果

(1)人口

(2)産業・経済

(3)子育て・教育

(4)医療・福祉

(5)生活環境

(6)行政

(5)生活環境

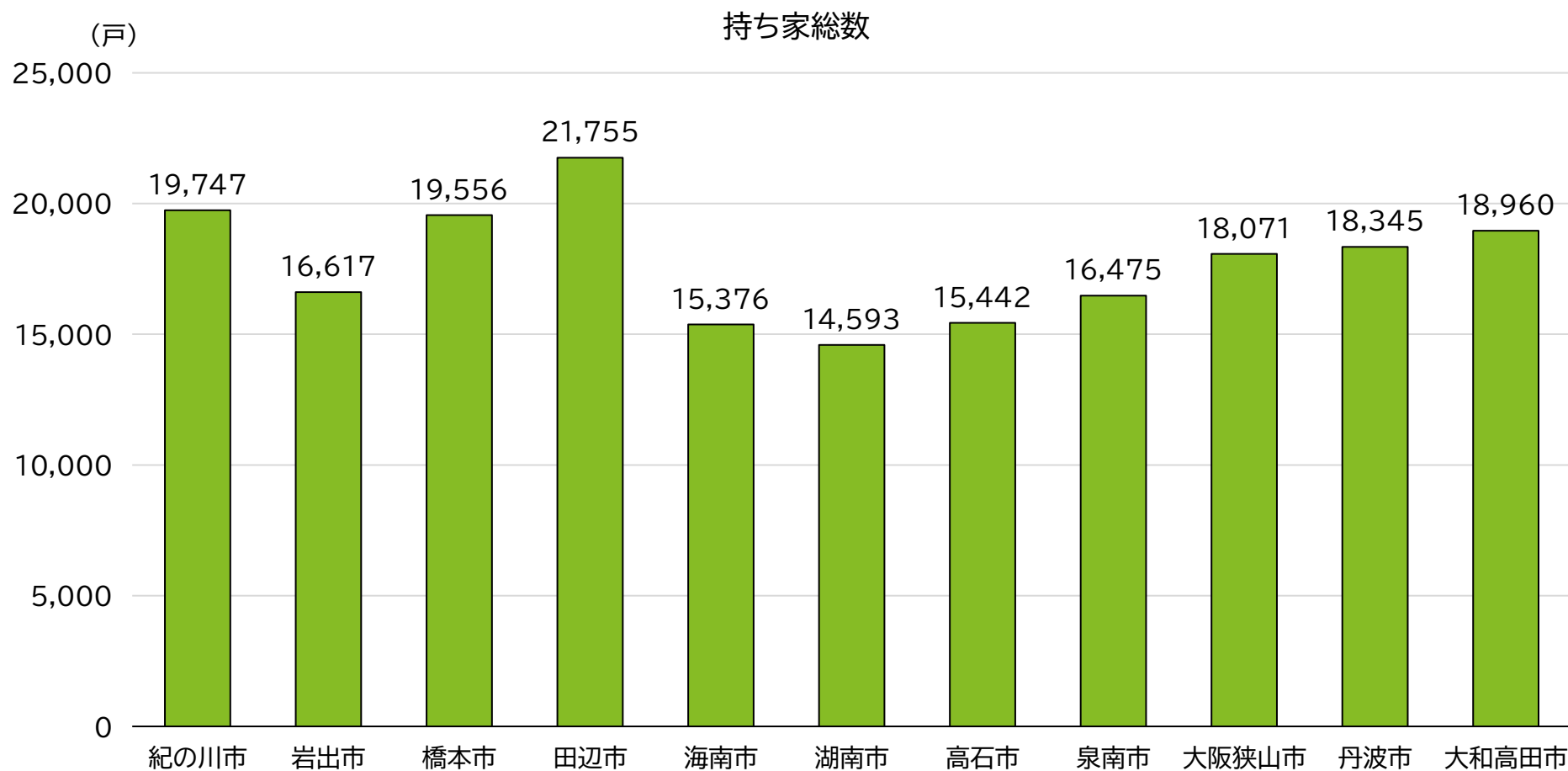
比較項目一覧

ページ	項目	算式等
59	持ち家総数	持ち家総数
60	借家数	借家数
61	総住宅数	総住宅数
62	総住宅数に占める最寄りの駅まで2,000m以上かつバス停まで1,000m以上の住宅数の割合	(総住宅数に占める最寄りの駅まで2,000m以上かつバス停まで1,000m以上の住宅数) ÷ 総住宅数
63	総住宅数に占める最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数の割合	(総住宅数に占める最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数の割合) ÷ 総住宅数
64	総住宅数に占める最寄りの緊急避難所まで2,000m以上の住宅数の割合	(総住宅数に占める最寄りの緊急避難所まで2,000m以上の住宅数の割合) ÷ 総住宅数
65	可住地面積	可住地面積

(5)生活環境

持ち家総数の比較

✓ 紀の川市の持ち家総数は、田辺市に次いで多い。

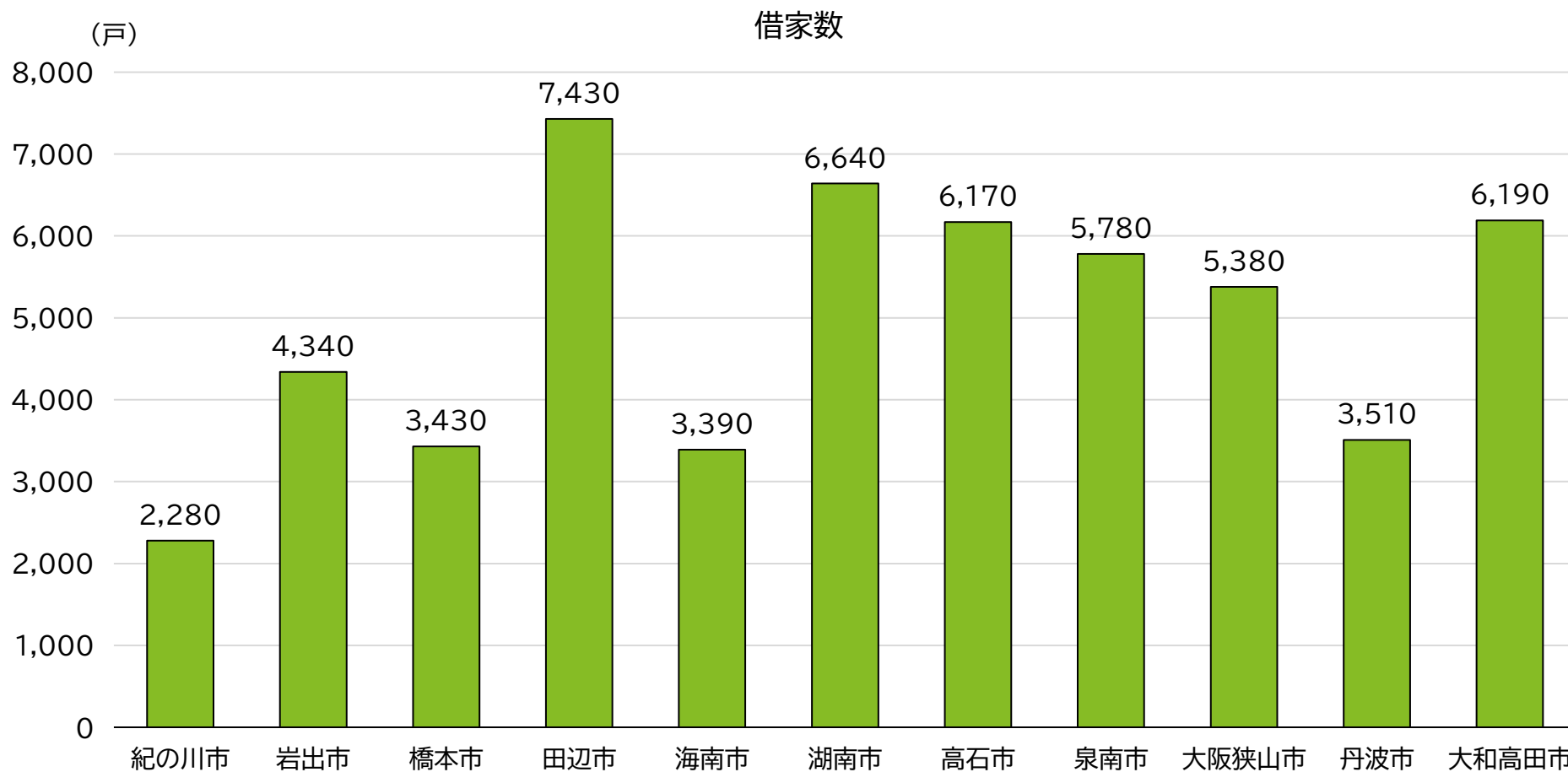


出典:国勢調査(2020年)

(5)生活環境

借家数の比較

✓ 紀の川市の借家数は、比較対象団体より大幅に低い。

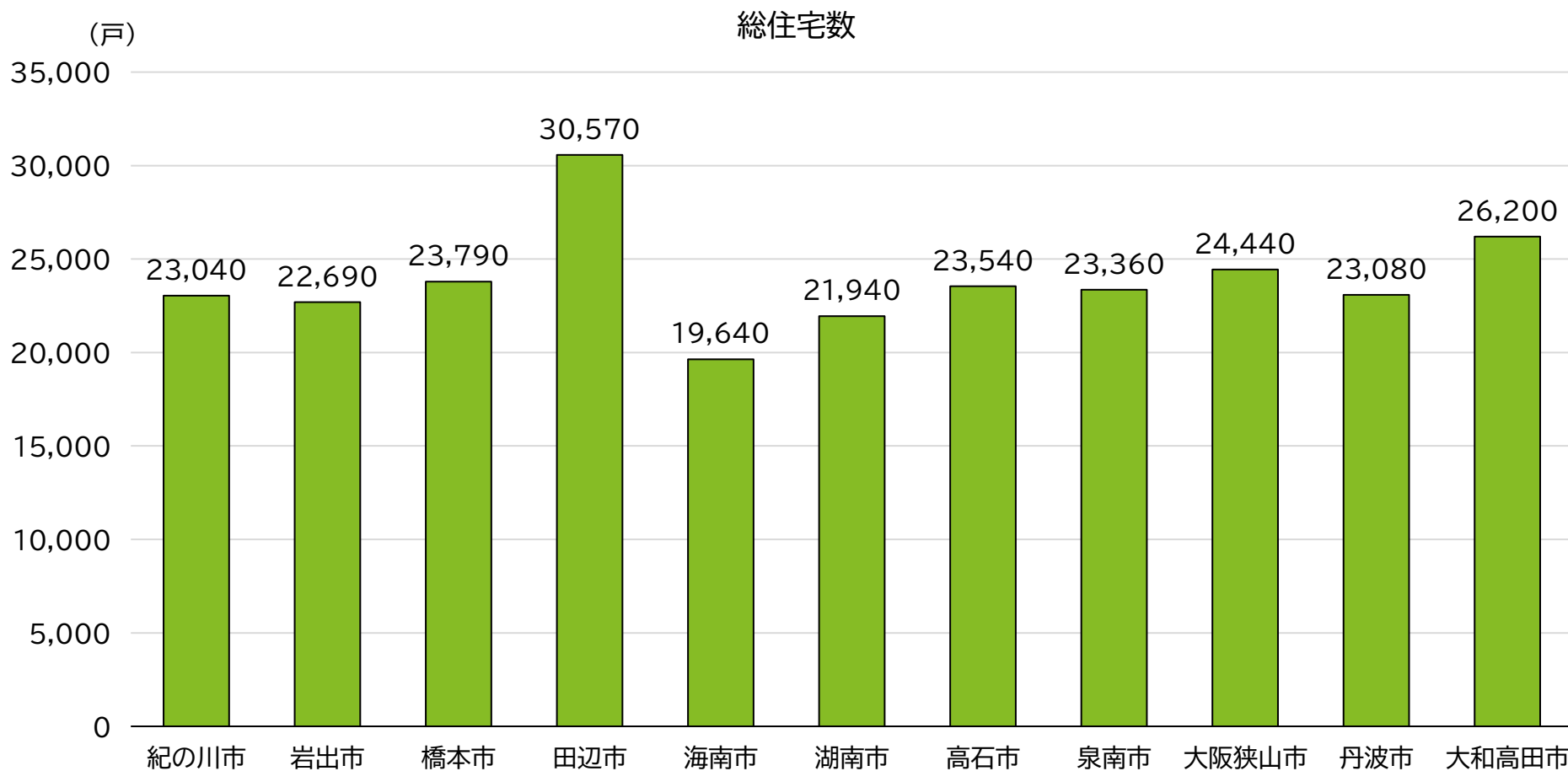


出典:住宅・土地統計調査(2023年)

(5)生活環境

総住宅数の比較

✓ 紀の川市の総住宅数は、田辺市と海南市を除く比較対象団体と概ね同水準である。

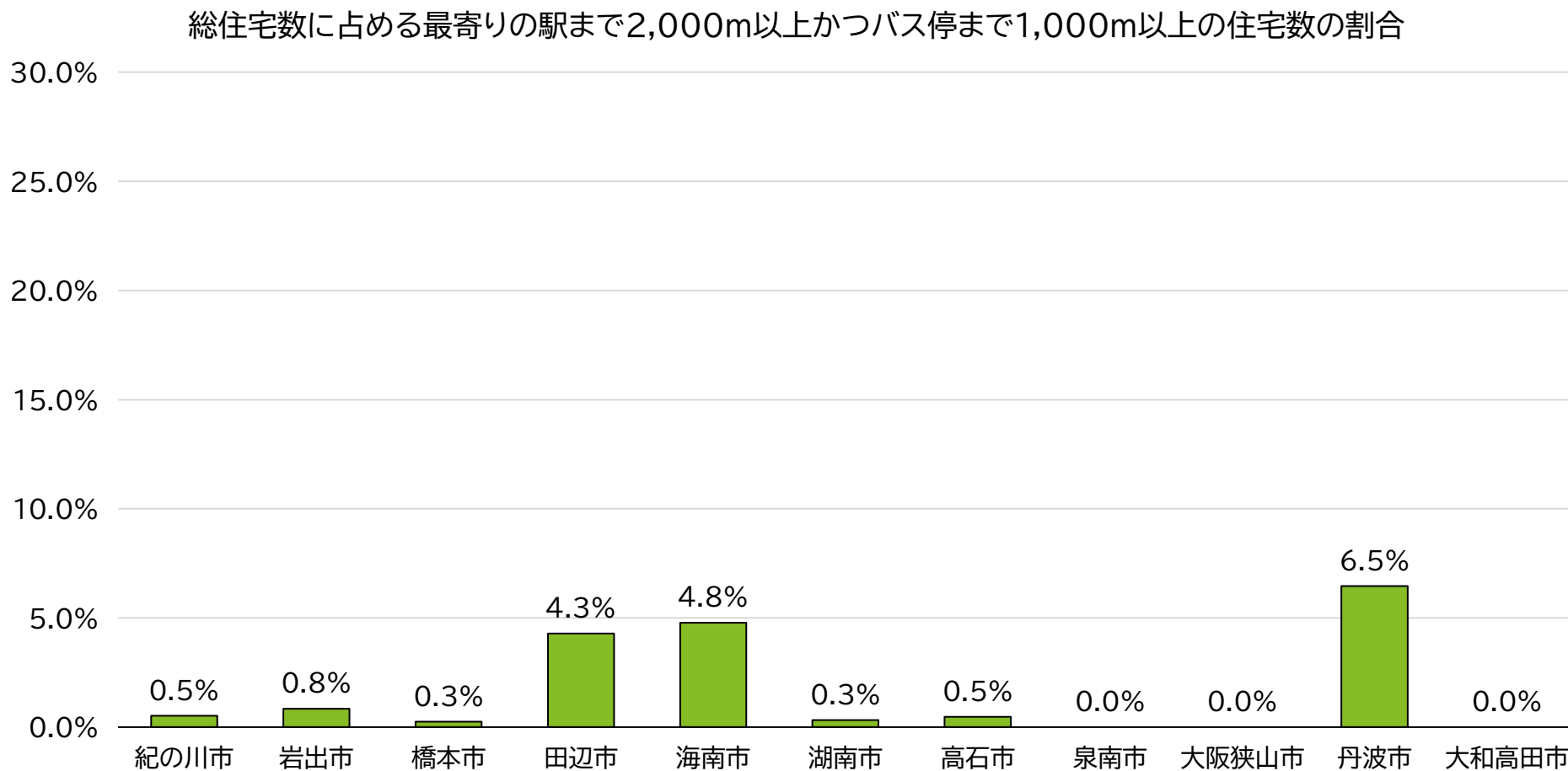


出典:住宅・土地統計調査(2023年)

(5)生活環境

総住宅数に占める最寄りの駅まで2,000m以上かつバス停まで1,000m以上の住宅数の割合の比較

✓ 紀の川市の総住宅数に占める最寄りの駅まで2,000m以上かつバス停まで1,000m以上の住宅数の割合は、丹波市、田辺市、海南市と比べると低い。



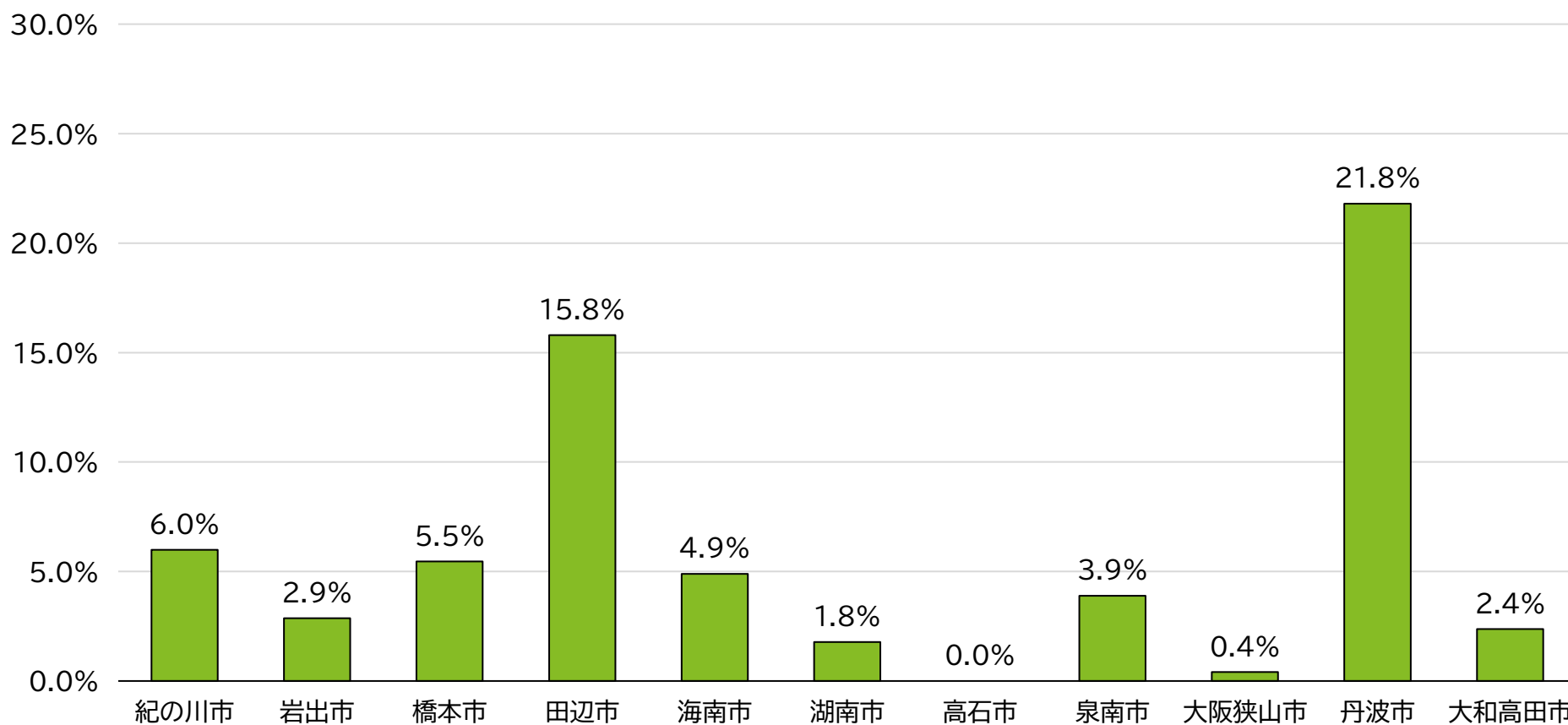
出典:住宅・土地統計調査(2023年)

(5)生活環境

総住宅数に占める最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数の割合の比較

✓ 紀の川市の総住宅数に占める最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数の割合は、丹波市、田辺市に次いで高い。

総住宅数に占める最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数の割合



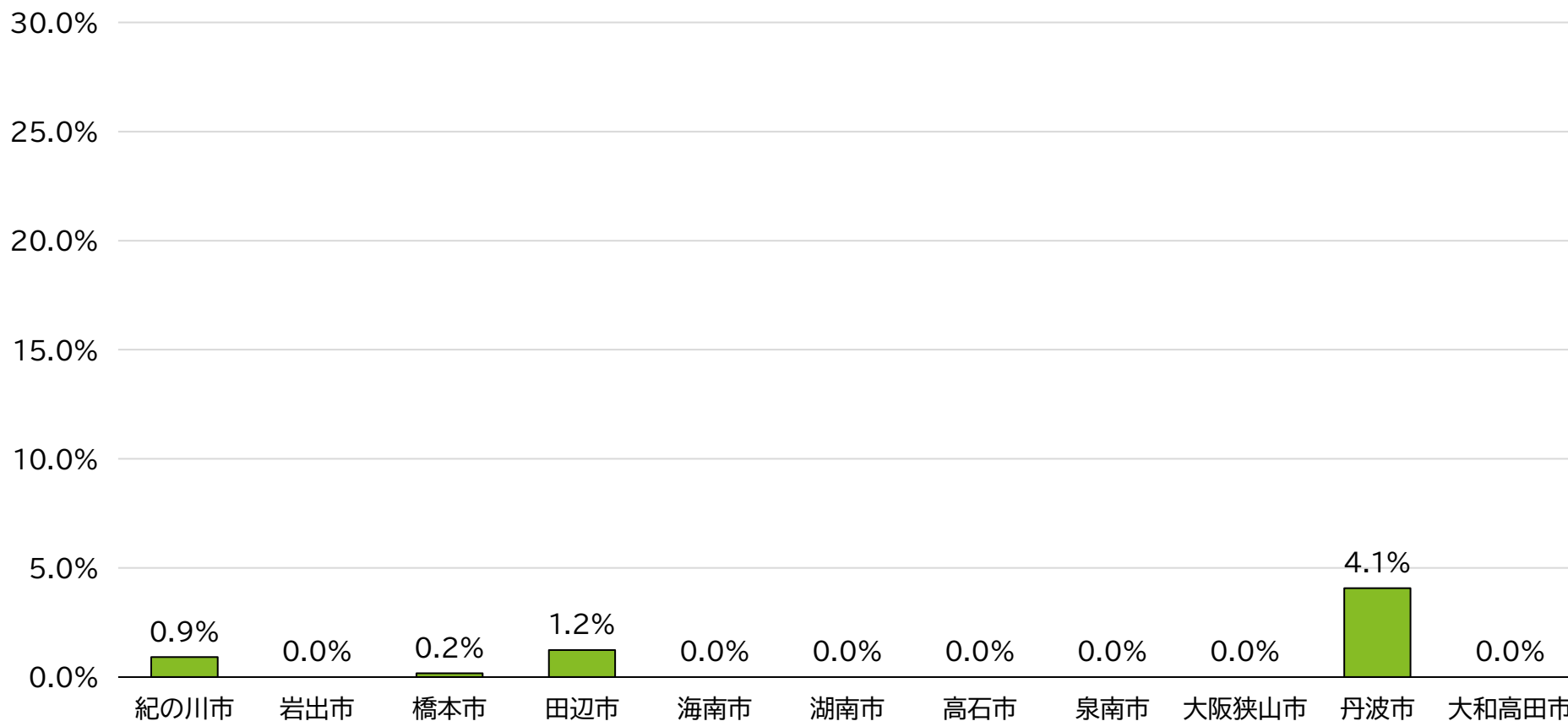
出典:住宅・土地統計調査(2023年)

(5)生活環境

総住宅数に占める最寄りの緊急避難所まで2,000m以上の住宅数の割合の比較

✓ 紀の川市の総住宅数に占める最寄りの緊急避難所まで2,000m以上の住宅数の割合は、丹波市、田辺市と比べると低い。

総住宅数に占める最寄りの緊急避難所まで2,000m以上の住宅数の割合

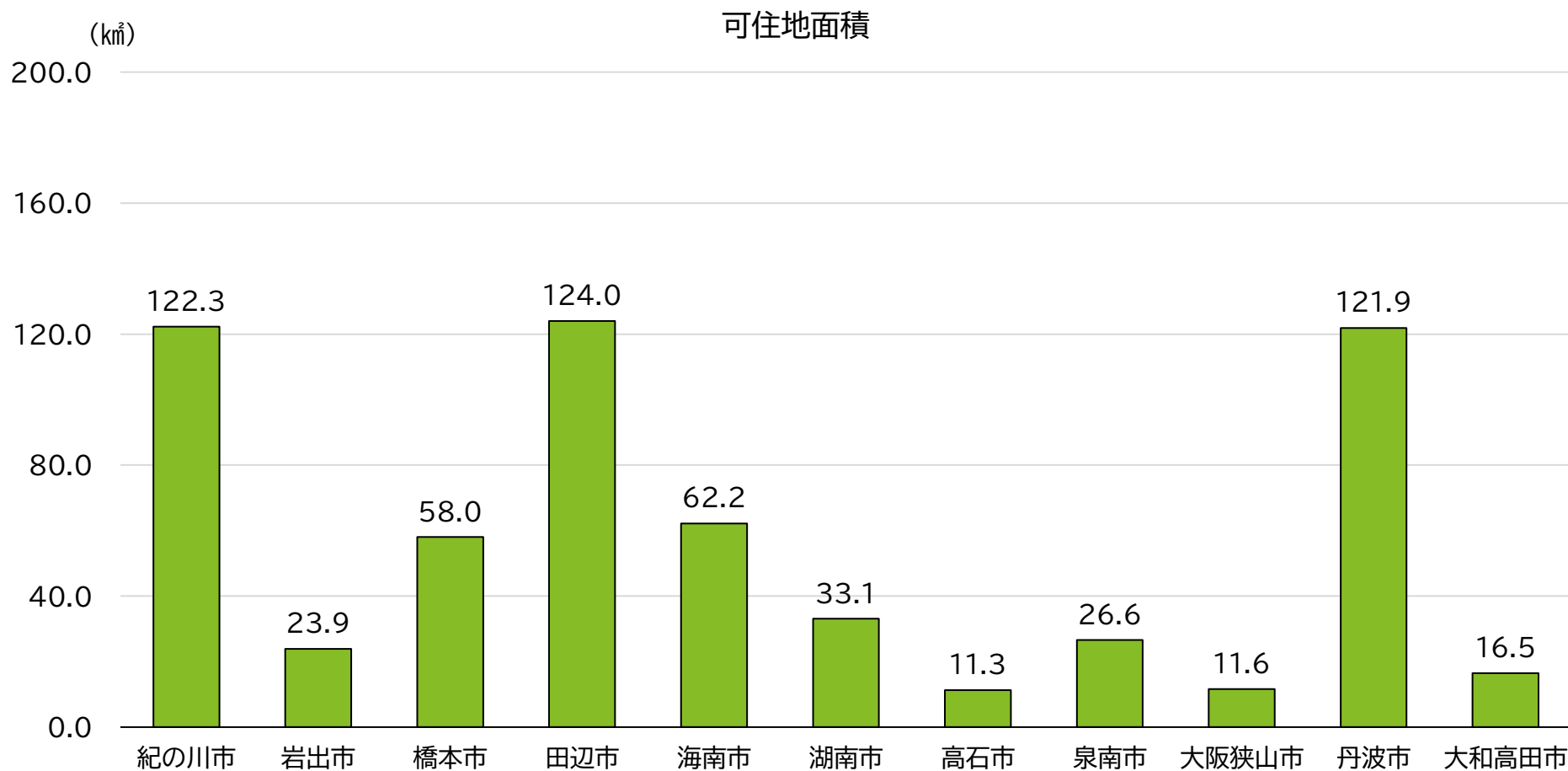


出典:住宅・土地統計調査(2023年)

(5)生活環境

可住地面積※の比較

✓ 紀の川市の可住地面積は、田辺市に次いで広い。



※可住地面積: 総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出した面積

出典: 社会・人口統計体系(2023年)

Ⅲ.基礎調査の結果

(1)人口

(2)産業・経済

(3)子育て・教育

(4)医療・福祉

(5)生活環境

(6)行政

(6)行政

比較項目一覧

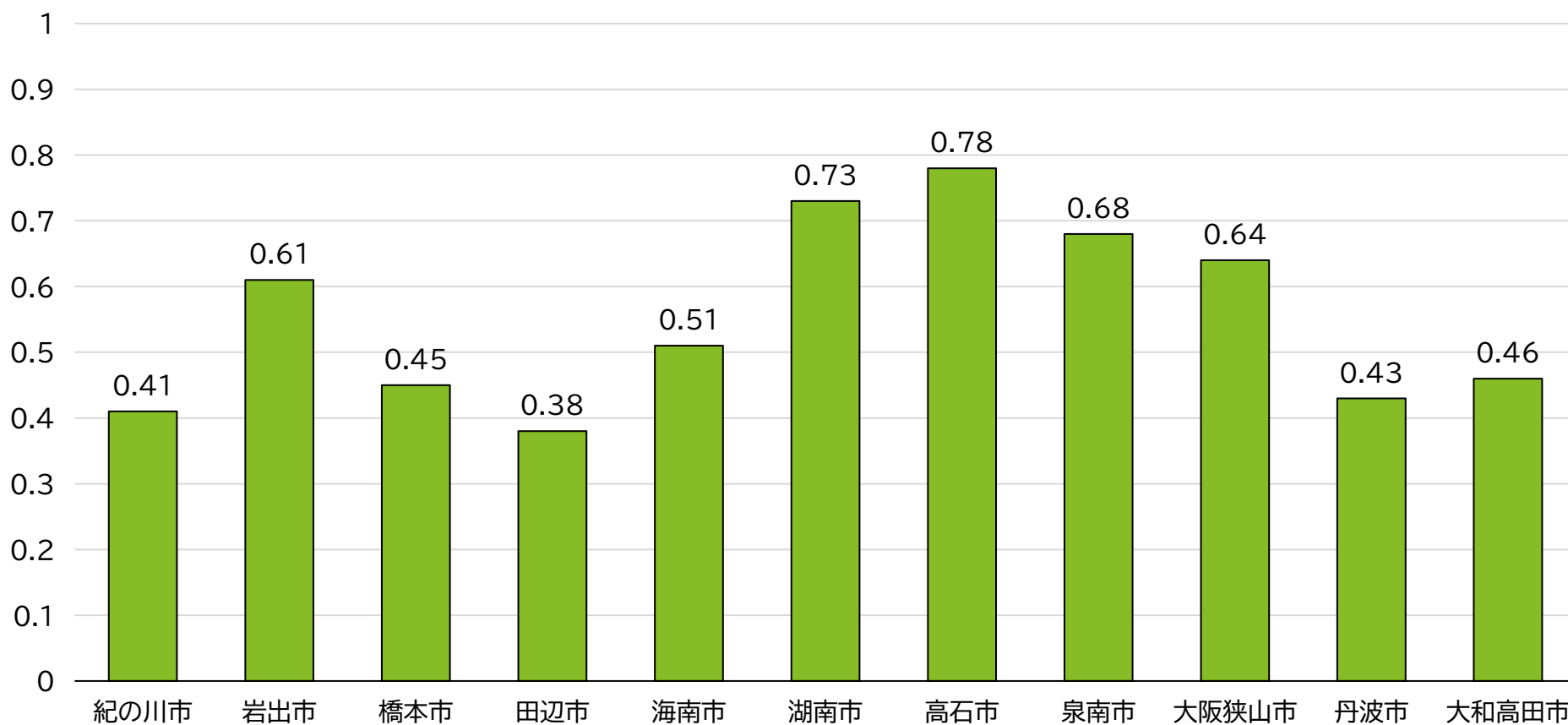
ページ	項目	算式等
68	財政力指数	行政活動の支出額のうち、税収等の自主財源で賄えている割合 値が大きいほど財政力が強く、0.5以上が目安となる 過去3年間の(基準財政収入額 ÷ 基準財政需要額)の平均値
69	経常収支比率	地方税などの経常的な収入から人件費などの経常的な経費に充てる割合 値が小さいほど財政の弾力性が高く、100%を超えると経費を賄えない状況になる (人件費、扶助費、公債費等に充当した一般財源等) ÷ (経常一般財源等(地方税 + 普通交付税等))
70	実質公債費比率	行政運営に使用できる財源のうち、借金返済に充てられる割合 25%を超えると早期健全化団体、35%を超えると財政再生団体となる ((元利償還金 + 準元利償還金) - (特定財源 + 普通交付税算入分)) ÷ (標準財政規模 - 普通交付税算入分)
71	国民年金被保険者総数	国民年金被保険者総数
72	被生活保護世帯数(実世帯・年度平均)	被生活保護世帯数(実世帯・年度平均)
72	被生活保護人員数(実数・年度平均)	被生活保護人員数(実数・年度平均)

(6)行政

財政力指数の比較

✓ 紀の川市の財政力指数は、田辺市に次いで低い。
※財政力指数が低いほど、自主財源が少なく、財政運営が厳しい状態を表す。

財政力指数



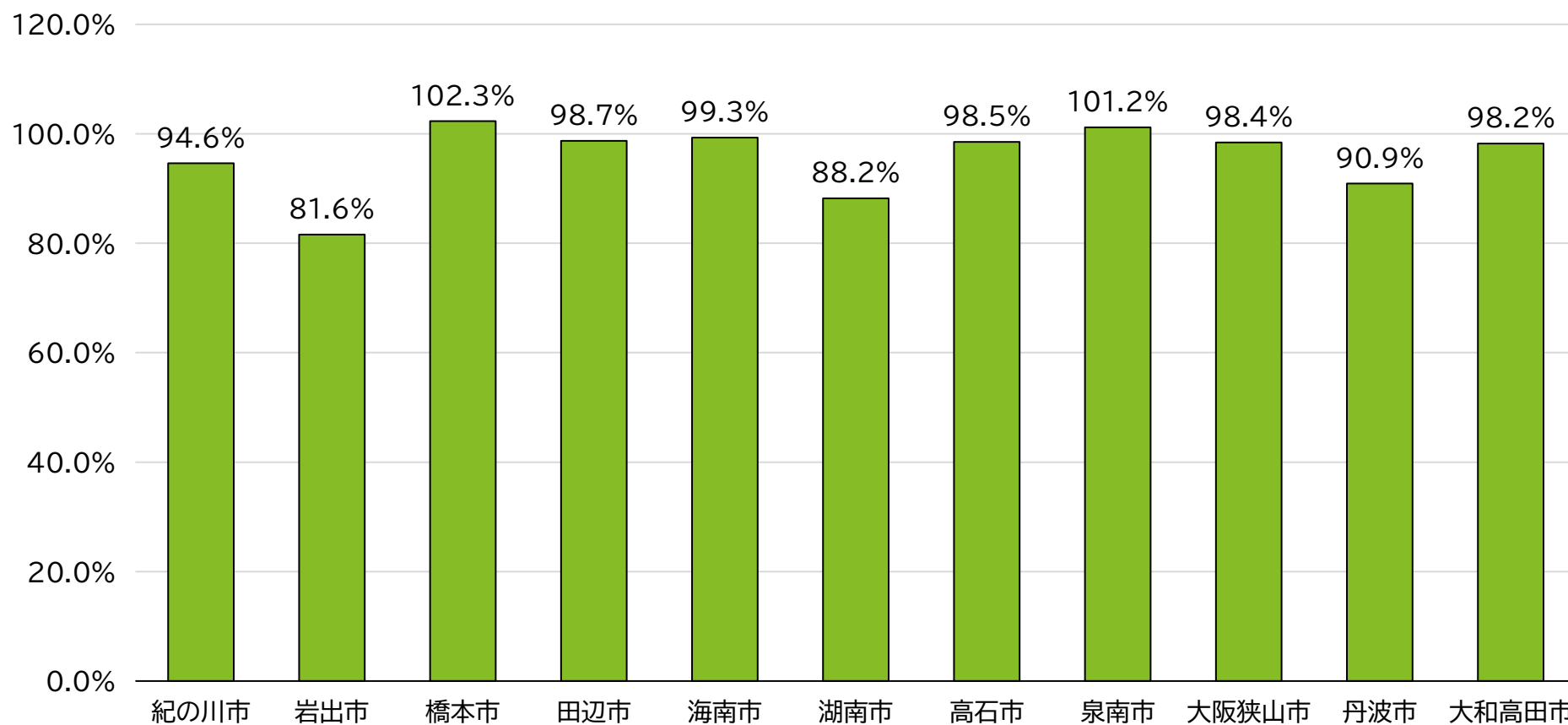
出典：令和5年度財政状況資料集(2023年)

(6)行政

経常収支比率の比較

✓ 紀の川市の経常収支比率は、岩出市、湖南省、丹波市に次いで低い。
※経常収支比率が低いほど、経常的経費が少なく、財政の弾力性が高い状態を表す。

経常収支比率



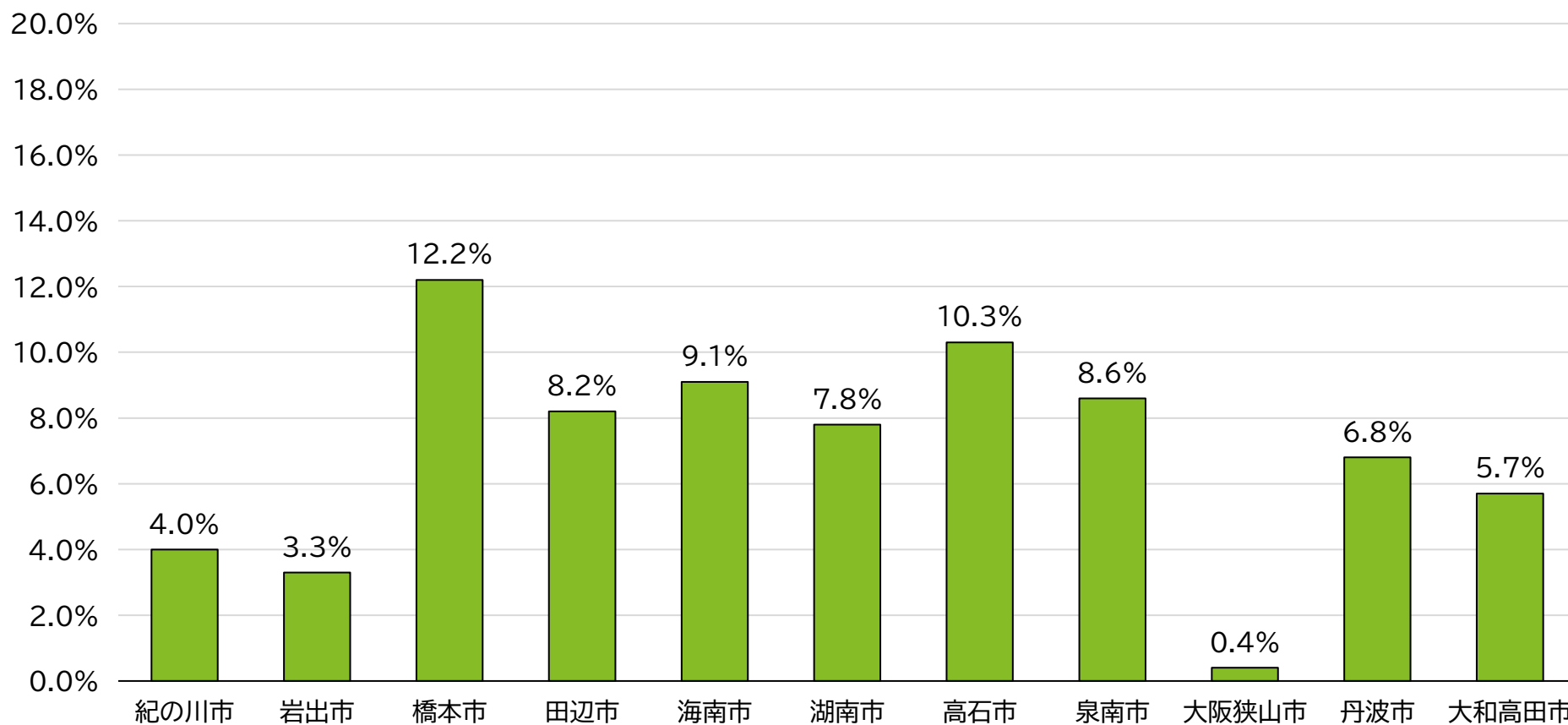
出典：令和5年度財政状況資料集(2023年)

(6)行政

実質公債費比率の比較

✓ 紀の川市の実質公債費比率は、大阪狭山市、岩出市に次いで低い。
※実質公債費比率が低いほど、借金返済の負担が小さい状態を表す。

実質公債費比率

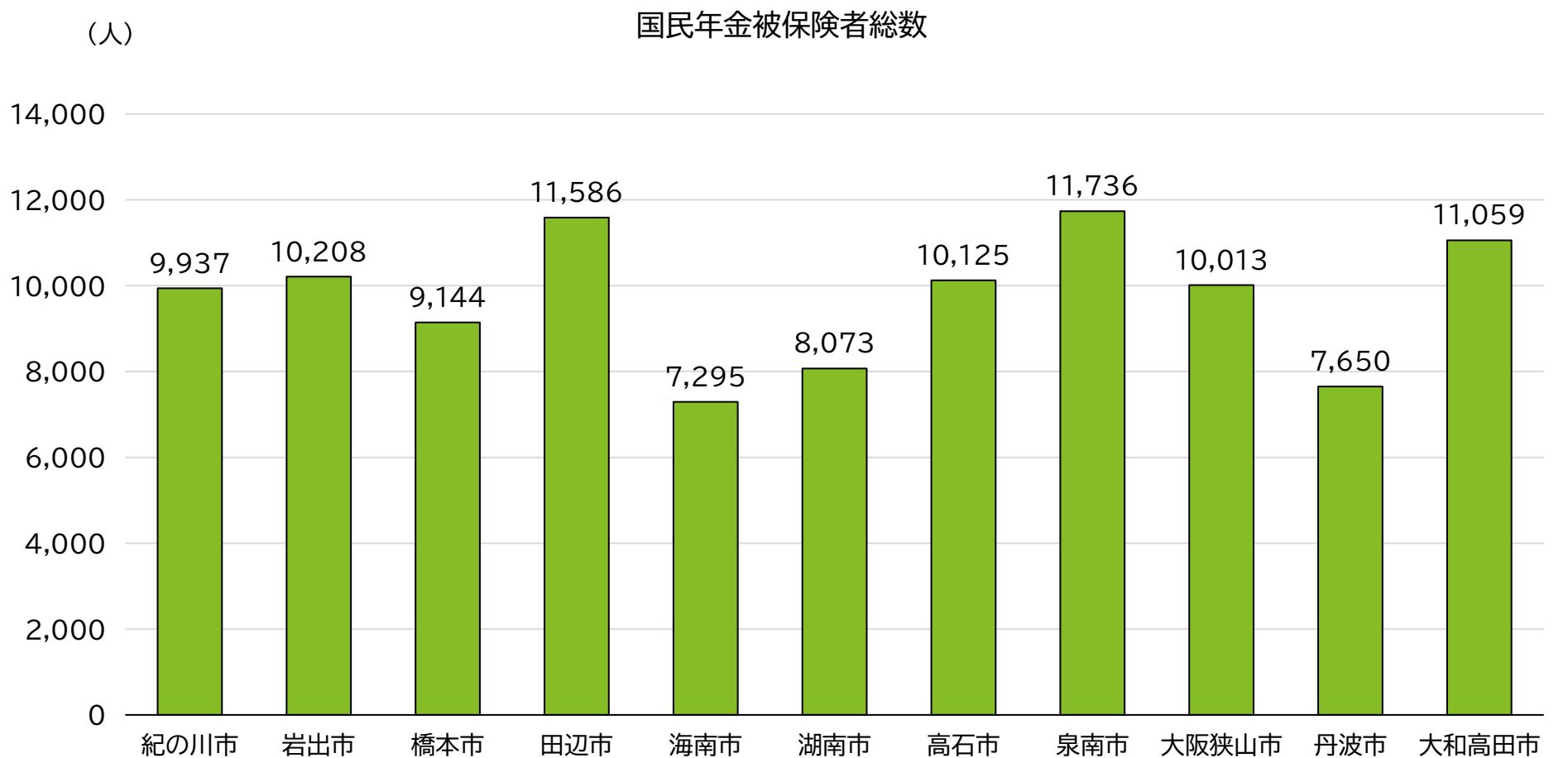


出典：令和5年度財政状況資料集(2023年)

(6)行政

国民年金被保険者総数の比較

✓ 紀の川市の国民年金被保険者総数は、比較対象団体の平均水準である。

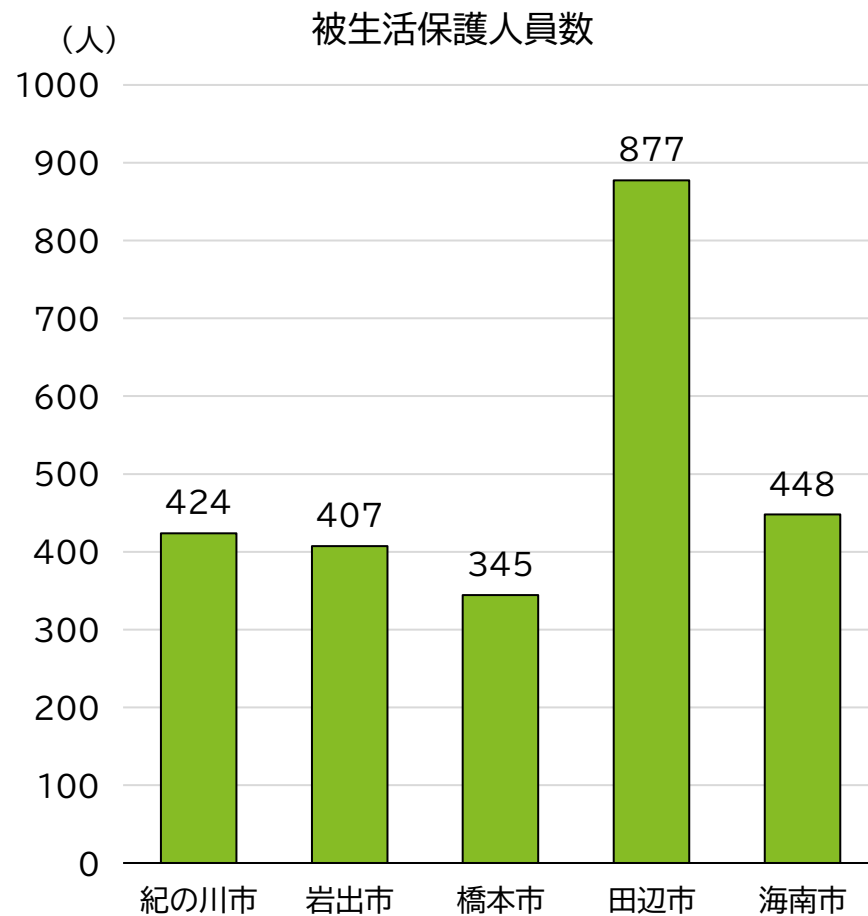
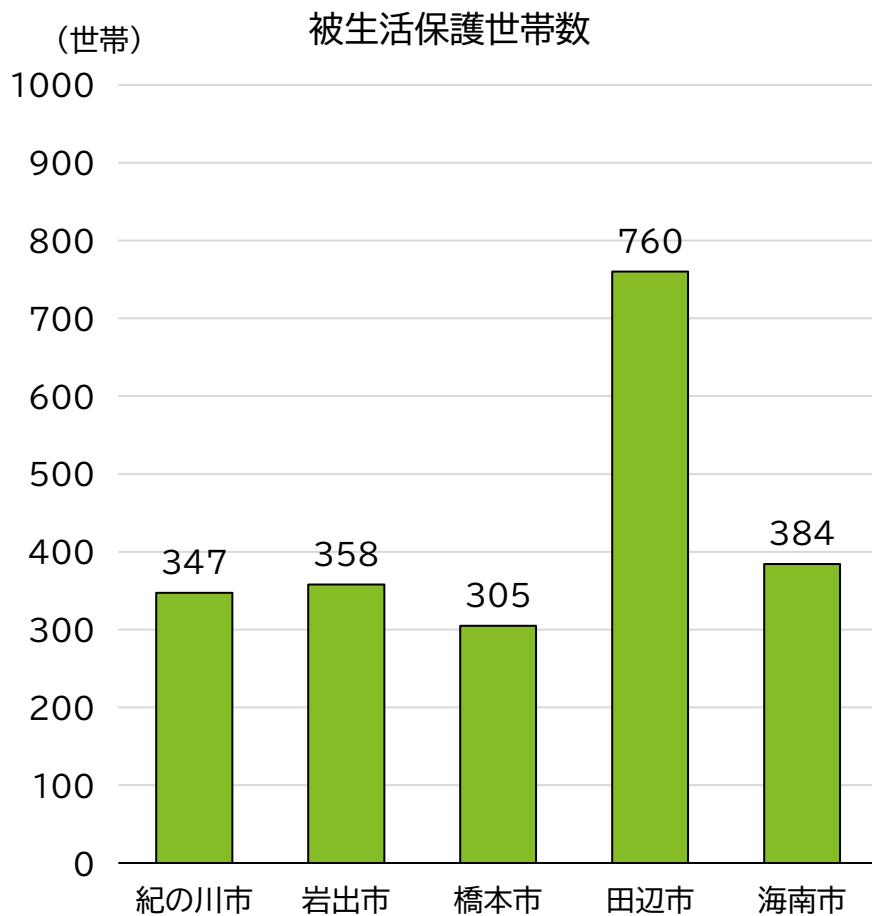


出典:厚生労働省事業統計(2025年)

(6)行政

被生活保護世帯数と人員数の比較

- ✓ 紀の川市の被生活保護世帯数は、橋本市に次いで少ない。
- ✓ 紀の川市の被生活保護人員数は、田辺市、海南市に次いで多い。



※和歌山県以外の比較対象団体はデータ不可のため掲載なし

出典:和歌山県統計年鑑(2023年)

IV. 參考資料

(1)人口

No	基礎データ	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市	出典
1	昼間人口	人	54,709	44,279	52,762	71,064	46,606	国勢調査(2020年)
2	一般世帯数	世帯	23,316	21,965	23,975	31,114	20,039	国勢調査(2020年)
3	核家族世帯数	世帯	14,639	14,268	15,607	17,686	12,122	国勢調査(2020年)
4	単独世帯数	世帯	5,987	6,220	6,075	11,024	5,852	国勢調査(2020年)
5	高齢単身世帯数	世帯	3,287	2,140	3,384	5,400	3,359	国勢調査(2020年)
6	人口総数(外国人を含む)	人	58,920	53,900	58,792	67,316	46,492	住民基本台帳(2025年)
7	世帯総数(外国人を含む)	世帯	23,351	21,999	24,028	31,215	20,088	国勢調査(2020年)
8	15歳未満人口(年少人口) (外国人を含む)	人	6,176	6,826	6,149	6,926	4,378	住民基本台帳(2025年)
9	15～64歳人口(生産年齢人口) (外国人を含む)	人	32,604	33,539	32,060	36,969	24,493	住民基本台帳(2025年)
10	65歳以上人口(老年人口) (外国人を含む)	人	20,140	13,535	20,583	23,421	17,621	住民基本台帳(2025年)
11	0-4歳人口(外国人を含む)	人	1,626	1,932	1,640	1,801	1,152	住民基本台帳(2025年)
12	出生数	人	292	406	316	391	205	国勢調査(2020年)
13	死亡数	人	918	542	894	1,139	840	国勢調査(2020年)
14	転入数	人	1,511	1,757	1,347	1,606	1,023	国勢調査(2020年)
15	転出数	人	1,365	1,707	1,615	2,040	1,137	国勢調査(2020年)
16	可住地面積	km ²	122.3	23.9	58.0	124.0	62.2	社会・人口統計体系 (2023年)

(1)人口

No	基礎データ	単位	紀の川市	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
1	昼間人口	人	54,709	53,106	51,835	56,726	52,958	59,866	54,235
2	一般世帯数	世帯	23,316	22,455	23,099	23,053	24,187	22,959	26,064
3	核家族世帯数	世帯	14,639	12,901	14,905	14,852	15,635	12,848	16,083
4	単独世帯数	世帯	5,987	7,546	7,009	6,278	7,480	6,038	7,840
5	高齢単身世帯数	世帯	3,287	1,792	3,276	3,079	3,172	2,964	3,882
6	人口総数(外国人を含む)	人	58,920	54,065	55,968	58,145	57,746	60,033	61,818
7	世帯総数(外国人を含む)	世帯	23,351	22,498	23,130	23,123	24,216	23,033	26,095
8	15歳未満人口(年少人口) (外国人を含む)	人	6,176	6,642	6,752	6,651	7,784	6,752	5,527
9	15～64歳人口(生産年齢人口) (外国人を含む)	人	32,604	33,176	33,561	34,057	33,661	31,785	35,714
10	65歳以上人口(老年人口) (外国人を含む)	人	20,140	14,247	15,655	17,437	16,301	21,496	20,577
11	0-4歳人口(外国人を含む)	人	1,626	1,736	1,959	1,831	2,242	1,771	1,607
12	出生数	人	292	289	400	374	402	344	328
13	死亡数	人	918	442	755	722	623	1,031	856
14	転入数	人	1,511	2,308	1,846	1,441	1,908	1,359	2,052
15	転出数	人	1,365	2,631	2,143	2,655	1,961	1,584	2,105
16	可住地面積	km ²	122.3	33.1	11.3	26.6	11.6	121.9	16.5

(1)人口

No	指標	計算式	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市
17	可住地面積1km ² あたり人口密度	(人口総数) / (可住地面積)	人/km ²	481.9	2260.0	1013.1	542.7	747.7
18	年少人口割合	(15歳未満人口) / (人口総数) * 100	%	10.5%	12.7%	10.5%	10.3%	9.4%
19	生産年齢人口割合	(15～64歳人口) / (人口総数) * 100	%	55.3%	62.2%	54.5%	54.9%	52.7%
20	老年人口割合 (高齢化率)	(65歳以上人口) / (人口総数) * 100	%	34.2%	25.1%	35.0%	34.8%	37.9%
21	年少人口指数	(15歳未満人口) / (15～64歳人口) * 100	%	18.9%	20.4%	19.2%	18.7%	17.9%
22	老年人口指数	(65歳以上人口) / (15～64歳人口) * 100	%	61.8%	40.4%	64.2%	63.4%	71.9%
23	従属人口指数	(15歳未満人口 + 65歳以上人口) / (15～64歳人口) * 100	%	80.7%	60.7%	83.4%	82.1%	89.8%
24	老年化指数	(65歳以上人口) / (15歳未満人口) * 100	%	326.1%	198.3%	334.7%	338.2%	402.5%

(1)人口

No	指標	単位	紀の川市	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
17	可住地面積1km ² あたり人口密度	人/km ²	481.9	1634.4	4952.9	2186.7	4965.3	492.6	3751.1
18	年少人口割合	%	10.5%	12.3%	12.1%	11.4%	13.5%	11.2%	8.9%
19	生産年齢人口割合	%	55.3%	61.4%	60.0%	58.6%	58.3%	52.9%	57.8%
20	老年人口割合 (高齢化率)	%	34.2%	26.4%	28.0%	30.0%	28.2%	35.8%	33.3%
21	年少人口指数	%	18.9%	20.0%	20.1%	19.5%	23.1%	21.2%	15.5%
22	老年人口指数	%	61.8%	42.9%	46.6%	51.2%	48.4%	67.6%	57.6%
23	従属人口指数	%	80.7%	63.0%	66.8%	70.7%	71.6%	88.9%	73.1%
24	老年化指数	%	326.1%	214.5%	231.9%	262.2%	209.4%	318.4%	372.3%

(1)人口

No	指標	計算式	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市
25	昼間人口比率	$(\text{昼間人口}) / (\text{人口総数}) * 100$	%	92.9%	82.2%	89.7%	105.6%	100.2%
26	出生数・死亡数の比較	$(\text{出生数}) - (\text{死亡数})$	人	-626	-136	-578	-748	-635
27	転入数・転出数の比較	$(\text{転入数}) - (\text{転出数})$	人	146	50	-268	-434	-114
28	一般世帯に占める核家族世帯の割合	$(\text{核家族世帯数}) / (\text{一般世帯数}) * 100$	%	62.8%	65.0%	65.1%	56.8%	60.5%
29	一般世帯に占める単独世帯の割合	$(\text{単独世帯数}) / (\text{一般世帯数}) * 100$	%	25.7%	28.3%	25.3%	35.4%	29.2%
30	一般世帯に占める高齢単身者世帯の割合	$(\text{高齢単身世帯数}) / (\text{一般世帯数}) * 100$	%	14.1%	9.7%	14.1%	17.4%	16.8%

(1)人口

No	指標	単位	紀の川市	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
25	昼間人口比率	%	92.9%	98.2%	92.6%	97.6%	91.7%	99.7%	87.7%
26	出生数・死亡数の比較	人	-626	-153	-355	-348	-221	-687	-528
27	転入数・転出数の比較	人	146	-323	-297	-1,214	-53	-225	-53
28	一般世帯に占める核家族世帯の割合	%	62.8%	57.5%	64.5%	64.4%	64.6%	56.0%	61.7%
29	一般世帯に占める単独世帯の割合	%	25.7%	33.6%	30.3%	27.2%	30.9%	26.3%	30.1%
30	一般世帯に占める高齢単身者世帯の割合	%	14.1%	8.0%	14.2%	13.4%	13.1%	12.9%	14.9%

(2)産業・経済

No	基礎データ	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市	出典
31	労働力人口	人	30,301	24,702	29,769	36,297	23,221	国勢調査(2020年)
32	就業者数	人	29,310	23,637	28,578	34,726	22,108	国勢調査(2020年)
33	完全失業者数	人	991	1,065	1,191	1,571	1,113	国勢調査(2020年)
34	労働力人口(男)	人	16,238	13,378	16,074	19,541	12,614	国勢調査(2020年)
35	労働力人口(女)	人	14,063	11,324	13,695	16,756	10,607	国勢調査(2020年)
36	労働力人口(15～64歳)	人	23,633	21,467	24,694	29,656	18,660	国勢調査(2020年)
37	労働力人口(65歳以上)	人	6,668	3,235	5,075	6,641	4,561	国勢調査(2020年)
38	15歳以上就業者数(男)	人	15,562	12,762	15,286	18,553	11,848	国勢調査(2020年)
39	15歳以上就業者数(女)	人	13,748	10,875	13,292	16,173	10,260	国勢調査(2020年)
40	就業者数(15～64歳)	人	22,775	20,530	23,666	28,296	17,722	国勢調査(2020年)
41	就業者数(65歳以上)	人	6,535	3,107	4,912	6,430	4,386	国勢調査(2020年)

(2)産業・経済

No	基礎データ	単位	紀の川市	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
31	労働力人口	人	30,301	28,094	25,056	25,575	23,766	32,196	29,519
32	就業者数	人	29,310	27,177	23,968	24,089	22,908	31,221	27,991
33	完全失業者数	人	991	917	1,088	1,486	858	975	1,528
34	労働力人口(男)	人	16,238	16,283	13,864	14,232	12,907	17,512	16,078
35	労働力人口(女)	人	14,063	11,811	11,192	11,343	10,859	14,684	13,441
36	労働力人口(15～64歳)	人	23,633	24,539	21,754	22,144	20,359	25,493	25,077
37	労働力人口(65歳以上)	人	6,668	3,555	3,302	3,431	3,407	6,703	4,442
38	15歳以上就業者数(男)	人	15,562	15,708	13,180	13,263	12,389	16,866	15,100
39	15歳以上就業者数(女)	人	13,748	11,469	10,788	10,826	10,519	14,355	12,891
40	就業者数(15～64歳)	人	22,775	23,728	20,786	20,814	19,592	24,671	23,725
41	就業者数(65歳以上)	人	6,535	3,449	3,182	3,275	3,316	6,550	4,266

(2)産業・経済

No	基礎データ	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市	出典
42	第二次産業事業所数	箇所	295	169	269	441	337	国勢調査(2020年)
43	第二次産業従業者数	人	5,375	2,338	3,706	4,481	6,021	国勢調査(2020年)
44	第三次産業事業所数	箇所	959	942	2,040	1,096	1,117	国勢調査(2020年)
45	第三次産業従業者数	人	11,513	11,237	18,652	10,541	12,252	国勢調査(2020年)
46	農業産出額	千万円	1,962	82	419	1,089	839	経済センサス基礎調査(2024年)
47	第一次産業就業者数	人	4,886	733	1,651	3,929	1,936	国勢調査(2020年)
48	第二次産業就業者数	人	6,255	5,386	6,267	6,206	5,651	国勢調査(2020年)
49	第三次産業就業者数	人	16,985	16,670	19,741	22,928	14,200	国勢調査(2020年)
50	第一次産業生産額割合	%	5.6%	0.6%	1.9%	4.4%	2.5%	生産分析 / 産業構成グラフ - RESAS 2018年
51	第二次産業生産額割合	%	48.9%	26.3%	35.4%	25.7%	61.9%	生産分析 / 産業構成グラフ - RESAS 2018年
52	第三次産業生産額割合	%	45.6%	73.1%	62.7%	69.9%	35.5%	生産分析 / 産業構成グラフ - RESAS 2018年

(2)産業・経済

No	基礎データ	単位	紀の川市	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
42	第二次産業事業所数	箇所	295	357	237	276	199	521	313
43	第二次産業従業者数	人	5,375	11,912	4,598	4,929	2,492	9,329	4,181
44	第三次産業事業所数	箇所	959	969	1,061	1,050	1,030	1,376	1,171
45	第三次産業従業者数	人	11,513	12,682	13,287	15,734	15,797	13,004	12,424
46	農業産出額	千万円	1,962	88	3	186	26	1,280	80
47	第一次産業就業者数	人	4,886	364	92	634	205	2,306	267
48	第二次産業就業者数	人	6,255	11,312	5,532	5,820	4,393	10,487	7,457
49	第三次産業就業者数	人	16,985	14,478	17,349	16,936	17,464	17,713	19,238
50	第一次産業生産額割合	%	5.6%	0.5%	0.0%	0.8%	0.0%	1.7%	0.3%
51	第二次産業生産額割合	%	48.9%	72.3%	67.7%	44.3%	35.3%	54.8%	22.2%
52	第三次産業生産額割合	%	45.6%	27.2%	32.3%	54.9%	64.7%	43.5%	77.5%

(2)産業・経済

No	指標	計算式	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市
53	男性労働力人口割合	$(\text{労働力人口(男)}) / (\text{労働力人口}) * 100$	%	53.6%	44.2%	53.0%	64.5%	41.6%
54	女性労働力人口割合	$(\text{労働力人口(女)}) / (\text{労働力人口}) * 100$	%	46.4%	37.4%	45.2%	55.3%	35.0%
55	15～64歳労働力人口割合	$(\text{労働力人口(男)}) / (\text{労働力人口}) * 100$	%	78.0%	70.8%	81.5%	97.9%	61.6%
56	65歳以上労働力人口割合	$(\text{労働力人口(男)}) / (\text{労働力人口}) * 100$	%	22.0%	10.7%	16.7%	21.9%	15.1%
57	男性就業者割合	$(\text{15歳以上就業者数(男)}) / (\text{労働力人口}) * 100$	%	53.1%	54.0%	53.5%	53.4%	53.6%
58	女性就業者割合	$(\text{15歳以上就業者数(女)}) / (\text{労働力人口}) * 100$	%	46.9%	46.0%	46.5%	46.6%	46.4%
59	15～64歳就業者割合	$(\text{就業者数(15～64歳)}) / (\text{労働力人口}) * 100$	%	77.7%	86.9%	82.8%	81.5%	80.2%
60	65歳以上就業者割合	$(\text{就業者数(65歳以上)}) / (\text{労働力人口}) * 100$	%	22.3%	13.1%	17.2%	18.5%	19.8%

(2)産業・経済

No	指標	単位	紀の川市	湖南省	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
53	男性労働力人口割合	%	53.6%	53.7%	45.8%	47.0%	42.6%	57.8%	53.1%
54	女性労働力人口割合	%	46.4%	39.0%	36.9%	37.4%	35.8%	48.5%	44.4%
55	15～64歳労働力人口割合	%	78.0%	81.0%	71.8%	73.1%	67.2%	84.1%	82.8%
56	65歳以上労働力人口割合	%	22.0%	11.7%	10.9%	11.3%	11.2%	22.1%	14.7%
57	男性就業者割合	%	53.1%	57.8%	55.0%	55.1%	54.1%	54.0%	53.9%
58	女性就業者割合	%	46.9%	42.2%	45.0%	44.9%	45.9%	46.0%	46.1%
59	15～64歳就業者割合	%	77.7%	87.3%	86.7%	86.4%	85.5%	79.0%	84.8%
60	65歳以上就業者割合	%	22.3%	12.7%	13.3%	13.6%	14.5%	21.0%	15.2%

(2)産業・経済

No	指標	計算式	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市
61	就業者割合	$(\text{就業者数}) / (\text{労働力人口}) * 100$	%	96.7%	95.7%	96.0%	95.7%	95.2%
62	完全失業者割合	$(\text{完全失業者数}) / (\text{労働力人口}) * 100$	%	3.3%	4.3%	4.0%	4.3%	4.8%
63	第一次産業就業者数割合	$(\text{第一次産業就業者数}) / (\text{第一次産業就業者数} + \text{第二次産業就業者数} + \text{第三次産業就業者数})$	%	17.4%	3.2%	6.0%	11.9%	8.9%
64	第二次産業就業者数割合	$(\text{第二次産業就業者数}) / (\text{第一次産業就業者数} + \text{第二次産業就業者数} + \text{第三次産業就業者数})$	%	22.2%	23.6%	22.7%	18.8%	25.9%
65	第三次産業就業者数割合	$(\text{第三次産業就業者数}) / (\text{第一次産業就業者数} + \text{第二次産業就業者数} + \text{第三次産業就業者数})$	%	60.4%	73.1%	71.4%	69.3%	65.2%

(2)産業・経済

No	指標	単位	紀の川市	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
61	就業者割合	%	96.7%	96.7%	95.7%	94.2%	96.4%	97.0%	94.8%
62	完全失業者割合	%	3.3%	3.3%	4.3%	5.8%	3.6%	3.0%	5.2%
63	第一次産業就業者数割合	%	17.4%	1.4%	0.4%	2.7%	0.9%	7.6%	1.0%
64	第二次産業就業者数割合	%	22.2%	43.3%	24.1%	24.9%	19.9%	34.4%	27.7%
65	第三次産業就業者数割合	%	60.4%	55.4%	75.5%	72.4%	79.2%	58.1%	71.4%

(3)子育て・教育

No	基礎データ	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市	出典
66	小学校数	校	17	6	15	25	12	学校基本調査(2024年)
67	小学校教員数	人	278	205	275	337	212	学校基本調査(2024年)
68	小学校児童数	人	2,627	2,854	2,784	3,002	1,891	学校基本調査(2024年)
69	中学校数(中等教育学校は除く)	校	7	2	8	15	7	学校基本調査(2024年)
70	中学校教員数	人	131	108	158	223	114	学校基本調査(2024年)
71	中学校生徒数	人	1,337	1,352	1,426	1,841	915	学校基本調査(2024年)
72	高等学校数	校	2	1	4	5	1	学校基本調査(2024年)
73	高等学校教員数	人	79	55	137	193	55	学校基本調査(2024年)
74	高等学校生徒数	人	883	835	1,510	2,045	658	学校基本調査(2024年)
75	図書館数	館	2	2	1	2	2	社会教育調査(2021年)

(3)子育て・教育

No	基礎データ	単位	紀の川市	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
66	小学校数	校	17	9	7	10	7	20	8
67	小学校教員数	人	278	233	207	255	224	336	208
68	小学校児童数	人	2,627	2,925	2,848	2,771	3,274	2,918	2,280
69	中学校数(中等教育学校は除く)	校	7	4	5	4	3	6	3
70	中学校教員数	人	131	129	160	131	113	162	92
71	中学校生徒数	人	1,337	1,445	2,338	1,508	1,496	1,572	1,156
72	高等学校数	校	2	2	3	1	1	3	3
73	高等学校教員数	人	79	78	177	48	45	90	151
74	高等学校生徒数	人	883	1,032	3,259	592	704	933	2,199
75	図書館数	館	2	2	2	1	1	6	1

(3)子育て・教育

No	指標	計算式	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市
76	人口1万人当たりの小学校数	(小学校数) / (総人口) * 10000	校	2.9	1.1	2.6	3.7	2.6
77	小学校1校当たりの小学校児童数	(小学校児童数) / (小学校数)	人	154.5	475.7	185.6	120.1	157.6
78	小学校教員1人当たりの小学校児童数	(小学校児童数) / (小学校教員数)	人	9.4	13.9	10.1	8.9	8.9
79	人口1万人当たりの中学校数	(中学校数) / (総人口) * 10000	校	1.2	0.4	1.4	2.2	1.5
80	中学校1校当たりの中学校生徒数	(中学校生徒数) / (中学校数)	人	191.0	676.0	178.3	122.7	130.7
81	中学校教員1人当たりの中学校生徒数	(中学校生徒数) / (中学校教員数)	人	10.2	12.5	9.0	8.3	8.0
82	人口1万人当たりの高等学校数	(高等学校数) / (総人口) * 10000	校	0.3	0.2	0.7	0.7	0.2
83	高等学校1校当たりの高等学校生徒数	(高等学校生徒数) / (高等学校数)	人	441.5	835.0	377.5	409.0	658.0
84	高等学校教員1人当たりの高等学校生徒数	(高等学校生徒数) / (高等学校教員数)	人	11.2	15.2	11.0	10.6	12.0
85	人口1万人当たりの図書館数	(図書館数) / (総人口) * 10000	館	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4

(3)子育て・教育

No	指標	単位	紀の川市	湖南省	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
76	人口1万人当たりの小学校数	校	2.9	1.7	1.3	1.7	1.2	3.3	1.3
77	小学校1校当たりの小学校児童数	人	154.5	325.0	406.9	277.1	467.7	145.9	285.0
78	小学校教員1人当たりの小学校児童数	人	9.4	12.6	13.8	10.9	14.6	8.7	11.0
79	人口1万人当たりの中学校数	校	1.2	0.7	0.9	0.7	0.5	1.0	0.5
80	中学校1校当たりの中学校生徒数	人	191.0	361.3	467.6	377.0	498.7	262.0	385.3
81	中学校教員1人当たりの中学校生徒数	人	10.2	11.2	14.6	11.5	13.2	9.7	12.6
82	人口1万人当たりの高等学校数	校	0.3	0.4	0.5	0.2	0.2	0.5	0.5
83	高等学校1校当たりの高等学校生徒数	人	441.5	516.0	1086.3	592.0	704.0	311.0	733.0
84	高等学校教員1人当たりの高等学校生徒数	人	11.2	13.2	18.4	12.3	15.6	10.4	14.6
85	人口1万人当たりの図書館数	館	0.3	0.4	0.4	0.2	0.2	1.0	0.2

(4)医療・福祉

No	基礎データ	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市	出典
86	病院施設数	施設	4	4	3	5	5	医療施設調査(2023年)
87	医師数	人	149	86	156	244	103	医師・歯科医師・薬剤師統計(2022年)
88	要支援・要介護認定者数	人	4,354	2,168	3,878	5,883	3,739	介護保険事業状況報告(2023年)
89	老人福祉施設数	施設	2	2	2	2	2	社会福祉施設等調査(2022年)

No	基礎データ	単位	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	和歌山県高田町
86	病院施設数	施設	2	4	7	7	3	3
87	医師数	人	48	93	76	709	138	169
88	要支援・要介護認定者数	人	2,118	3,720	3,833	3,560	4,446	4,279
89	老人福祉施設数	施設	3	4	4	2	5	1

(4)医療・福祉

No	指標	計算式	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市
90	人口1万人当たりの病院施設数	(病院施設数) / (総人口) * 10000	施設	0.7	0.7	0.5	0.7	1.1
91	人口1万人当たりの医師数	(医師数) / (総人口) * 10000	人	25.3	16.0	26.5	36.2	22.2
92	総人口に占める要支援・要介護認定者数の割合	(要支援・要介護認定者数) / (総人口)	%	7.4%	4.0%	6.6%	8.7%	8.0%
93	老年人口1万人当たりの老人福祉施設数	(老人福祉施設数) / (老年人口) * 10000	施設	1.0	1.5	1.0	0.9	1.1

No	指標	単位	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
90	人口1万人当たりの病院施設数	施設	0.4	1.3	0.7	1.2	0.5	0.5
91	人口1万人当たりの医師数	人	8.9	16.6	13.1	122.8	23.0	27.3
92	総人口に占める要支援・要介護認定者数の割合	%	3.9%	6.6%	6.6%	6.2%	7.4%	6.9%
93	老年人口1万人当たりの老人福祉施設数	施設	2.1	2.6	2.3	1.2	2.3	0.5

(5)生活環境

No	基礎データ	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市	出典
94	持ち家総数	戸	19,747	16,617	19,556	21,755	15,376	国勢調査(2020年)
95	借家数	戸	2,280	4,340	3,430	7,430	3,390	住宅・土地統計調査(2023年)
96	総住宅数	戸	23,040	22,690	23,790	30,570	19,640	住宅・土地統計調査(2023年)
97	最寄りの駅まで2,000m以上かつバス停まで1,000m以上の住宅数	戸	120	190	60	1,310	940	住宅・土地統計調査(2023年)
98	最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数	戸	1,380	650	1,300	4,830	960	住宅・土地統計調査(2023年)
99	最寄りの緊急避難所まで2,000m以上の住宅数	戸	210	0	40	380	0	住宅・土地統計調査(2023年)
100	可住地面積	km ²	122.3	23.9	58.0	124.0	62.2	社会・人口統計体系(2023年)

(5)生活環境

No	基礎データ	単位	紀の川市	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
94	持ち家総数	戸	19,747	14,593	15,442	16,475	18,071	18,345	18,960
95	借家数	戸	2,280	6,640	6,170	5,780	5,380	3,510	6,190
96	総住宅数	戸	23,040	21,940	23,540	23,360	24,440	23,080	26,200
97	最寄りの駅まで2,000m以上 かつバス停まで1,000m以上の住宅数	戸	120	70	110	0	0	1,490	0
98	最寄りの医療機関まで1,000 m以上の住宅数	戸	1,380	390	0	910	100	5,030	620
99	最寄りの緊急避難所まで 2,000m以上の住宅数	戸	210	0	0	0	0	940	0
100	可住地面積	km ²	122.3	33.1	11.3	26.6	11.6	121.9	16.5

(5)生活環境

No	指標	計算式	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市
101	総住宅数に占める最寄りの駅まで2,000m以上かつバス停まで1,000m以上の住宅数の割合	(最寄りの駅まで2,000m以上かつバス停まで1,000m以上の住宅数) / (総住宅数) * 100	%	0.5%	0.8%	0.3%	4.3%	4.8%
102	総住宅数に占める最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数の割合	(最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数) / (総住宅数) * 100	%	6.0%	2.9%	5.5%	15.8%	4.9%
103	総住宅数に占める最寄りの緊急避難所まで2,000m以上の住宅数の割合	(最寄りの緊急避難所まで2,000m以上の住宅数) / (総住宅数) * 100	%	0.9%	0.0%	0.2%	1.2%	0.0%

No	指標	単位	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
101	総住宅数に占める最寄りの駅まで2,000m以上かつバス停まで1,000m以上の住宅数の割合	%	0.4	1.3	0.7	1.2	0.5	0.5
102	総住宅数に占める最寄りの医療機関まで1,000m以上の住宅数の割合	%	154.3	126.7	16.0	13.2	23.0	27.3
103	総住宅数に占める最寄りの緊急避難所まで2,000m以上の住宅数の割合	%	0.5%	1.5%	0.8%	0.9%	0.8%	1.2%

(6)行政

No	基礎データ	単位	紀の川市	岩出市	橋本市	田辺市	海南市	出典
104	財政力指数	—	0.41	0.61	0.45	0.38	0.51	令和5年度財政状況資料集(2023年)
105	経常収支比率	%	94.6%	81.6%	102.3%	98.7%	99.3%	令和5年度財政状況資料集(2023年)
106	実質公債費比率	%	4.0%	3.3%	12.2%	8.2%	9.1%	令和5年度財政状況資料集(2023年)
107	国民年金被保険者総数	人	9,937	10,208	9,144	11,586	7,295	厚生労働省事業統計(2025年)
108	被生活保護世帯数 (実世帯・年度平均)	世帯	347	358	305	760	384	和歌山県統計年鑑(2023年)
109	被生活保護人員数 (実数・年度平均)	人	424	407	345	877	448	和歌山県統計年鑑(2023年)

No	基礎データ	単位	湖南市	高石市	泉南市	大阪狭山市	丹波市	大和高田市
104	財政力指数	—	0.73	0.78	0.68	0.64	0.43	0.46
105	経常収支比率の推移と比較	%	88.2%	98.5%	101.2%	98.4%	90.9%	98.2%
106	実質公債費比率の推移と比較	%	7.8%	10.3%	8.6%	0.4%	6.8%	5.7%
107	国民年金被保険者総数	人	8,073	10,125	11,736	10,013	7,650	11,059
108	被生活保護世帯数 (実世帯・年度平均)	世帯	※和歌山県以外の比較対象団体はデータ不可のため掲載なし					
109	被生活保護人員数 (実数・年度平均)	人	※和歌山県以外の比較対象団体はデータ不可のため掲載なし					